一　般　会　計

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	01	01	01	03	議会だより発行経費	議会事務局

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,695,000				3,695,000	3,207,044
29年度	4,045,000				4,045,000	3,467,981
増減額	△ 350,000	0	0	0	△ 350,000	△ 260,937

〔事業概要〕
手に取ってもらい、気付きを与える議会だよりを目指し、平成25年にカラー化を含めた紙面のリニューアルを行った。より多くの人に読んでもらうために、市民に身近な方々の座談会や小学生が夢を語るコーナーなど、親しみやすい内容も掲載している。今後も見やすく、分かりやすい紙面構成の充実を図る。
・発行回数　年4回

〔事業実績等〕
議会事務局庶務係　2のとおり(P6)
議会だよりを発行することにより、定例会議・臨時会議の内容及び議会活動を市民に周知することができた。

節の内訳	金　額
11 需用費	1,742,458
12 役務費	1,424,586
13 委託料	40,000
計	3,207,044

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3,207,044
次年度精算額	
計	3,207,044

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	01	01	01	06	議場映像配信事業経費	議会事務局

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,125,000				1,125,000	1,101,708
29年度	1,125,000				1,125,000	1,096,848
増減額	0	0	0	0	0	4,860

〔事業概要〕
議会への関心と理解を図る目的から、議案の情報や議論の経過など、本会議の様子を、庁舎内モニターテレビを利用し、生中継で視聴できる環境を整えた。さらに、インターネットによる映像配信システムを利用し、広く視聴できるようにすることで、市民にとって、議会がわかりやすく、身近に感じられる存在となるよう取組を行った。
・庁舎内モニターテレビでの生中継(平成18年度から)
・インターネットによる録画配信(平成19年度から)

〔事業実績等〕
議会事務局庶務係　7のとおり(P7)
本会議開催日に市民課及び市民コーナーのモニターテレビで生中継を行った。
インターネットによる録画配信を行った。
録画配信及び庁舎内モニターテレビ生中継により、議場に来れない市民に対し、本会議の一般質問や審議内容等を発信することができた。

節の内訳	金　額
12 役務費	185,328
13 委託料	916,380
計	1,101,708

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,101,708
次年度精算額	
計	1,101,708

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	02	01	02	01	広報関係経費	市長公室

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	17,771,000				17,771,000	16,210,270
29年度	16,693,000				16,693,000	16,273,618
増減額	1,078,000	0	0	0	1,078,000	△ 63,348

〔事業概要〕
市民等に行政情報などを周知するため、広報紙「広報あきる野」を月2回(1日及び15日)発行した。広報紙の配布は、新聞折込のほか、新聞未購読世帯への個別配布サービスなどにより行った。
また、運用財源としている広告収入の安定確保を図るため、平成26年度から導入した広告代理店方式を引き続き実施する。
・発行部数　26,000部
・発行回数　年24回(毎月1日及び15日)

〔事業実績等〕
市長公室　5のとおり(P27)
広報紙個別配布事業を周知するため、転入者に対して案内を配布するとともに、市税（市民税、固定資産税、軽自動車税）の納税通知書、国民健康保険の保険証更新通知、後期高齢者の納入通知書等に案内を掲載した。さらに、メール配信等による周知を行ったことにより、個別配布件数が増加した。

節の内訳	金　額
09 旅費	2,160
11 需用費	9,203,455
12 役務費	3,461,829
13 委託料	3,518,826
19 負担金補助及び交付金	24,000
計	16,210,270

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	3,421,440
一般財源	12,788,830
次年度精算額	
計	16,210,270

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	02	02	市民相談事業経費	市民課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,696,000				1,696,000	1,689,839
29年度	1,705,000				1,705,000	1,692,172
増減額	△ 9,000	0	0	0	△ 9,000	△ 2,333

〔事業概要〕
市民生活上の悩みや問題を解決するため、弁護士による法律相談、税理士による税務相談などを毎月実施した。また、人権擁護委員及び行政相談委員の活動を支援した。

〔事業実績等〕
市民課市民相談窓口係　1(1)のとおり(P99)

節の内訳	金額
08 報償費	1,462,400
09 旅費	13,804
11 需用費	18,435
19 負担金補助及び交付金	195,200
計	1,689,839

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,689,839
次年度精算額	
計	1,689,839

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	02	03	広聴関係経費	市長公室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	10,000				10,000	1,666
29年度	10,000				10,000	792
増減額	0	0	0	0	0	874

〔事業概要〕
市政運営に市民参加の機会を提供するため、「市長への手紙」により市民から意見や提案、要望を受け付けた。
ホームページで投稿されたものはメールで回答を返信し、手紙で受け付けたものは回答文書を郵送した。

〔事業実績等〕
市長公室　7のとおり(P28)

節の内訳	金額
12 役務費	1,666
計	1,666

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,666
次年度精算額	
計	1,666

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	02	05	ホームページ関係経費	市長公室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,661,000				3,661,000	3,658,740
29年度	4,839,000				4,839,000	4,270,026
増減額	△ 1,178,000	0	0	0	△ 1,178,000	△ 611,286

〔事業概要〕
市民等に行政情報を周知するため、ホームページの運用を行った。
文字情報や音声による読上げ機能に加え、英語や中国語等による自動翻訳機能、ウェブアクセシビリティの向上、スマートフォンへの対応、FAQシステムの充実を図り、利便性を向上させた。
また、メール配信サービスにより行政情報等を配信した。

〔事業実績等〕
市長公室　8、9のとおり(P28)
メール配信サービスでは、広報紙の発行、子育て応援情報、イベント情報、火災情報、防犯情報、気象情報等を配信した。

節の内訳	金額
12 役務費	16,224
14 使用料及び賃借料	3,642,516
計	3,658,740

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	868,320
一般財源	2,790,420
次年度精算額	
計	3,658,740

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	02	01	02	07	シティプロモーション事業経費	市長公室

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,658,000				1,658,000	1,579,764
29年度	1,791,000				1,791,000	1,554,324
増減額	△ 133,000	0	0	0	△ 133,000	25,440

〔事業概要〕
フィルムコミッション事業として、市内で映画やテレビ等の撮影を行ってもらうため、専用のホームページや動画サイトへの独自映像の公開等により、製作者にロケ地をアピールし誘致した。撮影に当たっては、可能な限り支援を行うことで、市のイメージアップを図った。
また、SNSの活用、あきる野ふるさと大使の任命などにより、市の認知度向上を図るとともに、市のPR映像の制作、市内で行われるイベント等の映像を記録し、配信した。

〔事業実績等〕
市長公室　12～18のとおり(P29～34)

節の内訳	金　額
09 旅費	9,468
11 需用費	218,313
12 役務費	108,014
13 委託料	498,000
14 使用料及び賃借料	739,369
27 公課費	6,600
計	1,579,764

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	28,200
一般財源	1,551,564
次年度精算額	
計	1,579,764

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	02	01	05	10	あきる野ふるさと寄附事業経費	契約管財課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,493,000	1,558,000		160,000	6,211,000	5,983,087
29年度	3,743,000	893,000			4,636,000	4,472,072
増減額	750,000	665,000	0	160,000	1,575,000	1,511,015

〔事業概要〕
自主財源の確保を図るため、「あきる野ふるさと寄附」の取組を周知し、寄附を募ることで寄附を活用したまちづくりを推進する。寄附者に謝意として返礼品を贈呈した。

〔事業実績等〕
契約管財課契約管財係　2(8)アのとおり(P66)

節の内訳	金　額
08 報償費	5,019,819
11 需用費	6,307
12 役務費	829,111
14 使用料及び賃借料	127,850
計	5,983,087

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	5,983,087
次年度精算額	
計	5,983,087

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	02	01	06	09	国際姉妹都市提携２０周年記念事業経費	企画政策課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,334,000				4,334,000	1,986,002
29年度	0				0	0
増減額	4,334,000	0	0	0	4,334,000	1,986,002

〔事業概要〕
平成30年に迎えるマールボロウ市との国際姉妹都市提携20周年に当たり、多くの市民が築き上げてきた長きにわたる両市の友好関係を確認し、また、今後の交流事業の更なる発展につなげることを目的に、記念事業を実施した。
マールボロウ市から市長等の来賓を招き、事業関係者及び一般市民とともに姉妹都市提携20周年を祝う記念式典等を実施した。

〔事業実績等〕
企画政策課　14のとおり(P24～25)
マールボロウ市教育委員等の来賓、歴代の交流事業の参加者、市民団体及び一般市民とともに姉妹都市提携20周年を祝い、両市の絆や交流事業のより一層の発展に向けた協力体制について、再確認することができた。
また、本事業の実施に当たり組織した実行委員会のメンバーを中心に、観光等で市内を訪れる外国人をサポートする新たな市民団体が発足し、国際化推進活動の活性化及び「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けた外国人観光客の受入体制強化を図ることができた。

節の内訳	金　額
08 報償費	365,063
09 旅費	4,600
11 需用費	285,033
12 役務費	47,396
13 委託料	1,118,310
14 使用料及び賃借料	165,600
計	1,986,002

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	403,000
地方債	
その他	1,302,000
一般財源	281,002
次年度精算額	
計	1,986,002

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	06	11	ドローン総合活用推進事業経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	397,000				397,000	360,518
29年度	385,000	2,100,000			2,485,000	2,399,220
増減額	12,000	△ 2,100,000	0	0	△ 2,088,000	△ 2,038,702

〔事業概要〕
防災、農林業、観光及び建設等の各分野におけるドローン（無人航空機）の安全かつ有効な活用を推進した。
ドローンの活用に必要な基礎知識及び技術の習得を目的とした飛行訓練研修を実施し、ドローンパイロットチームに所属する職員等に受講させた。
また、上記研修を受講した者に、ドローンを正しく、より安全に使用できる操縦者を認定するDJI CAMPを受講させ、より専門的な知識と操作技能の習得及びDJIスペシャリスト資格を取得させることで、後進指導のほか、ドローン活用の主導的な役割を担うことができる人材を育成し、様々な分野における緊急時の迅速な対応や通常業務の効率化を図った。

〔事業実績等〕
地域防災課防災係　2(11)のとおり(P78)

節の内訳	金額
12 役務費	36,000
13 委託料	118,800
19 負担金補助及び交付金	205,718
計	360,518

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	360,518
次年度精算額	
計	360,518

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	06	53	国際化推進事業経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,731,000				4,731,000	4,341,459
29年度	5,551,000				5,551,000	3,792,856
増減額	△ 820,000	0	0	0	△ 820,000	548,603

〔事業概要〕
国際姉妹都市であるアメリカ合衆国マールボロウ市への市立中学校生徒の派遣及びマールボロウ市ウイットコム・スクールから市立中学校への生徒の受入れを行った。
派遣事業については、国際的視野を持つ人材の育成を図ることを目的として、概ね10日間滞在し、ホームステイによる交流活動を行った。
受入事業については、ウイットコム・スクールからの生徒を概ね10日間受け入れ、異文化交流を図るとともに、国際理解を深めることを目的に実施した。
また、両事業の実施に当たっては、派遣経験者等で組織する「あきる野市国際化推進青年の会」や過去に受入れを経験した家庭等で組織する「あきる野ホストファミリークラブ」などにも協力いただき、市民団体との協働により国際交流を推進した。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　16のとおり(P333)
派遣事業については、ホームステイを中心に、ボストン科学博物館や市議会を訪問するなど、ウィットコム・スクールの生徒とあきる野市の中学生たちとの国際交流を深めることができた。
また、受入事業についても、あきる野市国際化推進青年の会及びあきる野ホストファミリークラブとの協働により実施するとともに、二宮考古館でのコースター作り、軍道紙の紙すき体験等を通して、国際国流を深めることができた。

節の内訳	金額
08 報償費	120,960
09 旅費	535,945
11 需用費	273,890
12 役務費	94,570
13 委託料	965,520
14 使用料及び賃借料	88,704
19 負担金補助及び交付金	2,261,870
計	4,341,459

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4,341,459
次年度精算額	
計	4,341,459

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	06	54	総合計画策定事業経費	企画政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	6,417,000				6,417,000	6,402,726
29年度	0				0	0
増減額	6,417,000	0	0	0	6,417,000	6,402,726

〔事業概要〕
市の将来都市像「人と緑の新創造都市」を定めた現総合計画については、令和2年度で計画期間が終了する。このことから、令和3年度からの次期総合計画の策定に向け、平成30年度からその作業を進めた。

〔事業実績等〕
企画政策課　12のとおり(P24)

節の内訳	金額
13 委託料	6,402,726
計	6,402,726

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	6,402,726
次年度精算額	
計	6,402,726

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	02	01	07	07	防犯灯設置等に要する経費	建設課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,550,000				2,550,000	2,548,352
29年度	2,550,000				2,550,000	2,515,139
増減額	0	0	0	0	0	33,213

〔事業概要〕
道路利用者の安全を確保するため、防犯灯の設置及び維持管理を行った。
＜平成30年度の事業内容＞
・修繕料（防犯灯修繕単価契約）
・防犯灯設置工事（単独防犯灯設置）
・防犯灯設置工事（共架防犯灯設置）

〔事業実績等〕
建設課土木係　3のとおり(P286)
市民、町内会及び自治会の要望に対する防犯灯の新設及び維持管理のため、必要な修繕を実施し、市民の防犯対策に寄与した。

節の内訳	金　額
11 需用費	499,538
15 工事請負費	2,048,814
計	2,548,352

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2,548,352
次年度精算額	
計	2,548,352

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	02	01	07	08	防犯対策事業経費	地域防災課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	5,670,000			△ 3,000	5,667,000	5,575,634
29年度	5,677,000				5,677,000	5,435,810
増減額	△ 7,000	0	0	△ 3,000	△ 10,000	139,824

〔事業概要〕
犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、防犯協会の防犯啓発活動への参画、支援などの防犯啓発事業を行い、市民生活の安全に関する意識の高揚を図った。また、市民、来訪者の安全性の向上と防犯対策の強化を図るため設置している防犯カメラについて、常に安定した運用を図れるように維持管理を行った。
また、高齢者への悪質な電話による詐欺被害の防止を図るため、都の補助金を活用して自動通話録音機を購入し、高齢者世帯に対して貸与した。
・防犯カメラ運用台数　11台
・平成30年度自動通話録音機貸与予定数　150台
（平成29年度貸与台数　150台）

〔事業実績等〕
1 自動通話録音機貸与事業
地域防災課交通防犯係　3(3)のとおり(P84)
自動通話録音機貸与台数　259台
自動通話録音機を65歳以上の高齢者がいる世帯へ貸与することにより、特殊詐欺被害の防止につながった。
2 防犯カメラ維持管理経費
地域防災課交通防犯係　3(4)のとおり(P84)
（管理する11台の保守点検費用）
現在、駅前自転車等駐車場を中心に設置し運用している防犯カメラについて保守点検を行うことで、防犯カメラを健全な状態で維持し適正に運用することで市民や来訪者の安全性の向上、防犯対策の強化につながった。また、警察署の捜査事項照会に協力することにより、犯罪捜査、犯人逮捕等へ寄与することができた。
3 防犯協会等負担金
地域防災課交通防犯係　3(2)のとおり(P84)
防犯協会等負担金（福生警察署管内防犯協会外3団体）2,325,640円
犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、福生・五日市各警察署管内の防犯協会等へ負担金補助を行うことで、防犯啓発活動や各種事業を円滑かつ活発に展開することができた。

節の内訳	金　額
01 報酬	66,500
09 旅費	18,120
11 需用費	117,188
12 役務費	387
13 委託料	299,376
14 使用料及び賃借料	1,707,800
18 備品購入費	1,040,623
19 負担金補助及び交付金	2,325,640
計	5,575,634

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	1,040,623
地方債	
その他	
一般財源	4,535,011
次年度精算額	
計	5,575,634

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	08	01	社会保障・税番号制度関係経費	情報システム課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	11,935,000				11,935,000	11,335,604
29年度	16,521,000	1,404,000		1,000	17,926,000	17,535,564
増減額	△ 4,586,000	△ 1,404,000	0	△ 1,000	△ 5,991,000	△ 6,199,960

〔事業概要〕
社会保障・税番号制度は、複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行い、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現し、行政事務の効率性・透明性を高めるための社会基盤（インフラ）である。
平成29年11月から開始された行政機関間の情報連携やマイナポータルの安定した運用や、ぴったりサービス（子育てワンストップサービス）等の運用に向けた準備・調整のための業務を行った。

〔事業実績等〕
情報システム課情報システム係　1(1)のとおり(P52)
平成30年6月から「ぴったりサービス」に係る電子申請サービス（児童手当現況届）の申請受付を開始した。
また、行政機関間の情報連携に伴うシステム改修等を行った。

節の内訳	金額
12 役務費	35,640
13 委託料	2,235,600
14 使用料及び賃借料	7,034,364
19 負担金補助及び交付金	2,030,000
計	11,335,604

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	11,335,604
次年度精算額	
計	11,335,604

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	09	09	交通安全対策事業経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	21,813,000				21,813,000	21,172,324
29年度	24,085,000				24,085,000	23,367,948
増減額	△ 2,272,000	0	0	0	△ 2,272,000	△ 2,195,624

〔事業概要〕
交通事故のない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、交通安全協会の交通安全啓発活動への参画、支援などを行い、市民生活の安全に関する意識の高揚を図った。また、市内5駅の周辺における自転車等の駐車秩序を確立することにより、駅周辺の道路の安全な利用を確保するとともに、自転車等の利用者の利便を図るため、自転車等駐車場の維持管理を行った。
自転車利用者のルールやマナー無視に対する社会的批判の高まりや多くの中学生が自転車を利用している実態等を踏まえ、中学校においてスタントマンによる交通安全教育を実施した。
また、循環型社会構築のため、使用可能な放置自転車の再活用を推進した。

〔事業実績等〕
1　交通安全協会負担金補助及び交付金
地域防災課交通防犯係　1(3)のとおり(P81)
(1)交通安全協会負担金（福生交通安全協会外2団体）　3,627,635円
(2)交通安全関係団体補助金（福生交通安全協会秋川支部外1団体）　4,016,083円
2　スタントマンによる交通安全教室実施委託
地域防災課交通防犯係　1(1)ウのとおり(P81)
(1)実施中学校（増戸・五日市中学校）
(2)実施委託料　561,600円（2校分）
市内中学校2校においてスタントマンによる交通事故の再現を中心とした交通安全教室を実施し、自転車の安全利用、交通ルールやマナーを守ることの大切さを実感できる内容の教室となったため、交通安全教育として大きな成果があった。

節の内訳	金額
09 旅費	13,908
11 需用費	667,232
12 役務費	100,489
13 委託料	9,454,897
14 使用料及び賃借料	3,257,880
19 負担金補助及び交付金	7,643,718
27 公課費	34,200
計	21,172,324

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	801,078
一般財源	20,371,246
次年度精算額	
計	21,172,324

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	02	01	11	01	循環バス関係経費	地域防災課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	13,542,000				13,542,000	13,504,478
29年度	12,137,000			108,000	12,245,000	12,128,003
増減額	1,405,000	0	0	△ 108,000	1,297,000	1,376,475

〔事業概要〕
循環バス「るのバス」の運行に対する補助等を行い、市内における公共交通不便地域の解消及び市民の公共施設等への交通手段を確保した。
現在、秋川駅を起終点とし、1台のバスで、秋川コースと五日市コースを運行している。

〔事業実績等〕
地域防災課地域振興係 6のとおり(P88)

節の内訳	金　額
11 需用費	22,518
13 委託料	93,960
14 使用料及び賃借料	27,000
19 負担金補助及び交付金	13,361,000
計	13,504,478

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	13,504,478
次年度精算額	
計	13,504,478

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	02	01	11	02	盆堀地域交通対策事業経費	地域防災課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,561,000				1,561,000	1,135,242
29年度	1,643,000				1,643,000	1,206,150
増減額	△ 82,000	0	0	0	△ 82,000	△ 70,908

〔事業概要〕
「あきる野市循環バス等地域公共交通検討委員会」で示した交通不便地域において、盆堀地域在住の交通弱者の交通確保のため、地域住民との連携により、戸倉バス停と盆堀林道の採石場間の地域交通(ワゴン車)の運行を行った。

〔事業実績等〕
地域防災課地域振興係　7のとおり(P89)

節の内訳	金　額
07 賃金	545,165
11 需用費	110,557
14 使用料及び賃借料	479,520
計	1,135,242

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,135,242
次年度精算額	
計	1,135,242

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	02	01	11	07	生活バス路線関係経費	地域防災課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	16,990,000	5,743,000			22,733,000	22,490,833
29年度	16,990,000				16,990,000	16,306,120
増減額	0	5,743,000	0	0	5,743,000	6,184,713

〔事業概要〕
人口の減少等により乗車人員が減少し、バス路線の継続が困難となっている事業者に対し運行維持のための補助を行うことにより、地域住民の交通手段を確保した。
・対象路線：武蔵五日市駅・秋川渓谷瀬音の湯経由上養沢路線
武蔵五日市駅・上養沢路線
数馬線（国庫補助金あきる野市負担分）
藤倉線（国庫補助金あきる野市負担分）

〔事業実績等〕
地域防災課地域振興係　5のとおり(P88)
・バス停留所屋根改修工事6ヶ所　2，689，200円
・バス路線維持費補助金　19，793，707円

節の内訳	金　額
09 旅費	2,400
11 需用費	4,742
12 役務費	784
15 工事請負費	2,689,200
19 負担金補助及び交付金	19,793,707
計	22,490,833

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	22,490,833
次年度精算額	
計	22,490,833

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	11	13	町内会・自治会関係経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	36,250,000	3,270,000			39,520,000	37,345,253
29年度	39,265,000	22,509,000			61,774,000	60,415,698
増減額	△ 3,015,000	△ 19,239,000	0	0	△ 22,254,000	△ 23,070,445

〔事業概要〕
市内の85町内会・自治会に対し、運営費や会館の維持、建設費等に対する補助を行うことにより、町内会・自治会が円滑かつ自立した活動を行えるように支援した。また、町内会・自治会連合会の活動支援を行った。
・町内会・自治会連合会運営費補助金
・町内会・自治会運営費補助金
・町内会館・自治会館維持費補助金
・町内会館・自治会館建設費等補助金
・掲示板建築費等補助金
・地域生活環境整備推進事業補助金

〔事業実績等〕
地域防災課地域振興係　1(2)～(7)のとおり(P85)
コミュニティ助成事業補助金
町内会・自治会連合会テント等配備事業　2,500,000円

節の内訳	金額
09 旅費	19,246
11 需用費	20,537
13 委託料	3,887,180
19 負担金補助及び交付金	33,418,290
計	37,345,253

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	1,000,000
地方債	
その他	2,500,000
一般財源	33,845,253
次年度精算額	
計	37,345,253

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	11	14	協働のまちづくり推進事業経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	7,500,000				7,500,000	4,187,000
29年度	7,500,000				7,500,000	6,061,000
増減額	0	0	0	0	0	△ 1,874,000

〔事業概要〕
コミュニティの中心的な役割を果たしている町内会・自治会が実施する、住民同士の親睦や生活環境の維持等の活動、高齢者の見守り、こどもの安全対策等の取組など、地域の課題の解決を図り、住みよいまちづくりを進める事業に対して必要な経費の一部を交付し、又は貸し付けを行った。
＜コミュニティ事業交付金＞
地域活動の担い手である町内会・自治会が行う地域の課題を解決するための取組を推進し、「地域力」の向上を図る事業に対して支援を行った。
＜町内会・自治会活動支援資金貸付金＞
町内会・自治会が、地域の課題を解決するために取り組む事業を対象とし、東京都地域の底力発展事業助成金の交付見込額の概算払請求額を除いた額を限度に貸付を行った。

〔事業実績等〕
地域防災課地域振興係　1(8)、(9)のとおり(P85～86)

節の内訳	金額
19 負担金補助及び交付金	2,187,000
21 貸付金	2,000,000
計	4,187,000

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	2,000,000
一般財源	2,187,000
次年度精算額	
計	4,187,000

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	11	17	花いっぱい運動推進事業経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,225,000				3,225,000	3,002,184
29年度	3,225,000				3,225,000	3,055,978
増減額	0	0	0	0	0	△ 53,794

〔事業概要〕
地域コミュニティを形成し、美しいまちづくりの推進のため、町内会・自治会とボランティア団体が行う花苗の植付けにおいて、花苗の購入費の補助を行うとともに、花いっぱい運動推進協議会を設置し、花壇コンクールの実施などを行う。また、花や緑あふれる個人宅の庭を紹介するオープンガーデンマップの作成を行う。

〔事業実績等〕
地域防災課地域振興係　4のとおり(P87)

節の内訳	金額
08 報償費	87,300
09 旅費	4,924
11 需用費	605,099
12 役務費	13,940
13 委託料	43,200
19 負担金補助及び交付金	2,247,721
計	3,002,184

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3,002,184
次年度精算額	
計	3,002,184

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	01	12	01	男女共同参画啓発事業経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	336,000				336,000	182,695
29年度	344,000				344,000	225,331
増減額	△ 8,000	0	0	0	△ 8,000	△ 42,636

〔事業概要〕
男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発事業として、市民委員による実行委員会で企画運営するフォーラムを開催した。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課公民館係　1(5)のとおり(P351)
フォーラムを開催することにより、多くの方に男女共同参画の意識を持ってもらうことができた。

節の内訳	金額
08 報償費	120,000
11 需用費	37,095
14 使用料及び賃借料	25,600
計	182,695

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	182,695
次年度精算額	
計	182,695

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	02	03	01	07	個人番号カード発行事業経費	市民課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	19,978,000	1,824,000			21,802,000	11,819,380
29年度	11,535,000	3,292,000	6,199,000		21,026,000	11,553,121
増減額	8,443,000	△ 1,468,000	△ 6,199,000	0	776,000	266,259

〔事業概要〕
社会保障・税番号制度の導入に伴い、通知カード、個人番号カードの発行業務を行った。

〔事業実績等〕
市民課市民窓口係　3のとおり(P92)
マイナンバーカードの普及を図るため、7月～8月（12日間）に申請書の書き方サポート、無料写真撮影を実施した。また、税の申告期間のうち、1月～2月（11日間）に同様のキャンペーンを実施した。

節の内訳	金額
07 賃金	3,077,191
11 需用費	177,131
12 役務費	450,058
13 委託料	1,782,000
19 負担金補助及び交付金	6,333,000
計	11,819,380

財源内訳	金額
国庫支出金	11,565,480
都支出金	
地方債	
その他	253,900
一般財源	
次年度精算額	
計	11,819,380

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	01	01	社会福祉委員関係経費	生活福祉課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	15,918,000				15,918,000	15,566,387
29年度	16,014,000				16,014,000	15,522,722
増減額	△ 96,000	0	0	0	△ 96,000	43,665

〔事業概要〕
地域福祉の増進を図るため、市民の立場に立って様々な相談に応じ、必要な助言等を行う民生委員・児童委員の地域活動に対して、支援を行った。また、社会福祉行政の円滑な運営を図るため、社会福祉に関する調査・研究、関係機関への協力等を行う社会福祉委員の活動を支援した。
なお、民生委員法及び児童福祉法により、民生委員は児童委員を兼ねている。また、社会福祉委員は、民生委員・児童委員の職にある者に委嘱している。
・民生委員・児童委員定数　70人

〔事業実績等〕
生活福祉課庶務計画係　1のとおり(P184)

節の内訳	金額
01 報酬	6,300,000
08 報償費	7,608,000
09 旅費	41,340
11 需用費	698,295
12 役務費	158,405
14 使用料及び賃借料	200,347
19 負担金補助及び交付金	560,000
計	15,566,387

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	8,428,600
地方債	
その他	
一般財源	7,137,787
次年度精算額	
計	15,566,387

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	01	05	社会を明るくする運動・保護司関係経費	生活福祉課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,084,000				2,084,000	1,825,142
29年度	2,109,000				2,109,000	1,804,628
増減額	△ 25,000	0	0	0	△ 25,000	20,514

〔事業概要〕
犯罪をなくして社会を明るくするために、保護司が主体となって実施する社会を明るくする運動(犯罪の防止と犯罪者の矯正及び更生保護についての正しい理解を深め、進んでこれらの活動に協力するよう呼びかける啓発活動)等に対し、その活動支援を行った。
・平成31年3月31日現在　保護司数　27人

〔事業実績等〕
生活福祉課庶務計画係　2のとおり(P184)

節の内訳	金　額
08 報償費	1,056,000
09 旅費	4,374
11 需用費	127,968
19 負担金補助及び交付金	636,800
計	1,825,142

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,825,142
次年度精算額	
計	1,825,142

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	01	14	社会福祉法人指導検査等事業経費	生活福祉課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	857,000				857,000	88,775
29年度	772,000			△ 10,000	762,000	151,938
増減額	85,000	0	0	10,000	95,000	△ 63,163

〔事業概要〕
適正な法人運営と円滑な社会福祉事業の経営の確保を図るため、運営する全ての事業所が市の区域内にある社会福祉法人に対して、指導監査を実施した。

〔事業実績等〕
生活福祉課庶務計画係　3のとおり(P185)

節の内訳	金　額
01 報酬	52,000
09 旅費	23,146
11 需用費	2,937
18 備品購入費	10,692
計	88,775

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	88,775
次年度精算額	
計	88,775

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	01	16	行旅病人及び行旅死亡人取扱経費	生活福祉課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	872,000				872,000	144,680
29年度	872,000				872,000	0
増減額	0	0	0	0	0	144,680

〔事業概要〕
行旅病人（救護者のいない旅行中の傷病者）及び行旅死亡人（引取者のいない旅行中の死亡者）を救護し、必要な対応を行った。
主に、警察からの通報を受け、該当者及びその所持品を引き取り、官報への掲載等を行うとともに、対応に要した費用の支払いを行った。

〔事業実績等〕
行旅死亡人取扱委託
葬祭費　平成30年11月22日　身元判明者1体
死亡人に対する引取人がいないため、墓地、埋葬等に関する法律第9条第2項の規定により準用する行旅死亡人及び行旅死亡人取扱法の規定に基づき火葬を行った。費用については、死亡者が国民健康保険であったため、国民健康保険葬祭費用支給金50,000円の支給を受け、残94,680円について東京都に弁償請求を行った。

節の内訳	金　額
13 委託料	144,680
計	144,680

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	94,680
地方債	
その他	
一般財源	50,000
次年度精算額	
計	144,680

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	01	17	生活資金貸付事業経費	生活福祉課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,200,000				1,200,000	60,000
29年度	1,200,000			10,000	1,210,000	160,000
増減額	0	0	0	△ 10,000	△ 10,000	△ 100,000

〔事業概要〕
生活保護法による被保護者を除く生活困窮者が、補助的な生活資金で生計が立てられるよう、生活資金の貸付を行った。
・貸付金額　1世帯8万円以内(無利子)
・償還方法　貸付月の翌月から2月を経過した後、1年以内の毎月定額償還

〔事業実績等〕
生活福祉課庶務計画係　4のとおり(P185)

節の内訳	金額
21 貸付金	60,000
計	60,000

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	60,000
一般財源	
次年度精算額	
計	60,000

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	01	22	低所得者・離職者対策事業経費	生活福祉課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,500,000				3,500,000	3,500,000
29年度	3,500,000				3,500,000	3,500,000
増減額	0	0	0	0	0	0

〔事業概要〕
東京都が実施する低所得者・離職者対策事業のうち、学習塾、各種受験対策講座、通信講座、補習教室の受講料や、高校や大学などの受験料の捻出が困難な一定所得以下の世帯に必要な資金の貸付を行い、子ども達の学習意欲をサポートした(受験生チャレンジ支援貸付事業)。
なお、業務については、あきる野市社会福祉協議会へ委託して実施する。

〔事業実績等〕
生活福祉課庶務計画係　6のとおり(P185)

節の内訳	金額
13 委託料	3,500,000
計	3,500,000

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	3,500,000
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	3,500,000

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	01	23	生活困窮者自立支援事業経費	生活福祉課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	5,662,000	3,125,000			8,787,000	7,277,074
29年度	5,346,000	3,006,000			8,352,000	7,360,790
増減額	316,000	119,000	0	0	435,000	△ 83,716

〔事業概要〕
経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に対して、自立相談支援事業や住居確保給付金の支給を実施することにより、生活保護に至る前の段階で自立の促進を図った。

〔事業実績等〕
生活福祉課庶務計画係　7のとおり(P185)

節の内訳	金額
01 報酬	2,481,000
04 共済費	267,205
07 賃金	1,034,445
09 旅費	33,152
11 需用費	89,022
20 扶助費	248,000
23 償還金利子及び割引料	3,124,250
計	7,277,074

財源内訳	金額
国庫支出金	4,113,008
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4,258,702
次年度精算額	△ 1,094,636
計	7,277,074

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	02	02	身体障害者・知的障害者相談員事業経費	障がい者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	153,000				153,000	76,080
29年度	157,000				157,000	57,060
増減額	△ 4,000	0	0	0	△ 4,000	19,020

〔事業概要〕
地域の身近な相談員として、身体障害者相談員と知的障害者相談員を設置した。
主な取組として、障がい者の地域活動の推進、更生援護に関する相談・指導、知的障がい者の家庭における療育、生活などに関する相談・指導・助言、各種サービスの利用手続等の支援を行うとともに、障がい者に対する市民の認識と理解を深めた。

〔事業実績等〕
障がい者支援課障がい者相談係　14のとおり(P200)
障がい者や家族からの家庭における療養・地域生活などの相談に応じ、安心して生活できるよう必要な支援や助言を行った。

節の内訳	金　額
08 報償費	76,080
計	76,080

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	76,080
次年度精算額	
計	76,080

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	02	04	心身障害者福祉手当支給経費	障がい者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	214,344,000				214,344,000	211,664,000
29年度	214,410,000			△ 2,073,000	212,337,000	211,213,000
増減額	△ 66,000	0	0	2,073,000	2,007,000	451,000

〔事業概要〕
心身に障がいを有する方に手当を支給した。
＜20歳以上の方＞
・身障手帳（1級・2級）及び愛の手帳（1度～3度）　月額15,500円
・脳性麻痺又は進行性筋萎縮症　月額15,500円
・身障手帳（1級・4級）及び愛の手帳（4度）　月額 7,000円
＜20歳未満の方＞
・身障手帳（1級～4級）及び愛の手帳（1度～4度）　月額 7,000円
・脳性麻痺又は進行性筋萎縮症　月額 7,000円

〔事業実績等〕
障がい者支援課障がい者相談係　9のとおり(P198)
心身に障がいを有する方に手当を支給することで、日常生活の向上を図ることができた。

節の内訳	金　額
20 扶助費	211,664,000
計	211,664,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	139,980,500
地方債	
その他	
一般財源	71,683,500
次年度精算額	
計	211,664,000

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	02	06	障害者通所支援施設運営管理経費	障がい者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	11,224,000				11,224,000	11,098,433
29年度	11,224,000				11,224,000	11,220,567
増減額	0	0	0	0	0	△ 122,134

〔事業概要〕
障害者総合支援法に基づく生活介護事業所として、障がいのある方に対し身体機能及び生活能力の向上のために必要な援助を行った。事業は、あきる野市社会福祉協議会を指定管理者としている。
※平成32年度末までの3年間の債務負担行為。

〔事業実績等〕
希望の家小規模修繕費　24,840円
建物総合損害共済保険料　5,593円
障害者通所支援施設運営指定管理委託料　11,068,000円
※ 希望の家ひばり分室債務負担行為　【1年目/3年間】
希望の家及びひばり分室において、生活介護事業(通所)を実施することで、障がいのある方に対し、身体機能及び生活能力の向上のために必要な支援を行うことができた。

節の内訳	金　額
11 需用費	24,840
12 役務費	5,593
13 委託料	11,068,000
計	11,098,433

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	11,098,433
次年度精算額	
計	11,098,433

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	02	07	障害児施設給付事業経費	障がい者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	243,471,000	5,178,000			248,649,000	240,736,018
29年度	196,000,000	27,046,000			223,046,000	216,115,031
増減額	47,471,000	△ 21,868,000	0	0	25,603,000	24,620,987

〔事業概要〕
障がい児の生活能力の向上や集団生活への適応、社会との交流促進等の療育訓練の場を提供するため、放課後等デイサービスや児童発達支援などのサービスを実施し、障がい児の自立に向けた支援を行った。

〔事業実績等〕
障がい者支援課障がい者支援係 2のとおり(P192)
障がい者支援課障がい者相談係 2(2)のとおり(P195)
障がいのある未就学児及び就学児に対し、本事業を提供することにより、日常生活における基本的な動作の指導、知識及び技能の付与、集団生活への適用訓練等を行うことができた。

節の内訳	金額
12 役務費	401,880
20 扶助費	235,156,670
23 償還金利子及び割引料	5,177,468
計	240,736,018

財源内訳	金額
国庫支出金	121,519,200
都支出金	60,759,600
地方債	
その他	
一般財源	64,368,516
次年度精算額	△ 5,911,298
計	240,736,018

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	02	08	在宅障害者福祉事業経費	障がい者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	64,236,000				64,236,000	57,868,437
29年度	66,909,000			478,000	67,387,000	60,535,265
増減額	△ 2,673,000	0	0	△ 478,000	△ 3,151,000	△ 2,666,828

〔事業概要〕
障がい者(児)が在宅で安定した生活を過ごすことができるよう、また、家族の介護の軽減や費用負担を軽減する目的から各種事業を実施した。

〔事業実績等〕
1 重度障害者等住宅設備改善費給付事業
障がい者支援課障がい者相談係　4のとおり(P196)
2 心身障害者（児）交通費等助成金支給事業、心身障害者（児）おむつ等給付事業、心身障害者（児）水道料金助成事業、重度脳性麻痺者介護事業、重度心身障害者（児）入浴サービス事業及び訪問入浴サービス
障がい者支援課障がい者相談係　10～13のとおり(P199)
各事業を実施したことで、障がい者（児）が在宅で安定した生活を送ることができ、また、家族の介護や費用負担の軽減を図ることができた。

節の内訳	金額
08 報償費	4,788,800
12 役務費	7,780
13 委託料	3,516,570
20 扶助費	49,555,287
計	57,868,437

財源内訳	金額
国庫支出金	390,376
都支出金	6,293,188
地方債	
その他	
一般財源	52,170,873
次年度精算額	△ 986,000
計	57,868,437

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	02	12	難病患者支援事業経費	障がい者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	6,814,000				6,814,000	6,677,675
29年度	5,672,000				5,672,000	5,536,739
増減額	1,142,000	0	0	0	1,142,000	1,140,936

〔事業概要〕
難病患者が安心して生活を送ることができるよう、市窓口において、各種医療情報・サービス情報等の提供や相談対応を行うほか、就労・生活支援センターにおいても、就労・生活支援コーディネーターを中心に難病患者の就労に向けた適切な支援を図った。

〔事業実績等〕
障がい者支援課障がい者相談係　7(4)、(5)のとおり(P198)
医療制度の案内や生活の相談に応じ、難病患者の心身の負担軽減を図ることができた。また、各種イベントにおいて、難病に係る展示やパンフレットの配を行うほか、難病講演会を開催し、難病の理解促進のための周知・啓発を図ることができた。

節の内訳	金額
01 報酬	4,183,140
04 共済費	414,432
08 報償費	30,000
11 需用費	71,729
12 役務費	49,374
13 委託料	1,929,000
計	6,677,675

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	2,717,061
地方債	
その他	
一般財源	3,960,614
次年度精算額	0
計	6,677,675

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	02	14	特別障害者手当等給付事業経費	障がい者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	36,386,000	2,000			36,388,000	32,870,357
29年度	37,140,000			69,000	37,209,000	33,133,410
増減額	△ 754,000	2,000	0	△ 69,000	△ 821,000	△ 263,053

〔事業概要〕
＜特別障害者手当の支給＞
20歳以上で、身体又は精神に著しく重度の障がいがあり、日常生活に常時特別の介護を必要とする状態（身体障害者手帳1・2級程度及び愛の手帳1・2度程度の障がいが重複、もしくはそれと同等の疾病・精神の障がい）にある方を対象に手当を支給した。
・支給額　月額26,940円
＜障害児福祉手当の支給＞
20歳未満で、身体又は精神に著しく重度の障がいがあり、日常生活に常時特別の介護を必要とする状態（身体障害者手帳1・2級及び愛の手帳1・2度程度又はこれと同等の疾病・精神の障がい）にある方を対象に手当を支給した。
・支給額　月額14,650円
＜経過的福祉手当の支給＞
昭和61年3月31日において20歳以上で、当時の福祉手当受給者であった方のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ障害基礎年金も支給されない方を対象に経過的措置として手当を支給した。
・支給額　月額14,650円

〔事業実績等〕
障がい者支援課障がい者相談係　9のとおり(P198)
日常生活において常時特別の介護を必要とする方に対し手当を支給し、障がい者や家族の生活の安定を図ることができた。

節の内訳	金額
01 報酬	115,500
20 扶助費	32,753,090
23 償還金利子及び割引料	1,767
計	32,870,357

財源内訳	金額
国庫支出金	24,467,700
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	8,402,657
次年度精算額	
計	32,870,357

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	02	15	障害者緊急通報システム事業経費	障がい者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	203,000				203,000	0
29年度	363,000				363,000	0
増減額	△ 160,000	0	0	0	△ 160,000	0

〔事業概要〕
ひとり暮らしの重度身体障がい者及び難病患者は、その障害や疾患により、家庭内で急病等の緊急事態に陥る可能性が高い。このため、緊急通報機器を設置し、日常における急病等への不安感を解消するとともに、緊急時においては、その発生を外部に通報することにより、速やかな救助を得ることにより、在宅の重度身体障がい者等の生活の安全を確保する。

〔事業実績等〕
該当者がなかったため、実績なし。

節の内訳	金額
計	0

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	9,000
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	△ 9,000
計	0

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	02	16	障害者ふれあいスポーツ交流事業経費	障がい者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,800,000				1,800,000	1,420,103
29年度	2,000,000				2,000,000	1,838,820
増減額	△ 200,000	0	0	0	△ 200,000	△ 418,717

〔事業概要〕
障がい者防災・スポーツフェア2018実行委員会が実施する、スポーツ体験と防災体験を兼ね合わせたイベントに対し、経費の一部を補助することにより、障がい者福祉の向上に寄与する。

〔事業実績等〕
障がい者支援課障がい者相談係　20のとおり(P203)
2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ活動への参加促進と機運醸成、震災を踏まえた防災意識の醸成等を図ることできた。

節の内訳	金額
19 負担金補助及び交付金	1,420,103
計	1,420,103

財源内訳	金額
国庫支出金	710,052
都支出金	355,026
地方債	
その他	
一般財源	355,025
次年度精算額	
計	1,420,103

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	02	22	地域生活支援事業経費	障がい者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	123,901,000	659,000		△ 1,000	124,559,000	111,660,494
29年度	126,252,000			△ 27,000	126,225,000	114,743,117
増減額	△ 2,351,000	659,000	0	26,000	△ 1,666,000	△ 3,082,623

〔事業概要〕
地域生活を営むことが困難な障がい者（児）に利用者に応じたサービスを提供することにより、自立と社会参加を促進する。

〔事業実績等〕
精神障害者地域活動支援センター事業、手話通訳者等派遣事業、手話奉仕員要請事業、心身障害者自動車運転教習費助成事業、移動支援費給付事業及び日中一時支援費給付事業
障がい者支援課障がい者相談係　3、8のとおり(P195、198)
地域生活を営むことが困難な障がい者に対し、日常生活の利便を図ることで、自立した生活と社会参加の促進を図ることができた。

節の内訳	金額
08 報償費	1,503,320
12 役務費	6,620
13 委託料	33,466,300
20 扶助費	76,684,254
計	111,660,494

財源内訳	金額
国庫支出金	30,207,573
都支出金	18,471,786
地方債	
その他	
一般財源	63,685,135
次年度精算額	△ 704,000
計	111,660,494

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	02	24	障害者虐待防止対策事業経費	障がい者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	5,337,000				5,337,000	5,010,404
29年度	5,403,000				5,403,000	5,013,925
増減額	△ 66,000	0	0	0	△ 66,000	△ 3,521

〔事業概要〕
「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」により、障がい者に対する虐待を防止するため、虐待防止センターを設置し、365日・24時間体制で通報受理、相談受付を実施した。

〔事業実績等〕
障がい者支援課障がい者相談係　18のとおり(P201)
関係機関と連携し、対応を図ることにより、虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障がい者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援を図ることができた。

節の内訳	金額
08 報償費	83,500
11 需用費	116,424
13 委託料	4,810,480
計	5,010,404

財源内訳	金額
国庫支出金	2,668,000
都支出金	1,334,000
地方債	
その他	
一般財源	1,253,404
次年度精算額	△ 245,000
計	5,010,404

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	02	27	自立支援給付事業経費	障がい者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,390,229,000	46,311,000			1,436,540,000	1,416,582,120
29年度	1,361,072,000	42,965,000		514,000	1,404,551,000	1,374,539,853
増減額	29,157,000	3,346,000	0	△ 514,000	31,989,000	42,042,267

〔事業概要〕
日常生活を営むことが困難な障がい者（児）に対し、ホームヘルパーの派遣などの居宅介護や生活訓練などのための施設入所などの必要なサービスを提供することにより、自立と社会参加を促進する。

〔事業実績等〕
障がい者支援課障がい者支援係 1のとおり(P191)
障害福祉サービス費、補装具費、重症心身障害児(者)通所事業費、療養介護医療費、高額障害福祉サービス費及びグループホーム等家賃助成
日常生活を営むことが困難な障がい者(児)に必要なサービスを提供することにより、自立と社会参加を推進し、障がい者の福祉の向上を図ることができた。

節の内訳	金額
12 役務費	1,063,752
14 使用料及び賃借料	5,371,920
19 負担金補助及び交付金	38,900,000
20 扶助費	1,367,079,448
23 償還金利子及び割引料	4,167,000
計	1,416,582,120

財源内訳	金額
国庫支出金	614,921,500
都支出金	439,078,750
地方債	
その他	
一般財源	371,016,958
次年度精算額	△ 8,435,088
計	1,416,582,120

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	02	28	自立支援医療経費	障がい者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	54,835,000	6,816,000		1,000	61,652,000	60,552,269
29年度	46,062,000	8,341,000		1,112,000	55,515,000	54,867,479
増減額	8,773,000	△ 1,525,000	0	△ 1,111,000	6,137,000	5,684,790

〔事業概要〕
障害や疾患に対して、確実な治療効果が期待される医療を継続して受けるために必要な医療費の支給を行った。

〔事業実績等〕
更生医療・育成医療支給認定状況
障がい者支援課障がい者支援係 4のとおり(P192)
障がい者支援課障がい者相談係 6(2)イ、ウのとおり(P197)
身体の障害を除去･軽減する手術等の治療によって、確実な治療効果が期待できる者に対して、生活の能力を得るために必要な医療の提供を図ることができた。

節の内訳	金　額
01 報酬	23,100
12 役務費	20,792
20 扶助費	60,508,377
計	60,552,269

財源内訳	金　額
国庫支出金	34,416,500
都支出金	15,211,754
地方債	
その他	
一般財源	11,562,460
次年度精算額	△ 638,445
計	60,552,269

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	02	29	地域自立支援協議会運営事業経費	障がい者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,454,000				1,454,000	1,386,500
29年度	1,454,000				1,454,000	1,401,500
増減額	0	0	0	0	0	△ 15,000

〔事業概要〕
相談支援事業を始めとする地域の障害福祉に関するシステムづくりについて、福祉サービス事業者、保健・医療・教育・雇用関係者等により、全体会及び部会等を設置し定期的に協議することにより、障がい者支援を充実させる。

〔事業実績等〕
障がい者支援課障がい者相談係　17のとおり(P201)
地域全体で障がい者を支える力を高め、相談支援事業を始めとする地域の障害福祉に関して、中核的な役割を果たす協議を行うことができた。

節の内訳	金　額
08 報償費	226,500
13 委託料	1,160,000
計	1,386,500

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,386,500
次年度精算額	
計	1,386,500

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	02	31	高次脳機能障害者支援事業経費	障がい者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	298,000				298,000	199,709
29年度	298,000				298,000	163,441
増減額	0	0	0	0	0	36,268

〔事業概要〕
交通事故や脳卒中などの後遺症として、「言葉が出ない」「会話がうまくかみ合わない」など、失語・失行・失認のほか記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害など生活、就労などが困難となる症状のある者（高次脳機能障がい者）やその家族等に対し、医療機関、就労支援センターその他の関係機関と連携を図り、適切な支援を提供するとともに、高次脳機能障害に対する正しい理解の促進を図るため、周知・啓発を行った。

〔事業実績等〕
障がい者支援課障がい者相談係　21のとおり(P203)
高次脳機能障がい者やその家族等に対し、適切な支援を提供するとともに、高次脳機能障害に対する正しい理解の促進を図ることができた。

節の内訳	金　額
08 報償費	19,500
11 需用費	180,209
計	199,709

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	145,000
地方債	
その他	
一般財源	54,709
次年度精算額	
計	199,709

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	03	01	障がい者就労・生活支援センター運営事業経費	障がい者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	17,343,000				17,343,000	17,342,200
29年度	15,693,000			1,000	15,694,000	15,692,600
増減額	1,650,000	0	0	△ 1,000	1,649,000	1,649,600

〔事業概要〕
障がい者の一般就労の機会の拡大を図るとともに、地域における生活の支援を行い、障がい者の自立と社会参加を促進する。

〔事業実績等〕
障がい者支援課障がい者支援係　15のとおり(P200)
一般企業等に就労を希望する障がい者に対し、自身に合った職場で安定的に働き続けるための相談、支援を行うことができた。

節の内訳	金　額
13 委託料	17,342,200
計	17,342,200

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	8,671,000
地方債	
その他	
一般財源	8,671,200
次年度精算額	
計	17,342,200

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	04	01	高齢者福祉一般経費	高齢者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	69,832,000	1,166,000			70,998,000	67,780,998
29年度	68,474,000	1,285,000			69,759,000	67,675,498
増減額	1,358,000	△ 119,000	0	0	1,239,000	105,500

〔事業概要〕
高齢者の生活環境及び就労等の充実を図り、安心して自立した在宅生活を送ることができるように次の事業を実施した。

〔事業実績等〕
＜高齢者配食サービス事業＞
高齢者支援課高齢者支援係　5のとおり(P205)
＜高齢者クラブ助成事業＞
高齢者支援課高齢者支援係　4のとおり(P204)
＜シルバー人材センター事業補助事業＞
補助金交付額　36,800,000円
シルバー人材センターが行う事業に係る経費の一部を補助し、高齢者の能力を活かした地域社会づくりに寄与した。
＜高齢者世帯水道料助成事業＞
高齢者支援課高齢者支援係　10のとおり(P206)
＜救急医療情報キット事業＞
65歳以上の高齢者や災害時などに援護を必要とする障がい者等に対し、町内会・自治会を通じて救急医療情報キットを配布した。
＜高齢者福祉電話事業＞
高齢者支援課高齢者支援係　2のとおり(P204)
高齢者の生活環境の充実を図るため、各種事業を実施し、安心して自立した在宅生活を送ることができるように支援した。

節の内訳	金　額
08 報償費	136,500
09 旅費	47,962
11 需用費	268,775
12 役務費	2,479,264
13 委託料	5,027,446
14 使用料及び賃借料	2,978,850
19 負担金補助及び交付金	53,420,485
20 扶助費	2,480,716
23 返還金	941,000
計	67,780,998

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	20,480,000
地方債	
その他	
一般財源	47,902,998
次年度精算額	△ 602,000
計	67,780,998

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	04	10	高齢者緊急通報システム事業経費	高齢者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	7,135,000				7,135,000	6,309,052
29年度	6,959,000				6,959,000	6,250,497
増減額	176,000	0	0	0	176,000	58,555

〔事業概要〕
東京消防庁又は民間受信センターに通報するための通報機器（固定機器と携帯用ペンダント）を貸与することにより、住居内で緊急事態に陥ったときに、速やかに通報を行うことができ、より安心した在宅生活を送ることができる。
（対象者）
概ね65歳以上の一人暮らし及び高齢者のみの世帯等であって、身体上、慢性疾患があるなど、日常生活を営む上で常時注意を要する状態にある方

〔事業実績等〕
高齢者支援課高齢者支援係　6のとおり(P205)
東京消防庁又は民間受信センターに通報するための通報機器を貸与することにより、住居内で緊急事態に陥った時に、速やかに通報ができることで、より安心して在宅生活が送れるように支援した。

節の内訳	金　額
13 委託料	6,072,532
18 備品購入費	236,520
計	6,309,052

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	2,693,000
地方債	
その他	
一般財源	3,792,052
次年度精算額	△ 176,000
計	6,309,052

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	04	13	高齢者自立支援日常生活用具等給付事業経費	高齢者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	5,519,000				5,519,000	1,898,869
29年度	2,487,000	3,032,000			5,519,000	4,261,151
増減額	3,032,000	△ 3,032,000	0	0	0	△ 2,362,282

〔事業概要〕
65歳以上の高齢者で、在宅生活を送る上で不自由がある方に対し、必要と認められる日常生活用具や住宅改修の給付を実施した。

〔事業実績等〕
＜日常生活用具給付事業＞
高齢者支援課高齢者支援係　9のとおり(P205)
＜住宅改修給付事業＞
高齢者支援課高齢者支援係　8のとおり(P205)
在宅生活を営む上で必要となる日常生活用具や手すりの取付けなどの住宅改修の給付を行い、在宅生活における利便性、日常動作の容易性、行動範囲の確保、転倒予防及び介護の軽減等を図ることができた。

節の内訳	金額
20 扶助費	1,898,869
計	1,898,869

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	2,693,500
地方債	
その他	
一般財源	960,869
次年度精算額	△ 1,755,500
計	1,898,869

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	04	15	高齢者施設援護措置経費	高齢者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	12,936,000			△ 333,000	12,603,000	10,290,729
29年度	15,359,000				15,359,000	9,501,485
増減額	△ 2,423,000	0	0	△ 333,000	△ 2,756,000	789,244

〔事業概要〕
原則として65歳以上で、身体的、精神的又は環境上の理由により、居宅で生活することが困難な方が安心して暮らすことができるよう、養護老人ホーム等への入所を実施した。

〔事業実績等〕
高齢者支援課高齢者支援係　14のとおり(P207)
養護老人ホームへの入所措置を実施することにより、居宅で生活することが困難な方が安心して暮らすことができた。

節の内訳	金額
08 報償費	15,500
12 役務費	25,380
20 扶助費	10,249,849
計	10,290,729

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	3,781,824
一般財源	6,508,905
次年度精算額	
計	10,290,729

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	04	25	敬老の日経費	高齢者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	10,312,000				10,312,000	9,832,332
29年度	10,010,000				10,010,000	9,322,814
増減額	302,000	0	0	0	302,000	509,518

〔事業概要〕
多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し長寿を祝うとともに、高齢者の福祉への関心と理解を深め、高齢者が自ら生活の向上に努める意欲を高めるため、町内会・自治会が実施する敬老行事に対して経費の一部を補助した。
また、100歳到達者及び最高齢者に対し、記念品等を贈呈した。

〔事業実績等〕
高齢者支援課高齢者支援係　3のとおり(P204)
町内会･自治会が実施する敬老行事に対して経費の一部を補助することなどにより、高齢者を敬愛し長寿を祝うとともに、高齢者の福祉への関心と理解を深め、高齢者が自ら生活の向上に努める意欲を高めることに寄与した。

節の内訳	金額
08 報償費	230,000
11 需用費	29,951
12 役務費	48,923
19 負担金補助及び交付金	9,523,458
計	9,832,332

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	4,952,500
地方債	
その他	
一般財源	5,046,332
次年度精算額	△ 166,500
計	9,832,332

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	04	60	高齢者見守り事業経費	高齢者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,097,000				1,097,000	594,384
29年度	1,097,000				1,097,000	613,474
増減額	0	0	0	0	0	△ 19,090

〔事業概要〕
高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、様々な高齢者見守り事業を実施する。世帯に異変があった場合には、市や地域包括支援センターまで連絡をもらい、適切な支援を行った。

〔事業実績等〕
高齢者支援課高齢者支援係　11のとおり(P206)
＜防災・安心地域委員会による見守り事業＞
協力員数：102人
地域から選ばれた見守り協力員が月2回程度、見守りを希望する高齢者世帯を訪問し見守りを行った。
＜乳酸菌飲料配達事業＞
配布数：3,392 個
乳酸菌飲料販売業者が週1回、無償で1本の乳酸菌飲料を手渡しで配達し、安否確認を行った。
各種高齢者見守り事業を実施することにより、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できることを支援した。

節の内訳	金　額
13 委託料	291,712
19 負担金補助及び交付金	302,672
計	594,384

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	548,000
地方債	
その他	
一般財源	297,384
次年度精算額	△ 251,000
計	594,384

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	04	63	成年後見制度推進事業経費	高齢者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	9,500,000				9,500,000	9,500,000
29年度	9,428,000				9,428,000	9,428,000
増減額	72,000	0	0	0	72,000	72,000

〔事業概要〕
福祉サービスの利用者等の相談や苦情対応、また、認知症などによる成年後見制度に関する相談が増加しているため、福祉サービスの利用者支援と成年後見制度の積極的な活用を一体的に推進していく体制を整備した。
＜事業内容＞
福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを行うとともに、苦情対応や成年後見制度の利用相談などを行った。また、成年後見制度を推進するための機関として「成年後見制度推進機関」を設置し、後見人のサポートや地域ネットワークの活用を推進した。

〔事業実績等〕
高齢者支援課高齢者支援係　13のとおり(P206)

節の内訳	金　額
13 委託料	9,500,000
計	9,500,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	4,750,000
地方債	
その他	2,357,000
一般財源	2,393,000
次年度精算額	
計	9,500,000

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	01	04	64	小宮ふれあい交流事業経費	高齢者支援課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,907,000				1,907,000	1,800,128
29年度	1,829,000				1,829,000	1,763,275
増減額	78,000	0	0	0	78,000	36,853

〔事業概要〕
小宮ふるさと自然体験学校を利用し、65歳以上の方のための憩いの場として、介護にならないことを目指して、趣味活動・レクリエーション・健康相談・介護予防の体操などを行った。
＜開催日・時間＞
原則として、第1・3週の木曜日及び第2・4週の水曜日
概ね午前9時30分から午後3時まで（送迎時間等を含む目安）

〔事業実績等〕
高齢者支援課高齢者支援係　12のとおり(P206)
小宮ふるさと自然体験学校を利用し、趣味活動･レクリエーション･健康相談･介護予防の体操などを行うことで、介護予防や地域の交流の推進を図ることができた。

節の内訳	金　額
01 報酬	1,238,562
07 賃金	101,412
08 報償費	174,000
11 需用費	286,154
計	1,800,128

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	304,667
一般財源	1,495,461
次年度精算額	
計	1,800,128

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	01	06	01	在宅サービスセンター運営管理経費	高齢者支援課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	41,096,000				41,096,000	41,095,593
29年度	42,350,000				42,350,000	42,348,718
増減額	△ 1,254,000	0	0	0	△ 1,254,000	△ 1,253,125

〔事業概要〕
家に閉じこもりがちな高齢者及び要介護状態になるおそれのある高齢者に対し、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態への進行を予防するため、高齢者在宅サービスセンター（萩野・開戸・五日市）において、高齢者生きがい活動支援通所事業等を指定管理委託により実施した。

〔事業実績等〕
高齢者支援課高齢者支援係　1のとおり(P204)
高齢者生きがい活動支援通所事業等を実施することにより、家に閉じこもりがちな高齢者などの社会的孤立感を解消するとともに、要介護状態への進行を予防することができた。

節の内訳	金額
12 役務費	32,593
13 委託料	41,063,000
計	41,095,593

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	25,000,000
一般財源	16,095,593
次年度精算額	
計	41,095,593

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	01	02	子育てひろば・乳幼児一時預かり事業経費	子ども家庭支援センター

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	53,206,000				53,206,000	53,108,389
29年度	0				0	0
増減額	53,206,000	0	0	0	53,206,000	53,108,389

〔事業概要〕
＜子育てひろば事業＞
子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安、悩みの相談、情報収集等ができる場として、市内5か所に設置した子育てひろばで、子育てに関する相談、育児講座等の啓発活動、子育てサークル等の育成を行った。
＜乳幼児一時預かり事業＞
保護者の育児疲れや不安を早期に解消し、心身のリフレッシュを図るために、「子育てひろば　こころの」（あきる野ルピア2階）に隣接したスペースで、保育所等に通っていない乳幼児の一時預かりを実施した。

【平成29年度の「地域子ども子育て支援事業経費」を「子育てひろば・乳幼児一時預かり事業経費」と「秋川流域病児・病後児保育事業経費」に分割した。】

〔事業実績等〕
子ども家庭支援センター子育て支援事業係　7、8のとおり(P252)
子育てひろば事業については、市内5か所のひろばで、子育て親子の交流や集いの場の提供、子育てに関する情報提供などを行った。利用延べ人数も伸び、利用者からも好評を得ることができた。
乳幼児一時預かり事業については、保護者のリフレッシュ等での利用が多く、利用者からも好評を得ることができた。

節の内訳	金額
09 旅費	3,493
11 需用費	436,272
13 委託料	49,872,528
14 使用料及び賃借料	2,796,096
計	53,108,389

財源内訳	金額
国庫支出金	9,317,000
都支出金	26,862,000
地方債	
その他	1,450,000
一般財源	15,479,389
次年度精算額	
計	53,108,389

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	01	04	乳幼児ショートステイ事業経費	子ども家庭支援センター

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,754,000				1,754,000	1,606,379
29年度	1,762,000				1,762,000	1,717,444
増減額	△ 8,000	0	0	0	△ 8,000	△ 111,065

〔事業概要〕
保護者の疾病や出張などにより、乳幼児が一時的に家庭で保育を受けることが困難になった場合に、保護者に代わって短期的な養育（宿泊可）を行った。

〔事業実績等〕
子ども家庭支援センター子育て支援事業係　5のとおり(P252)

節の内訳	金額
12 役務費	8,616
13 委託料	1,597,763
計	1,606,379

財源内訳	金額
国庫支出金	454,000
都支出金	454,000
地方債	
その他	
一般財源	938,379
次年度精算額	△ 240,000
計	1,606,379

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	01	05	地域子ども育成リーダー事業経費	子ども政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,414,000				2,414,000	1,840,841
29年度	2,010,000				2,010,000	1,549,860
増減額	404,000	0	0	0	404,000	290,981

〔事業概要〕
地域の絆を深めるとともに、郷土愛を持った「あきる野っ子」を育てるため、大人たちの知識、経験などを生かして、それぞれの地域における子どもの安全・安心の確保と健全な育成を担うとともに子ども・子育てを支える地域づくりを推進するため、あきる野市地域子ども育成リーダーを養成した。
また、地域子ども育成リーダーが自由な発想で主体となって実施する子どもの育成や子育て支援などの提案事業に対し補助金を交付し、地域で子どもを育成する環境を整えた。

〔事業実績等〕
子ども政策課子ども政策係　3、4のとおり(P240)

節の内訳	金額
11 需用費	85,444
12 役務費	126,182
13 委託料	500,000
19 負担金補助及び交付金	1,129,215
計	1,840,841

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	1,207,000
地方債	
その他	
一般財源	920,841
次年度精算額	△ 287,000
計	1,840,841

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	01	06	新生児誕生お祝い事業経費	市民課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,850,000				1,850,000	1,226,359
29年度	1,850,000				1,850,000	1,336,600
増減額	0	0	0	0	0	△ 110,241

〔事業概要〕
子の誕生をお祝いするとともに、子育てを支援する目的で、軍道和紙で制作したメメッセージカードと3,000円相当の地域特産クーポン券を贈呈した。

〔事業実績等〕
市民課市民窓口係　6のとおり(P95)

節の内訳	金額
08 報償費	1,095,774
11 需用費	128,785
12 役務費	1,800
計	1,226,359

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,226,359
次年度精算額	
計	1,226,359

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	01	07	秋川流域病児・病後児保育事業経費	子ども家庭支援センター

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	17,260,000			98,000	17,358,000	16,594,374
29年度	0				0	0
増減額	17,260,000	0	0	98,000	17,358,000	16,594,374

〔事業概要〕
保護者の子育てと就労の両立等を支援するため、集団保育が困難な病中または病気の回復期の児童を一時的に預かる病児・病後児保育事業を実施した。
秋川流域病児・病後児保育室は、あきる野市、日の出町、檜原村の3市町村で広域利用している。

〔事業実績等〕
子ども家庭支援センター子育て支援事業係　6のとおり(P252)
あきる野市、日の出町、檜原村の3市町村及び委託事業者である公立阿伎留医療センターと連携を図り、専門性の高い保育・看護体制の下で事業を実施した。利用延べ人数も多く、利用者からも好評を得ることができた。

節の内訳	金額
11 需用費	621,985
12 役務費	205,938
13 委託料	15,649,803
14 使用料及び賃借料	81,648
19 負担金補助及び交付金	35,000
計	16,594,374

財源内訳	金額
国庫支出金	3,449,000
都支出金	6,469,000
地方債	
その他	3,017,868
一般財源	4,676,506
次年度精算額	△ 1,018,000
計	16,594,374

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	01	08	利用者支援事業経費	子ども家庭支援センター

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	11,653,000				11,653,000	11,596,511
29年度	11,656,000				11,656,000	11,603,513
増減額	△ 3,000	0	0	0	△ 3,000	△ 7,002

〔事業概要〕
保育所や幼稚園、一時預かり、学童クラブなどの地域の子育て支援事業等の利用情報を集約し、保護者からの相談に応じて、必要な情報提供・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整等を行った。
専任の職員が事業の中から、子どもや保護者のニーズに合った適切なものを選択し、円滑に利用できるよう関係機関と連携して支援した。

〔事業実績等〕
子ども家庭支援センター子育て支援事業係　9のとおり(P252)
あきる野ルピア2階の子育て支援総合窓口（利用者支援事業（基本型））において、教育・保育事業や地域の子育て支援事業の中から適切なものを円滑に利用できるよう支援した。

節の内訳	金額
13 委託料	11,442,000
14 使用料及び賃借料	154,511
計	11,596,511

財源内訳	金額
国庫支出金	2,630,000
都支出金	4,182,000
地方債	
その他	
一般財源	4,784,511
次年度精算額	
計	11,596,511

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	01	09	子どもの学習支援事業経費	子ども政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	6,841,000	△ 1,347,000			5,494,000	5,001,889
29年度	8,098,000				8,098,000	5,159,710
増減額	△ 1,257,000	△ 1,347,000	0	0	△ 2,604,000	△ 157,821

〔事業概要〕
子どもの学習支援事業は、授業がよく分からない、家庭での勉強のやり方が分からないなど、学習に不安のある児童・生徒の基礎学力の向上や家庭学習の習慣づけを図り、将来に希望を持って就学することができるようにすることを目的として実施した。
①対象者　あきる野市内に住所を有する小学校5、6年生及び中学校1、2年生
②学習支援教室　あきる野市役所別館及び五日市地域交流センター
③教科　小学校5、6年生：国語、算数
　　中学校1、2年生：数学、英語

〔事業実績等〕
子ども政策課子ども政策係　7のとおり(P242)

節の内訳	金額
07 賃金	4,093,950
11 需用費	817,527
12 役務費	90,412
計	5,001,889

財源内訳	金額
国庫支出金	3,420,000
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2,501,889
次年度精算額	△ 920,000
計	5,001,889

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	01	10	あきる野子育てステーションこころの運営管理経費	子ども家庭支援センター

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	36,989,000			△ 2,000	36,987,000	36,722,917
29年度	38,503,000				38,503,000	34,840,568
増減額	△ 1,514,000	0	0	△ 2,000	△ 1,516,000	1,882,349

〔事業概要〕
妊娠期から出産、子育て期に至るまでの切れ目のない支援を行う、子育て支援拠点施設「あきる野子育てステーションこころの」（あきる野ルピア2階）全体の運営及び維持管理を行った。

【平成29年度「子育て支援拠点施設維持管理経費」から事業名称変更】

〔事業実績等〕
子育てに関する様々なニーズに対応できるよう、適切に施設の維持管理を行った。

節の内訳	金額
11 需用費	854,551
12 役務費	605,021
13 委託料	2,184,192
14 使用料及び賃借料	33,079,153
計	36,722,917

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	36,722,917
次年度精算額	
計	36,722,917

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	02	01	11	ファミリー・サポート・センター事業経費	子ども家庭支援センター

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	12,983,000				12,983,000	12,935,817
29年度	13,052,000				13,052,000	13,035,146
増減額	△ 69,000	0	0	0	△ 69,000	△ 99,329

〔事業概要〕
育児の援助をしてほしい方（依頼会員）と、育児の援助をしたい方（提供会員）が会員となり、地域の中で助け合いながら子育ての援助活動を行う会員組織の連絡・調整を行った。

〔事業実績等〕
子ども家庭支援センター子育て支援事業係　4のとおり(P250)

節の内訳	金　額
13 委託料	12,780,000
14 使用料及び賃借料	155,817
計	12,935,817

財源内訳	金　額
国庫支出金	1,333,000
都支出金	9,619,000
地方債	
その他	
一般財源	1,983,817
次年度精算額	
計	12,935,817

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	02	02	01	私立保育所運営事業経費	保育課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,652,032,000	△ 30,209,000			2,621,823,000	2,568,986,026
29年度	2,504,123,000	91,344,000			2,595,467,000	2,586,951,730
増減額	147,909,000	△ 121,553,000	0	0	26,356,000	△ 17,965,704

〔事業概要〕
生後3か月から小学校就学前の児童を持つ保護者が、就労や病気などの理由により家庭において十分保育することができない場合に保護者に代わり保育を行う民間保育所に対し、運営の委託費及び補助金の交付を行った。保育所職員の平均勤続年数や賃金改善・キャリアアップの取組に応じた人件費の加算及び技能・経験を積んだ職員に係る追加的な人件費の加算を行った。
＜対象施設＞
市内　12施設
市民が通所する市外の保育施設

〔事業実績等〕
保育課保育係　4、5のとおり(P257、258)
保育所に対し、職員の平均勤続年数や賃金改善・キャリアアップの取組に応じた人件費の加算及び技能・経験を積んだ職員に係る追加的な人件費の加算をすることで、保育所において教育・保育の提供に携わる人材の確保及び資質の向上を図ることができた。

節の内訳	金　額
13 委託料	2,459,212,600
19 負担金補助及び交付金	91,478,292
23 返還金	18,295,134
計	2,568,986,026

財源内訳	金　額
国庫支出金	590,505,706
都支出金	926,600,761
地方債	
その他	354,061,255
一般財源	697,818,304
次年度精算額	
計	2,568,986,026

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	02	02	02	認定こども園運営事業経費	保育課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	271,864,000				271,864,000	227,739,272
29年度	49,773,000	21,644,000			71,417,000	64,861,922
増減額	222,091,000	△ 21,644,000	0	0	200,447,000	162,877,350

〔事業概要〕
子ども・子育て支援新制度に基づき、就学前の教育と保育を一体的に行う認定こども園に対し、施設運営のための費用を支出した。
＜対象施設＞
市内　2施設（平成29年度　1施設）
市民が通所する市外の保育施設

〔事業実績等〕
保育課保育係　4、11、12のとおり(P257、260)
認定こども園に対し、職員の平均勤続年数や賃金改善・キャリアアップの取組に応じた人件費の加算及び技能・経験を積んだ職員に係る追加的な人件費の加算をすることで、認定こども園において教育・保育の提供に携わる人材の確保及び資質の向上を図ることができた。

節の内訳	金　額
13 委託料	215,342,872
19 負担金補助及び交付金	12,396,400
計	227,739,272

財源内訳	金　額
国庫支出金	91,778,460
都支出金	85,217,110
地方債	
その他	4,788
一般財源	50,738,914
次年度精算額	
計	227,739,272

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	02	03	認証保育所運営事業経費	保育課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	92,231,000	7,749,000			99,980,000	97,905,705
29年度	101,914,000	8,109,000			110,023,000	85,324,210
増減額	△ 9,683,000	△ 360,000	0	0	△ 10,043,000	12,581,495

〔事業概要〕
東京都認証保育所実施要綱に基づき認証を受けた、認証保育所の運営に要する経費の一部を補助した。また、保護者の経済的負担を軽減するため、保育料の一部を補助した。
＜対象施設＞
市内　2施設
市民が通所する市外の保育施設

〔事業実績等〕
保育課保育係　8、9のとおり(P260)
認証保育所に対し、職員の平均勤続年数や賃金改善・キャリアアップの取組に応じた人件費の加算及び技能・経験に係る追加的な人件費の加算をすることで、教育・保育の提供に携わる人材の確保及び資質の向上を図ることができた。また、保護者の負担軽減ができた。

節の内訳	金額
19 負担金補助及び交付金	97,048,705
23 返還金	857,000
計	97,905,705

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	54,837,000
地方債	
その他	
一般財源	42,211,705
次年度精算額	
計	97,048,705

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	02	06	小規模保育所運営事業経費	保育課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	216,261,000	3,948,000			220,209,000	169,045,200
29年度	116,079,000	27,007,000			143,086,000	131,886,513
増減額	100,182,000	△ 23,059,000	0	0	77,123,000	37,158,687

〔事業概要〕
0歳児から2歳児までの子どもを対象に、少人数の保育を行う小規模保育事業にかかる運営の委託及び補助金の交付を行った。
＜対象施設＞
市内　5施設（平成29年度　4施設）
市民が通所する市外の保育施設

〔事業実績等〕
保育課保育係　4、11、12のとおり(P257、260)
小規模保育所に対し、職員の平均勤続年数や賃金改善・キャリアアップの取組に応じた人件費の加算及び技能・経験を積んだ職員に係る追加的な人件費の加算をすることで、教育・保育の提供に携わる人材の確保及び資質の向上を図ることができた。

節の内訳	金額
13 委託料	158,558,200
19 負担金補助及び交付金	5,916,000
23 返還金	4,571,000
計	169,045,200

財源内訳	金額
国庫支出金	80,476,930
都支出金	46,154,465
地方債	
その他	
一般財源	42,413,805
次年度精算額	
計	169,045,200

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	02	12	保育従事職員宿舎借上支援事業経費	保育課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	17,220,000	3,107,000			20,327,000	13,613,000
29年度	16,359,000				16,359,000	4,057,000
増減額	861,000	3,107,000	0	0	3,968,000	9,556,000

〔事業概要〕
保育従事者が働きやすいし環境を整備し、保育人材の確保及び離職防止を図るため、保育従事職員の宿舎を借り上げるための費用の一部を支援した。
・補助基準上限額　1戸当たり月額 82,000円

〔事業実績等〕
保育課保育係　14のとおり(P260)
保育施設を運営する法人に対して、保育従事者の宿舎借り上げにかかる経費の一部を補助することで、働きやすいし環境を整備し、保育人材の確保及び離職防止が図られた。
・事業を実施した保育施設：12施設
・補助対象保育従事者：29人
・補助対象月数：（延べ）224月分

節の内訳	金額
19 負担金補助及び交付金	10,506,000
23 返還金	3,107,000
計	13,613,000

財源内訳	金額
国庫支出金	6,056,000
都支出金	4,044,000
地方債	
その他	
一般財源	4,028,000
次年度精算額	△ 515,000
計	13,613,000

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	02	02	13	保育所等ＩＣＴ化推進事業経費	保育課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	36,000,000				36,000,000	22,942,000
29年度	0				0	0
増減額	36,000,000	0	0	0	36,000,000	22,942,000

〔事業概要〕
保育士の業務負担の軽減を図るため、保育業務を支援するシステムを導入する保育所等に対して補助を行った。

〔事業実績等〕
保育課保育係　15のとおり(P261)
ICT化を推進する保育施設等の設置者に対し、当該ICT化の推進に要する経費を補助することで、保育士の業務の負担軽減、保育の質の向上及び業務の効率化が図られた。
・事業を実施した保育施設：13施設
・主な事業内容：保育業務支援システムの導入、パソコン・タブレット等の端末購入、施設内のWi-Fi環境整備

節の内訳	金　額
19 負担金補助及び交付金	22,942,000
計	22,942,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	6,444,000
都支出金	11,364,000
地方債	
その他	
一般財源	5,738,000
次年度精算額	△ 604,000
計	22,942,000

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	02	02	14	保育所等児童安全対策強化事業経費	保育課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	18,000,000				18,000,000	8,259,000
29年度	0				0	0
増減額	18,000,000	0	0	0	18,000,000	8,259,000

〔事業概要〕
児童の安全対策の一層の強化と保育従事職員の心理的な負担軽減を図るため、午睡チェックを補強する監視モニターやベビーセンサー等の設備を導入する保育所等に対して補助を行った。

〔事業実績等〕
保育課保育係　16のとおり(P261)
事故防止のための備品購入等を実施する保育施設等の設置者に対し、当該事故防止の推進に要する経費を補助することで、安全かつ安心な保育環境を整備し、保育従事職員の負担軽減が図られた。
・事業を実施した保育施設：9施設
・備品購入台数：85台（主に乳幼児向けの無呼吸アラーム及びベビーセンサー）

節の内訳	金　額
19 負担金補助及び交付金	8,259,000
計	8,259,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	1,090,000
都支出金	7,133,000
地方債	
その他	
一般財源	427,000
次年度精算額	△ 391,000
計	8,259,000

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	03	02	03	01	母子福祉事業経費	子ども家庭支援センター

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	20,383,000	13,628,000			34,011,000	26,224,599
29年度	19,722,000	1,899,000			21,621,000	15,688,708
増減額	661,000	11,729,000	0	0	12,390,000	10,535,891

〔事業概要〕
＜母子･父子（女性）福祉資金の事務費＞
母子家庭等に対し、経済的自立のための助成と生活意欲の助長を図るとともに児童の福祉を増進するため、「東京都母子及び父子福祉資金貸付事業」等の取扱事務を行った。
＜児童福祉法に基づく援護措置事業＞
入院助産措置は、保健上入院して分べんする必要があるにもかかわらず、経済的にその費用を支払うことが困難な妊産婦を助産施設に入所措置をした。
母子生活支援施設措置は、母子家庭で児童の養育が十分にできない場合、母子をともに入所させて保護し、自立促進のための生活支援を行った。また、「母子及び父子並びに寡婦福祉法」及び「売春防止法」により、被害者支援として、都の女性センターを通して緊急一時保護を行った。

〔事業実績等〕
子ども家庭支援センター相談係　7～9のとおり(P254)
東京都女性相談センターと連携し、一時保護ケース（年間6件）の対応を行った。
高等職業訓練促進給付金の受給者が2年間の修業期間を終了後、資格を取得し就労につなげることができた。

節の内訳	金　額
11 需用費	18,986
12 役務費	31,029
13 委託料	208,300
19 負担金補助及び交付金	187,950
20 扶助費	22,760,515
23 償還金利子及び割引料	3,017,819
計	26,224,599

財源内訳	金　額
国庫支出金	16,051,675
都支出金	5,114,487
地方債	
その他	
一般財源	7,556,018
次年度精算額	△ 2,497,581
計	26,224,599

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	03	03	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業経費	子ども家庭支援センター

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,260,000	293,000			2,553,000	452,960
29年度	5,132,000	349,000			5,481,000	471,210
増減額	△ 2,872,000	△ 56,000	0	0	△ 2,928,000	△ 18,250

〔事業概要〕
日常生活を営むことに著しく支障があるひとり親家庭に対し、一定の期間ホームヘルパーを派遣し、日常生活の世話等のサービスを行った。

〔事業実績等〕
子ども家庭支援センター相談係　5のとおり(P254)
ホームヘルパーを派遣することで、ひとり親の日常生活や子育ての負担軽減をすることができた。

節の内訳	金額
13 委託料	159,960
23 償還金利子及び割引料	293,000
計	452,960

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	561,000
地方債	
その他	
一般財源	372,960
次年度精算額	△ 481,000
計	452,960

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	03	08	母子・父子自立支援員・女性相談員事務事業経費	子ども家庭支援センター

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,740,000				3,740,000	1,734,194
29年度	3,738,000				3,738,000	127,355
増減額	2,000	0	0	0	2,000	1,606,839

〔事業概要〕
母子・父子自立支援員は「母子及び父子並びに寡婦福祉法」及び「売春防止法」に基づき設置され、母子世帯・父子世帯や保護が必要な女性に対して情報提供、施設入所などの援助を行った。また、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」により被害者の保護、援助、支援を行った。
様々な生活環境、精神状態、悩みなどを抱えた相談者に寄り添った継続的な支援をするため、専門的な知識を持つ支援員を配置した。

〔事業実績等〕
子ども家庭支援センター相談係　6のとおり(P254)
相談者の悩み、課題を整理したり、関係機関との調整・情報提供等をすることで、様々なケースに寄り添った支援が適切に実施できた。

節の内訳	金額
01 報酬	1,327,640
04 共済費	328,092
09 旅費	69,435
12 役務費	9,027
計	1,734,194

財源内訳	金額
国庫支出金	305,000
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,429,194
次年度精算額	0
計	1,734,194

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	04	02	児童扶養手当給付事業経費	子ども政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	302,734,000	7,102,000			309,836,000	306,023,688
29年度	305,096,000				305,096,000	300,809,014
増減額	△ 2,362,000	7,102,000	0	0	4,740,000	5,214,674

〔事業概要〕
＜国の制度＞
父母の離婚等により、18歳に達する日の属する年度の末日以前（20歳未満で政令で定める程度の障害の状態にある者を含む）の児童を養育している母子家庭や父子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的として手当を支給した。（所得制限あり）
＜手当の支給額＞
※平成30年度実績
・第1子　全部支給　月額42,500円
　　一部支給　月額42,490円から10,030円
・第2子　全部支給　月額10,040円
　　一部支給　月額10,030円から5,020円
・第3子　全部支給　月額 6,020円
　　一部支給　月額 6,010円から3,010円
物価スライドによる額の改定がある。
一部支給の場合、受給者本人の所得金額に応じて手当額が変わる。

〔事業実績等〕
子ども政策課子ども政策係　9のとおり(P243)

節の内訳	金額
07 賃金	485,623
09 旅費	2,854
11 需用費	57,023
12 役務費	254,025
20 扶助費	304,040,500
23 償還金利子及び割引料	1,183,663
計	306,023,688

財源内訳	金額
国庫支出金	100,620,426
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	205,657,442
次年度精算額	△ 254,180
計	306,023,688

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	04	03	児童育成手当給付事業経費	子ども政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	231,052,000	3,880,000			234,932,000	234,528,586
29年度	242,476,000	4,098,000			246,574,000	234,806,474
増減額	△ 11,424,000	△ 218,000	0	0	△ 11,642,000	△ 277,888

〔事業概要〕
＜東京都の制度＞
父母の離婚等により、18歳に達する日の属する年度の末日以前の児童を養育している母子家庭や父子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的として育成手当を支給した。また、20歳未満で身体障害者手帳1.2級程度の身体障害がある者等を養育している者には障害手当を支給した。（所得制限あり）
＜手当の支給額＞
・育成手当　月額13,500円
・障害手当　月額15,500円

〔事業実績等〕
子ども政策課子ども政策係　10のとおり(P243)

節の内訳	金額
12 役務費	67,586
20 扶助費	230,581,000
23 償還金利子及び割引料	3,880,000
計	234,528,586

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	230,677,500
地方債	
その他	
一般財源	3,994,086
次年度精算額	△ 143,000
計	234,528,586

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	04	07	児童手当給付事業経費	子ども政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,259,236,000	1,010,000			1,260,246,000	1,249,103,904
29年度	1,281,604,000	968,000			1,282,572,000	1,275,700,755
増減額	△ 22,368,000	42,000	0	0	△ 22,326,000	△ 26,596,851

〔事業概要〕
＜国の制度＞
中学生以下の児童を養育している者に、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として手当を支給した。
＜手当の支給額＞
所得制限額未満である者
・3歳未満　月額15,000円
・3歳以上小学校修了前（第1子・第2子）　月額10,000円
・3歳以上小学校修了前（第3子以降）　月額15,000円
・中学生　月額10,000円
所得制限額以上である者
・年齢等に関係なく　月額5,000円

〔事業実績等〕
子ども政策課子ども政策係　8のとおり(P242)

節の内訳	金額
07 賃金	1,072,765
11 需用費	116,640
12 役務費	778,300
13 委託料	151,200
20 扶助費	1,245,975,000
23 償還金利子及び割引料	1,009,999
計	1,249,103,904

財源内訳	金額
国庫支出金	860,840,332
都支出金	192,655,166
地方債	
その他	
一般財源	195,365,740
次年度精算額	242,666
計	1,249,103,904

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	06	01	学童クラブ運営経費	子ども政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	162,135,000	△ 2,490,000			159,645,000	157,830,766
29年度	160,256,000				160,256,000	155,852,410
増減額	1,879,000	△ 2,490,000	0	0	△ 611,000	1,978,356

〔事業概要〕
放課後等に家庭において保護者の適切な監護が受けられない小学生を対象に、適切な遊びと生活の場を与え、児童の健全育成を図るため、学童クラブを運営した。
また、保護者の就労形態の多様化等に合わせ、より子育てしやすい環境を整備するため、延長育成を実施した。
・学童クラブ数　16クラブ

〔事業実績等〕
子ども政策課児童館係　2のとおり(P249)

節の内訳	金額
01 報酬	99,681,225
04 共済費	8,644,365
07 賃金	40,723,119
09 旅費	119,490
11 需用費	5,074,643
12 役務費	1,667,300
13 委託料	718,240
14 使用料及び賃借料	302,582
15 工事請負費	605,556
18 備品購入費	294,246
計	157,830,766

財源内訳	金額
国庫支出金	35,645,000
都支出金	36,050,000
地方債	
その他	32,552,050
一般財源	53,583,716
次年度精算額	
計	157,830,766

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	07	01	児童館運営管理経費	子ども政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	53,699,000	353,000			54,052,000	51,951,789
29年度	55,565,000			123,000	55,688,000	53,298,203
増減額	△ 1,866,000	353,000	0	△ 123,000	△ 1,636,000	△ 1,346,414

〔事業概要〕
児童に健全な遊びを与え、健康な身体と豊かな情操を養うとともに、児童福祉の向上を図るため、7児童館と1児童館類似施設を運営した。
各児童館において、幼児及び保護者の交流の場である「幼児クラブ」や、工作、料理等の各種教室を開催するほか、合同行事として「幼児クラブ合同運動会」、「こども芸術祭（展示の部）（舞台発表の部）」を実施した。

〔事業実績等〕
子ども政策課児童館係　1のとおり(P245)

節の内訳	金額
01 報酬	31,375,980
04 共済費	3,753,593
07 賃金	6,848,094
08 報償費	1,953,000
11 需用費	4,635,862
12 役務費	748,302
13 委託料	1,664,077
14 使用料及び賃借料	630,093
15 工事請負費	226,800
16 原材料費	35,243
18 備品購入費	80,745
計	51,951,789

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	4,600,000
地方債	
その他	218,000
一般財源	47,133,789
次年度精算額	
計	51,951,789

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	08	01	ひとり親家庭等医療費助成経費	子ども政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	40,464,000				40,464,000	39,605,997
29年度	41,902,000				41,902,000	37,746,116
増減額	△ 1,438,000	0	0	0	△ 1,438,000	1,859,881

〔事業概要〕
18歳に達する日の属する年度の末日以前（20歳未満で一定以上の障害の状態にある者を含む）の児童を養育しているひとり親家庭等に、ひとり親家庭等の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図ることを目的として医療費を助成した。
（所得制限あり）
＜助成内容＞
医療機関において受診時に市が発行する医療証を提示することにより、医療費（保険診療の自己負担分）が無料又は1割負担となる。

〔事業実績等〕
子ども政策課子ども政策係　12のとおり(P244)

節の内訳	金額
09 旅費	2,854
11 需用費	35,640
12 役務費	85,517
13 委託料	1,172,858
20 扶助費	38,309,128
計	39,605,997

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	27,699,000
地方債	
その他	
一般財源	11,906,997
次年度精算額	
計	39,605,997

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	08	02	乳幼児医療費助成事業経費	子ども政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	133,717,000				133,717,000	124,288,243
29年度	133,503,000	3,088,000			136,591,000	134,403,400
増減額	214,000	△ 3,088,000	0	0	△ 2,874,000	△ 10,115,157

〔事業概要〕
小学校就学前の児童を養育している者に、児童の保健の向上と健やかな育成を図るとともに、子育ての支援に資することを目的として医療費を助成した。
＜助成内容＞
医療機関において受診時に市が発行する医療証を提示することにより、医療費（保険診療の自己負担分）が無料となる。

〔事業実績等〕
子ども政策課子ども政策係　13のとおり(P244)

節の内訳	金額
11 需用費	31,104
12 役務費	250,406
13 委託料	4,871,241
20 扶助費	119,135,492
計	124,288,243

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	65,394,000
地方債	
その他	
一般財源	58,894,243
次年度精算額	
計	124,288,243

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	08	03	義務教育就学児医療費助成事業経費	子ども政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	162,218,000				162,218,000	157,726,824
29年度	165,078,000				165,078,000	156,650,249
増減額	△ 2,860,000	0	0	0	△ 2,860,000	1,076,575

〔事業概要〕
小中学生を養育している者に、児童の保健の向上と健全な育成を図るとともに、子育ての支援に資することを目的として医療費を助成した。（所得制限あり）
＜助成内容＞
医療機関において受診時に市が発行する医療証を提示することにより、入院、調剤及び訪問看護の医療費に係る保険診療の自己負担分が無料となる。また、通院（柔道整復の施術を含む）の医療費（通院1回あたり）に係る保険診療の自己負担は、200円が上限となる。

〔事業実績等〕
子ども政策課子ども政策係　14のとおり(P244)

節の内訳	金額
07 賃金	1,069,068
11 需用費	31,104
12 役務費	305,861
13 委託料	5,183,338
20 扶助費	151,137,453
計	157,726,824

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	83,906,000
地方債	
その他	
一般財源	73,820,824
次年度精算額	
計	157,726,824

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	09	01	相談活動経費	子ども家庭支援センター

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	13,512,000	539,000			14,051,000	13,016,039
29年度	15,525,000				15,525,000	9,218,664
増減額	△ 2,013,000	539,000	0	0	△ 1,474,000	3,797,375

〔事業概要〕
子どもの健やかな成長及び福祉の増進を図るため、子どもと家庭に関する相談業務を子ども家庭支援センターで実施した。
①子ども及び家庭に係る総合相談に関すること。
②軽度の児童虐待等により、見守りが必要とされる家庭の支援に関すること。
③児童虐待防止のための家庭訪問等による支援に関すること。
④養育が困難な家庭の支援に関すること。
⑤養育家庭（里親）の普及に関すること。

〔事業実績等〕
子ども家庭支援センター相談係　1～4のとおり(P253～254)
関係機関と頻繁にケース会議を行い、情報の共有及び支援内容の検討を密に行ったため、きめ細かい支援ができた。

節の内訳	金額
01 報酬	8,965,798
04 共済費	1,251,028
07 賃金	1,590,170
09 旅費	79,260
11 需用費	190,267
12 役務費	17,436
13 委託料	922,080
計	13,016,039

財源内訳	金額
国庫支出金	7,560,200
都支出金	5,355,674
地方債	
その他	
一般財源	687,965
次年度精算額	△ 587,800
計	13,016,039

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	02	09	02	地域組織化活動経費	子ども家庭支援センター

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,841,000				2,841,000	1,108,307
29年度	5,700,000				5,700,000	3,331,946
増減額	△ 2,859,000	0	0	0	△ 2,859,000	△ 2,223,639

〔事業概要〕
子ども家庭支援センターを中心とした地域とのネットワークを構築するため、地域の実情やニーズに応じた活動を行った。
①地域の啓発活動（子育て講座の実施等）
②地域福祉のニーズの調査研究（利用者等へのアンケート調査等）
③地域グループの組織化への支援（子育てグループ等の育成、支援等）
④ボランティアの養成・支援・活用
⑤その他地域の子育て活動への関与（広報活動等）

【平成29年度「サービス提供等活動経費」から事業名称を変更した。】

〔事業実績等〕
子ども家庭支援センター子育て支援事業係　1、2のとおり(P250)
子育て講座については、当初の計画通りに実施し、利用者からの満足度が高かった。また、子育てグループに対して会議や交流会を実施するなど、グループ同士の情報交換や相互の交流を図ることができた。

節の内訳	金額
01 報酬	963,938
08 報償費	45,000
11 需用費	38,137
12 役務費	61,232
計	1,108,307

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,108,307
次年度精算額	
計	1,108,307

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	03	01	07	就労支援員事務事業経費	生活福祉課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,158,000				1,158,000	1,114,388
29年度	1,054,000				1,054,000	1,048,388
増減額	104,000	0	0	0	104,000	66,000

〔事業概要〕
被保護者に対し、就労に関する専門的な助言及び指導を行うことにより、被保護者の就労を促進し、経済的自立を図るため、生活保護就労支援員を配置した。

〔事業実績等〕
生活福祉課保護係　2のとおり(P190)

節の内訳	金額
01 報酬	1,111,000
09 旅費	3,388
計	1,114,388

財源内訳	金額
国庫支出金	868,500
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	278,597
次年度精算額	△ 32,709
計	1,114,388

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	03	02	01	生活保護法法内援護措置事業経費	生活福祉課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,589,024,000	79,100,000			1,668,124,000	1,642,962,138
29年度	1,570,705,000	51,008,000			1,621,713,000	1,559,218,871
増減額	18,319,000	28,092,000	0	0	46,411,000	83,743,267

〔事業概要〕
生活保護法により、被保護世帯に対して最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するため、生活扶助、住宅扶助、教育扶助、介護扶助、医療扶助等の扶助費を支給した。

〔事業実績等〕
生活福祉課庶務計画係　10のとおり(P187)

節の内訳	金額
20 扶助費	1,563,862,900
23 償還金利子及び割引料	79,099,238
計	1,642,962,138

財源内訳	金額
国庫支出金	1,127,945,000
都支出金	64,306,000
地方債	
その他	
一般財源	444,449,849
次年度精算額	6,261,289
計	1,642,962,138

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	03	02	02	生活保護法法外援護措置事業経費	生活福祉課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,987,000				3,987,000	1,920,391
29年度	3,182,000	600,000			3,782,000	2,431,341
増減額	805,000	△ 600,000	0	0	205,000	△ 510,950

〔事業概要〕
生活保護法による被保護者の自立を図るために、自立支援に要する経費の一部を支給した。また、被保護世帯の自立助長を図るために、世帯に属する学童及び生徒に対して、健全育成事業を実施し、必要な経費を支給した。

〔事業実績等〕
生活福祉課庶務計画係　11のとおり(P187)

節の内訳	金額
20 扶助費	1,920,391
計	1,920,391

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	2,582,700
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	△ 662,309
計	1,920,391

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	03	05	01	01	災害救助経費	生活福祉課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	160,000				160,000	0
29年度	210,000				210,000	30,000
増減額	△ 50,000	0	0	0	△ 50,000	△ 30,000

〔事業概要〕
暴風、豪雨、地震その他異常な自然現象又は、火事その他これらに類する事故から生ずる被害による被災者又は、その遺族に対し、見舞金又は弔慰金を支給する。

〔事業実績等〕
該当者なしのため、支給実績なし。

節の内訳	金額
計	0

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	0

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	01	03	休日診療事業経費	健康課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	10,831,000				10,831,000	10,815,190
29年度	10,634,000				10,634,000	10,618,562
増減額	197,000	0	0	0	197,000	196,628

〔事業概要〕
休日の昼間及び準夜間における急病患者に対する診療事業を、一般社団法人あきる野市医師会に所属している市内の医療機関に委託し実施した。

〔事業実績等〕
健康課予防推進係　3(1)のとおり(P237)
休日の急病患者の早期受診に対応できた。

節の内訳	金額
11 需用費	218,160
13 委託料	10,597,030
計	10,815,190

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	5,785,000
地方債	
その他	
一般財源	5,030,190
次年度精算額	
計	10,815,190

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	01	08	畜犬登録事務等に要する経費	健康課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,361,000				1,361,000	1,247,693
29年度	1,198,000			△ 48,000	1,150,000	1,131,061
増減額	163,000	0	0	48,000	211,000	116,632

〔事業概要〕
狂犬病予防法の規定に基づく犬の登録、狂犬病予防注射済票の交付、犬の転出入台帳処理事務、犬猫の公示、狂犬病予防注射の集団注射等を実施した。
集団注射は、東京都獣医師会多摩西支部協力の下、毎年4月下旬に市内22か所で5日間実施した。

〔事業実績等〕
健康課予防推進係　4のとおり(P238)
1 集団注射
実施日　4月16日（月）から20日（金）まで
実施件数　749人
市内22カ所で集団注射を実施することにより、接種に行きやすく接種率の向上に繋がった。
2 蓄犬登録等
新規登録、鑑札交付、注射済票交付、捕獲犬の拘留に関する公示を行った。

節の内訳	金額
07 賃金	120,560
11 需用費	391,620
12 役務費	423,177
14 使用料及び賃借料	312,336
計	1,247,693

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	1,247,693
一般財源	
次年度精算額	
計	1,247,693

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	01	10	休日歯科応急診療事業経費	健康課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,270,000				3,270,000	3,269,950
29年度	3,172,000				3,172,000	3,171,946
増減額	98,000	0	0	0	98,000	98,004

〔事業概要〕
休日の昼間における急病患者に対する診療事業を、西多摩歯科医師会に所属している市内の医療機関に委託して実施した。事業の実施に当たっては、本市、福生市及び日の出町の2市1町が協力して行うこととし、本市担当分については、西多摩歯科医師会が市内の歯科医師会に対し、割り振りを行った。

〔事業実績等〕
健康課予防推進係　3(2)のとおり(P238)
休日の急病患者の早期受診に対応できた。

節の内訳	金額
13 委託料	3,269,950
計	3,269,950

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	2,050,000
地方債	
その他	
一般財源	1,219,950
次年度精算額	
計	3,269,950

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	01	11	骨髄移植ドナー支援事業経費	健康課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	210,000				210,000	0
29年度					0	0
増減額	210,000	0	0	0	210,000	0

〔事業概要〕
公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄又は末梢血幹細胞を提供した者及び提供した者を雇用している事業所に対して助成金を交付し、骨髄又は末梢血幹細胞移植の推進及びドナー希望登録者の増加を図ることを目的とし実施する。

〔事業実績等〕
助成金の交付実績はなかったが、引き続き事業の周知に努める。

節の内訳	金額
19 負担金補助及び交付金	
計	0

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	0

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	02	01	予防接種事業経費	健康課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	179,254,000	6,059,000		19,000	185,332,000	168,401,322
29年度	182,853,000			△ 188,000	182,665,000	173,859,037
増減額	△ 3,599,000	6,059,000	0	207,000	2,667,000	△ 5,457,715

〔事業概要〕
予防接種法等の規定に基づき定められた疾病及び対象者に対して、感染予防、発病予防、重症化予防、感染症のまん延予防を目的とし定期予防接種を実施した。
また、先天性風しん症候群の発生を予防し、妊婦の健康の保持を目的とした任意予防接種を実施した。実施に当たっては、あきる野市医師会等の協力に基づき個別予防接種または集団予防接種で実施した。
予防接種のスケジュール管理については、携帯電話等を活用した予防接種モバイルサービスを実施して、接種率の向上と接種事故を防止している。

〔事業実績等〕
健康課予防推進係　1、2のとおり(P234～237)
予防接種対象者への勧奨により、予防接種の必要性について周知を図り、予防接種の実施により、疾病の感染及びまん延予防が図られた。
先天性風しん症候群の発生の予防のため、任意予防接種の対象者を拡大した。

節の内訳	金額
01 報酬	1,952,900
07 賃金	2,249,318
11 需用費	61,788,057
12 役務費	1,175,429
13 委託料	94,981,700
14 使用料及び賃借料	760,233
20 扶助費	5,493,685
計	168,401,322

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	19,933,263
地方債	
その他	1,352,271
一般財源	147,115,788
次年度精算額	
計	168,401,322

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	02	03	母子保健事業経費	健康課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	102,284,000	5,496,000		△ 36,000	107,744,000	92,506,989
29年度	105,569,000	1,194,000			106,763,000	92,960,803
増減額	△ 3,285,000	4,302,000	0	△ 36,000	981,000	△ 453,814

〔事業概要〕
母性及び乳幼児の健康の保持増進を図るために、乳幼児健診のほか、各種相談事業、訪問指導、健康教育等を実施した。
「妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援」として、全ての妊婦を対象として専門職が面接を行い、心身の状態や家庭の状況を把握するように取り組んでおり、あきる野ルピアの子育て支援拠点施設こころるのにおいて、利用者支援事業母子保健型を実施するとともに、引き続き、育児パッケージ（子育て品等）を配布し、妊娠期からの切れ目ない支援の充実を図った。

〔事業実績等〕
健康課母子保健係　1～4、6～18、20のとおり(P228～233)
妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援の充実を図るために、母子健康手帳の交付時の妊婦面接の実施や妊婦訪問などを実施した。また、各乳幼児健診の未受診者には、再通知、電話、訪問等により受診勧奨を行うことで受診率の向上に努めた。また、各育児相談、教室等についても各健診や市報等を活用し周知を徹底し、参加率の向上に努めた。

節の内訳	金額
01 報酬	25,305,770
04 共済費	1,586,028
07 賃金	4,427,238
08 報償費	4,962,216
09 旅費	37,341
11 需用費	1,481,936
12 役務費	402,058
13 委託料	44,834,763
14 使用料及び賃借料	58,689
19 負担金補助及び交付金	21,600
20 扶助費	5,636,862
23 償還金利子及び割引料	3,735,488
27 公課費	17,000
計	92,506,989

財源内訳	金額
国庫支出金	4,085,000
都支出金	18,387,500
地方債	
その他	1,206,099
一般財源	67,457,294
次年度精算額	1,371,096
計	92,506,989

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	02	04	乳児家庭訪問事業経費	健康課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,206,000			17,000	1,223,000	1,222,128
29年度	1,206,000				1,206,000	1,205,280
増減額	0	0	0	17,000	17,000	16,848

〔事業概要〕
「こんにちは赤ちゃん訪問」として、新生児訪問をしていない家庭を中心に生後4か月を経過しない乳児のいる家庭を訪問して、相談及び助言を行い母性及び乳児の健康増進を図った。

〔事業実績等〕
健康課母子保健係　5のとおり(P229)
里帰り出産が長期になる、未熟児として誕生したために入院が長期になる等で、期日内に8人訪問ができなかったが、後日訪問や電話対応で状況確認を行った。100%の訪問率を目指し、令和元年度も継続して実施していく。

節の内訳	金額
01 報酬	882,648
07 賃金	339,480
計	1,222,128

財源内訳	金額
国庫支出金	407,376
都支出金	407,376
地方債	
その他	
一般財源	407,376
次年度精算額	
計	1,222,128

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	02	05	特定不妊治療費助成事業経費	健康課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,250,000				3,250,000	2,487,430
29年度	3,250,000				3,250,000	1,207,657
増減額	0	0	0	0	0	1,279,773

〔事業概要〕
少子化対策の一環として、医療保険適用外で医療費が高額になる特定不妊治療について、市民の経済的負担を軽減するため、東京都の助成に上乗せをする形で助成事業を実施した。

〔事業実績等〕
健康課母子保健係　21のとおり(P233)
平成30年度は、32人延べ50件の申請があった。

節の内訳	金額
20 扶助費	2,487,430
計	2,487,430

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2,487,430
次年度精算額	
計	2,487,430

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	04	01	03	01	市民の健康づくり事業に要する経費	健康課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	45,661,000	1,412,000		944,000	48,017,000	43,620,309
29年度	47,453,000	1,223,000			48,676,000	41,687,107
増減額	△ 1,792,000	189,000	0	944,000	△ 659,000	1,933,202

〔事業概要〕

市民が健康で明るい生活を送るため、健康増進法第17条第1項に基づく健康増進事業として、健康手帳の交付、健康教育、健康相談等の事業を進めた。また、同法第19条の2に基づく健康増進事業として、肝炎ウイルス検診等を実施した。

各種事業の実施に当たっては、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健診・保健指導及び後期高齢者医療広域連合が行う保健事業等との連携を十分に図り、受診者の利便性に配慮した。

〔事業実績等〕

1 健康手帳の交付
　健康課健康づくり係 1のとおり(P219)
2 健康教育事業
　健康課健康づくり係 2のとおり(P219)
3 健康相談事業
　健康課健康づくり係 3のとおり(P220)
4 検診・健康診査事業
　健康課健康づくり係 4(11)～(15)のとおり(P221～222)
5 健康づくり推進協議会
　健康課健康づくり係 5のとおり(P223)
6 健康づくり市民推進委員会
　健康課健康づくり係 6のとおり(P223)

特定健診･後期高齢者健診との連携を図り、健康相談や各種検診を実施した。40の節目年齢の方に健(検)診ガイドを同封した通知を送付し、市の健診の受診勧奨をした。

市民推進委員会の地域に根ざした活動により、広く市民に健康づくりに関心を持っていただき、地域のつながりを実践することができた。

このような事業の実施により、市民の健康意識の高揚と健康の維持増進を図ることができた。

節の内訳	金　額
01 報酬	5,543,340
08 報償費	2,382,840
09 旅費	90,233
11 需用費	2,253,855
12 役務費	586,856
13 委託料	29,591,190
14 使用料及び賃借料	824,583
18 備品購入費	922,212
23 償還金利子及び割引料	1,412,000
27 公課費	13,200
計	43,620,309

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	8,569,000
地方債	
その他	
一般財源	35,051,309
次年度精算額	
計	43,620,309

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	04	01	03	02	健康あきる野２１計画推進事業経費	健康課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	876,000				876,000	846,806
29年度	3,552,000				3,552,000	2,631,485
増減額	△ 2,676,000	0	0	0	△ 2,676,000	△ 1,784,679

〔事業概要〕

健康増進計画「めざせ健康あきる野21（第二次）」に基づき、市民との協働と事業への参画で健康づくりを進めた。実施にあたっては、5つの領域で分野別の目標と取り組みの方向性を示し、それぞれのめざす健康の目標を定め、事業を推進した。

具体的な健康づくり活動に当たっては、めざせ健康あきる野21推進会議による班で実施した。

平成30年度については、前半は、班体制の見直しを含め、事業の進め方の検討を行い、後半は、市民の健康づくりに即した事業を展開した。

〔事業実績等〕

健康課健康づくり係　9のとおり(P225)

市民ボランティアである健康あきる野21推進会議のメンバーを中心に、ウォーキングⅡ班･PR班･チーム食生活レモンの3つの班から事業を実施することで、市民の健康づくりの意識の高揚と健康増進を図ることができた。

節の内訳	金　額
08 報償費	54,000
11 需用費	743,453
12 役務費	44,853
14 使用料及び賃借料	4,500
計	846,806

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	415,000
地方債	
その他	28,500
一般財源	403,306
次年度精算額	
計	846,806

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	04	01	03	03	骨粗しょう症検診事業経費	健康課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	325,000				325,000	225,393
29年度	626,000				626,000	237,473
増減額	△ 301,000	0	0	0	△ 301,000	△ 12,080

〔事業概要〕
骨粗しょう症は、骨折等の基礎疾患となり、高齢社会の進展によりその増加が懸念される。このため、早期に骨量減少者を発見し、予防に向けた生活習慣の改善指導等を行うため、骨粗しょう症検診を実施した。

〔事業実績等〕
健康課健康づくり係　4(10)のとおり(P221)
受診者自身が自分の骨密度を知ることで、生活習慣の改善や骨折等の疾患予防のきっかけづくりになった。

節の内訳	金　額
08 報償費	15,600
11 需用費	40,915
12 役務費	15,626
13 委託料	153,252
計	225,393

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	115,000
地方債	
その他	
一般財源	110,393
次年度精算額	
計	225,393

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	04	01	03	04	口腔の健康づくり事業経費	健康課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,411,000				4,411,000	3,698,864
29年度	4,627,000				4,627,000	3,924,347
増減額	△ 216,000	0	0	0	△ 216,000	△ 225,483

〔事業概要〕
高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防することを目的に歯周病検診を実施した。また、健康づくりの基本となる「栄養」の摂取を高齢期まで維持させるため、口腔に関する健康づくりとして健康教育の充実と口腔がん検診を実施した。

〔事業実績等〕
健康課健康づくり係　4(8)、(9)のとおり(P221)
高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう歯の喪失等を予防するきっかけづくりとなった。

節の内訳	金　額
08 報償費	48,106
11 需用費	416,857
12 役務費	554,513
13 委託料	2,679,388
計	3,698,864

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	1,097,000
地方債	
その他	
一般財源	2,601,864
次年度精算額	
計	3,698,864

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	04	01	03	05	「ふれあい　いきがい　元気なまち」健康推進事業経費	健康課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	414,000				414,000	348,740
29年度	533,000				533,000	332,698
増減額	△ 119,000	0	0	0	△ 119,000	16,042

〔事業概要〕
市民が普段の生活で実践できる、ウォーキングや農作業等の事業を実施し、市民のいきがい作りの一助とした。事業の実施に当たっては、健康に関する情報提供を行い、市民が健康で明るい生活を送るための健康づくりを推進した。

〔事業実績等〕
健康増進を目的として、ウォーキング事業や農作業等を実施することで、市民のいきがいづくりの一助とすることができた。
・ふるさと農援隊 会員数 65人

節の内訳	金　額
08 報償費	238,680
11 需用費	96,066
14 使用料及び賃借料	13,994
計	348,740

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	67,000
地方債	
その他	221,000
一般財源	60,740
次年度精算額	
計	348,740

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	03	06	健康のつどい事業経費	健康課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,402,000				2,402,000	2,173,839
29年度	2,884,000				2,884,000	2,123,808
増減額	△ 482,000	0	0	0	△ 482,000	50,031

〔事業概要〕
あきる野ルピア及び秋留野広場を会場として、展示、体験、測定等の事業を行い、多くの市民の参加を促した。健康の三要素の「栄養」「運動」「休養」が日常生活にバランスよく取り入れられるように健康に対する意識の向上を図り、疾病を予防することを目的に実施した。
・開催日　10月13日（土）
・会場　あきる野ルピア、秋留野広場
・事業内容　展示、体験、測定、相談、講演等

〔事業実績等〕
健康課健康づくり係　8のとおり(P225)
広く市民や関係団体に呼び掛けを実施したことで、多くの参加者があり、健康意識の高揚と健康の維持増進とともに、疾病予防のきっかけづくりとなった。

節の内訳	金額
08 報償費	165,071
11 需用費	679,971
12 役務費	173,776
13 委託料	1,096,221
14 使用料及び賃借料	58,800
計	2,173,839

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	1,148,000
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	1,025,839
計	2,173,839

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	03	08	がん検診事業経費	健康課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	104,197,000			△ 944,000	103,253,000	94,967,423
29年度	105,095,000				105,095,000	91,034,411
増減額	△ 898,000	0	0	△ 944,000	△ 1,842,000	3,933,012

〔事業概要〕
がんの早期発見と正しい健康意識の啓発のため、がん検診を実施した。
健康増進法及びあきる野市の健康増進計画「めざせ健康あきる野21」に基づき、検診の周知を行うことによって受診を促進し、市民の健康の保持、増進を図った。

〔事業実績等〕
健康課健康づくり係　4(1)～(6)のとおり(P220～221)
健康課が行う事業等で検診の周知を行うとともに、多くの市民が検診を受診できるように機会を設け、受診を促進することで、がんの早期発見と健康意識の啓発ができた。

節の内訳	金額
07 賃金	2,999,649
09 旅費	17,658
11 需用費	1,585,125
12 役務費	4,457,578
13 委託料	85,907,413
計	94,967,423

財源内訳	金額
国庫支出金	1,666,000
都支出金	820,000
地方債	
その他	
一般財源	92,481,423
次年度精算額	
計	94,967,423

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	03	09	胃がん対策若年層ピロリ菌検診事業経費	健康課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,884,000	1,441,000			3,325,000	2,364,753
29年度	3,875,000				3,875,000	353,802
増減額	△ 1,991,000	1,441,000	0	0	△ 550,000	2,010,951

〔事業概要〕
胃がんの原因の8割を占めると言われるピロリ菌の感染を早期に発見し、除菌治療につなげることで、将来的な胃がん発症リスクの軽減を図るとともに、若年層への胃がんやピロリ菌に対する知識の向上と健康管理の意識付けをした。

〔事業実績等〕
健康課健康づくり係　4(7)のとおり(P221)
ピロリ菌感染検査の一次検査を実施するとともに、一次検査で陽性反応があった者に対し、ピロリ菌感染検査の二次検査に要する費用の一部を助成することにより、ピロリ菌の感染の早期発見・除菌につなげ、胃がん発症リスクの軽減と健康への意識の向上を図ることができた。

節の内訳	金額
11 需用費	112,611
12 役務費	550,228
13 委託料	1,629,914
19 負担金補助及び交付金	72,000
計	2,364,753

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2,364,753
次年度精算額	
計	2,364,753

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	04	03	環境政策一般経費	環境政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	6,628,000	482,000			7,110,000	6,169,072
29年度	3,080,000	1,288,000			4,368,000	3,934,579
増減額	3,548,000	△ 806,000	0	0	2,742,000	2,234,493

〔事業概要〕
あきる野市環境基本条例に基づき策定した「環境基本計画」により、計画に沿った環境施策を推進した。
＜事業の主な内容＞
・環境審議会の運営
・都市環境審議会の運営
・環境委員会の運営
・環境に関する新たな普及啓発イベントの検討
・市民への環境啓発のための周知事業の実施
・港区環境交流事業の実施
・あきる野環境フェスティバルの実施
・環境白書の作成　など

〔事業実績等〕
環境政策課環境政策係　1のとおり(P126)
環境に関する新たな普及啓発イベントとして、5月12日（土）に都立秋留台公園において「あきる野環境フェスティバル2018」を開催した。
環境白書の作成については、環境委員会との連携により、平成29年度あきる野市環境白書を作成した。
市民及び事業者との協働の下、第二次あきる野市環境基本計画に基づく各種施策を推進した。

節の内訳	金額
08 報償費	288,000
09 旅費	89,560
11 需用費	763,300
12 役務費	94,440
13 委託料	1,897,027
14 使用料及び賃借料	102,045
18 備品購入費	1,202,000
19 負担金補助及び交付金	4,500
23 償還金利子及び割引料	1,727,000
27 公課費	1,200
計	6,169,072

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	485,000
地方債	
その他	
一般財源	5,684,072
次年度精算額	
計	6,169,072

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	04	04	横沢入里山保全事業経費	環境政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,756,000				3,756,000	3,675,975
29年度	3,956,000				3,956,000	3,938,668
増減額	△ 200,000	0	0	0	△ 200,000	△ 262,693

〔事業概要〕
横沢入地区は、五日市丘陵とそれに囲まれた盆地とからなる地域で、標高は約190mから310m程度である。
里山を構成する谷戸部は、草堂の入、宮田の入など七つの谷戸から構成され、谷戸頭から水が湧出し、細流となって中央で一つの流れとなり、秋川に注いでいる。丘陵部は馬蹄形の配置をなす特異な形状で、古くから植林が行われてきた地域である。
平成18年1月5日、東京都の指定第一号として、485,675.43㎡の区域が里山保全地域に指定された。都は、明るく開けた里山の景観を復元し、保全していくため、都民ボランティア、地域住民、農林業団体等で構成する協議会を設置し、保全事業を進めている。当市も協議会に参加するとともに、都からの受託事業として、施設等の管理を実施した。
・施設の管理（トイレ清掃、設備点検、施設補修など）
・自然地の管理（支障木処理、パトロールなど）

〔事業実績等〕
環境政策課環境政策係　2(4)のとおり(P129)
横沢入里山保全地域の適正な管理が図られた。

節の内訳	金額
11 需用費	177,377
12 役務費	5,500
13 委託料	3,493,098
計	3,675,975

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	3,675,975
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	3,675,975

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	04	05	河川及び園地の清掃に要する経費	生活環境課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	10,571,000				10,571,000	9,888,629
29年度	10,598,000				10,598,000	9,823,382
増減額	△ 27,000	0	0	0	△ 27,000	65,247

〔事業概要〕
生活環境の保全及び公衆衛生の向上のため、年2回、市内全域での一斉清掃を実施するとともに、年間を通じて河川・園地の清掃等を行った。

〔事業実績等〕
生活環境課清掃・リサイクル係　7(2)のとおり(P151)
市内全域を清掃する一斉清掃等の実施により、都市環境の保全に努めた。

節の内訳	金額
08 報償費	378,000
11 需用費	323,631
12 役務費	17,350
13 委託料	9,157,348
27 公課費	12,300
計	9,888,629

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	4,464,720
地方債	
その他	
一般財源	5,423,909
次年度精算額	
計	9,888,629

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	04	07	ごみ不法投棄防止対策に要する経費	生活環境課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	8,387,000	△ 2,000,000			6,387,000	5,931,638
29年度	2,653,000	0			2,653,000	2,455,766
増減額	5,734,000	△ 2,000,000	0	0	3,734,000	3,475,872

〔事業概要〕
市内の不法投棄防止対策のため、パトロール及び回収作業を委託した。また、不法投棄防止の看板を作成し、必要に応じ設置した。
引田ノ上分別場の産業廃棄物を処分をした。

〔事業実績等〕
生活環境課清掃・リサイクル係　7(1)のとおり(P151)
不法投棄防止看板作成　107枚
不法投棄を禁止する看板を設置するなど、不法投棄の抑制を図ることができた。

節の内訳	金額
11 需用費	1,058
12 役務費	105,350
13 委託料	5,825,230
計	5,931,638

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	1,105,500
一般財源	4,826,138
次年度精算額	
計	5,931,638

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	04	52	郷土の恵みの森づくり事業経費	環境政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	12,303,000				12,303,000	11,285,403
29年度	5,139,000	30,000			5,169,000	4,089,695
増減額	7,164,000	△ 30,000	0	0	7,134,000	7,195,708

〔事業概要〕
郷土の恵みの森構想及び生物多様性地域連携保全活動計画に基づき、地元住民による昔道・尾根道補修等事業、景観整備・維持管理事業、生息地等保全協定を締結した区域又は保護区域において希少種の保護、生息地等の保全等を行う希少種保護事業に対する交付金及びホタルの保全活動、里づくりへの補助金を拠出することにより、郷土の恵みの森づくりを推進した。
平成30年度は郷土の恵みの森事業用用地の更なる適性管理に努めるとともに、金比羅公園の整備等を行った。

〔事業実績等〕
環境政策課環境の森推進係　1、3、7、8のとおり(P133～136、140～141)
町内会･自治会等が主体となり取り組んでいる昔道や尾根道の補修、景観の整備に対する支援として、16の町内会･自治会等が実施する24の事業に交付金を交付するとともに、金比羅公園の整備を行った。また、ホタルの里づくり、保全活動においても4団体に補助金を交付、1団体に委託をして取組が行われ、郷土の恵みの森づくり事業が進められた。
「森っこサンちゃん」の幅広い活用の検討や着ぐるみ対応の支援などを行うため、市職員がボランティアで組織する「森っこサンちゃんサポーターズクラブ」が活動を行った。

節の内訳	金額
08 報償費	10,000
09 旅費	40,417
11 需用費	105,669
12 役務費	71,200
13 委託料	7,694,597
14 使用料及び賃借料	54,000
16 原材料費	0
19 負担金補助及び交付金	3,309,520
計	11,285,403

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	2,135,897
地方債	
その他	3,981,000
一般財源	5,443,357
次年度精算額	△ 274,851
計	11,285,403

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	04	53	郷土の恵みの森づくり森林レンジャー経費	環境政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	15,425,000				15,425,000	14,776,596
29年度	15,596,000	250,000			15,846,000	15,392,546
増減額	△ 171,000	△ 250,000	0	0	△ 421,000	△ 615,950

〔事業概要〕

郷土の恵みの森構想に基づく森づくりをより具体的に進めるために組織した「森林レンジャーあきる野」は、地元住民との連携を基本に、町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観の整備等を地域と協働で実施するとともに、市内の森林の整備状況や健全性、季節ごとの変遷、動植物の生息・生育状況などをきめ細かに調査・把握し、生物多様性あきる野戦略に基づく生物多様性保全条例の制定に伴う希少野生動植物等の保全活動に取り組んだ。また、滝や沢、巨木といった地域活性化につながる地域資源の掘り起こしや活用方法の検討、森林の利用マナーの啓発も行うとともに、森とその周辺にある地域資源のもつ魅力を、市内外に向けて発信した。さらに、人と野生動物の棲み分けを目的とした、アニマルサンクチュアリの活動やあきる野市の自然と文化を守り引継ぎ、郷土愛を持った人材を育てることを目的に森の子コレンジャーの活動に取り組んだ。

〔事業実績等〕

環境政策課環境の森推進係　2、4のとおり(P134、136)

1 地域との協働の森づくり　8回
2 市内小中学校の校外学習　11回
3 講演、研修等　30回
4 イベント等出展･解説 5回
5 森の子コレンジャー活動 13回（うち、全国育樹祭関連イベント2回）

森林レンジャーあきる野については、市内の森において四季を通じて動植物の生息･生育状況を含む森林の健全性や整備状況の調査、滝や沢、巨樹･巨木などの地域資源の調査を活動当初より継続して取り組んだ。また、これらの調査結果は、生物多様性地域連携保全活動計画に掲げる取組に活用しているとともに、広報への掲載や森林レンジャーあきる野新聞において、市内外へ向けて広く情報発信を行った。

節の内訳	金額
01 報酬	11,612,860
04 共済費	1,759,935
11 需用費	681,629
14 使用料及び賃借料	722,172
計	14,776,596

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	847,517
地方債	
その他	6,180,589
一般財源	7,916,742
次年度繰越額	△ 168,252
計	14,776,596

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	04	55	小宮自然体験学校運営事業経費	環境政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	14,993,000				14,993,000	14,770,343
29年度	15,033,000			65,000	15,098,000	14,538,644
増減額	△ 40,000	0	0	△ 65,000	△ 105,000	231,699

〔事業概要〕

子供達を中心に、自然とのふれあいや環境学習の場を提供することにより、心豊かな人間性を育むとともに、地域の活性化を図るため、平成24年度に開校した小宮ふるさと自然体験学校において、自然体験事業や自然環境教育活動を実施した。

また、コミュニティ施設を活用し、地域の人達などの憩いの場を提供した。

〔事業実績等〕

環境政策課環境の森推進係　5のとおり(P136)

1 自然体験事業
・ 市主催の自然体験事業　15回　参加人数181人
・ 市内小学校の自然体験事業　10回　参加人数703人
・ その他、学校等の自然体験事業　6回　参加人数139人
・ 団体の自然体験事業　75回　参加人数1,455人
2 施設の貸出等
・ ふれあい交流事業　48回　参加人数818人
・ 施設の貸出し　101件　利用人数1,438人

小宮ふるさと自然体験学校における自然体験･環境教育事業は、森林レンジャーあきる野の経験のある校長のこれまでの知識と経験、技術を活かし自然体験事業の充実を図った。また、平成27年度に制定したあきる野市小宮ふるさと自然体験学校の設置及び管理に関する条例に基づき、校庭、体育館及び各教室を各種団体が利用した。

節の内訳	金額
01 報酬	7,713,384
04 共済費	1,122,102
07 賃金	2,815,512
11 需用費	1,965,682
12 役務費	181,190
13 委託料	699,866
14 使用料及び賃借料	26,508
16 原材料費	39,690
18 備品購入費	206,409
計	14,770,343

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	436,403
地方債	
その他	5,609,706
一般財源	8,759,257
次年度繰越額	△ 35,023
計	14,770,343

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	04	57	生物多様性保全事業経費	環境政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,309,000				4,309,000	3,749,183
29年度	5,385,000	1,901,000		△ 65,000	7,221,000	6,322,791
増減額	△ 1,076,000	△ 1,901,000	0	65,000	△ 2,912,000	△ 2,573,608

〔事業概要〕

あきる野市の貴重な自然を守り、活用するため、生物多様性あきる野戦略に基づき、事業を進めた。

また、生態系への被害が確認されている特定外来生物であるアライグマや外来種であるハクビシンの捕獲を行った。捕獲事業については、市民及び自治会との協働により実施した。また、平成28年度から着手した外来植物対策については、分布状況のモニタリングを継続するとともに、市民との協働による駆除を実施した。

さらに、特定外来生物であるクビアカツヤカミキリにより、総合グラウンドを中心としたサクラに被害が生じていることから、同種への対策を継続した。

生物多様性の保全には、野生動植物の生息・生育状況の把握や制度構築、市民との協働が必要であるため、自然環境調査を継続するとともに、平成30年1月1日に施行した生物多様性保全条例の周知、「あきる野市生きもの会議」の運営に取り組み、各種施策の展開を進めた。

・生物多様性保全条例の周知
・希少種リスト（あきる野市版レッドリスト）の作成
・カントリーコードの検討
・あきる野市生きもの会議の運営
・自然環境調査の継続
・市民との協働による外来種の分布状況の把握や駆除

〔事業実績等〕

環境政策課環境政策係　3のとおり(P130)

アライグマやハクビシン、外来植物を対象とした外来種対策を推進するとともに、あきる野市生きもの会議において希少種リスト（あきる野市版レッドリスト）の検討を行い両生類・爬虫類のレッドリスト（案）を取りまとめ、生物多様性あきる野戦略の推進及び生物多様性の保全を図ることができた。

また、クビアカツヤカミキリの対策については、総合グラウンドにおいての防除委託及び、伐採により防除対策を実施した。

節の内訳	金額
07 賃金	1,040,193
08 報償費	312,997
11 需用費	374,894
12 役務費	3,200
13 委託料	1,991,979
14 使用料及び賃借料	25,920
計	3,749,183

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	2,153,555
地方債	
その他	
一般財源	1,912,309
次年度精算額	△ 316,681
計	3,749,183

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	04	58	産学官連携森づくり事業経費	環境政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,000,000				2,000,000	2,000,000
29年度	2,000,000				2,000,000	2,000,000
増減額	0	0	0	0	0	0

〔事業概要〕

郷土の恵みの森構想等に示す「地域との協働の森づくり」や「産学官連携の取組」として、菅生地区をモデル地区に、産学官が連携して里地里山の活性化事業として様々な取組を行うため、「あきる野菅生の森づくり協議会」を設置しており、この協議会に対して負担金を交付した。本協議会は、あきる野市、明星大学、NECフィールディング株式会社、菅生町内会、あきる野青年会議所、西多摩マウンテンバイク友の会及びNPO法人ふるさとの森づくりセンターにより設置している。

・ワークショップによる里山の再生
・農産物の特産化事業
・自然環境教育事業関係

〔事業実績等〕

環境政策課環境の森推進係　6のとおり(P137)

1 あきる野菅生の森づくり協議会の開催　3回

2 里地活性化事業

農産物の特産化の取組について、菅生野菜としてトマト、シイタケを中心に51種類を生産して販売をした。

3 里山活性化事業

(1)大沢地区のワークショップ（保全活動と育成）の実施　13回

(2)自然環境教育

・菅生子どもの森広場活動　6回
・子どもが主役のオオムラサキの森活動　8回
・木こり講座　13回
・親子で体験「シイタケのホダ木づくりと駒打ち体験」　1回
・親子で体験「マウンテンバイク体験教室」　2回

産学官の連携による森づくり事業については、各主体との連携により様々な事業が実施された。また、各種の補助金の活用の検討など財源の確保にも取り組んだ。

節の内訳	金額
19 負担金補助及び交付金	2,000,000
計	2,000,000

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	999,999
地方債	
その他	
一般財源	1,000,094
次年度精算額	△ 93
計	2,000,000

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	04	59	地球温暖化防止対策経費	環境政策課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,235,000				1,235,000	1,138,363
29年度	3,005,000	9,936,000			12,941,000	12,639,044
増減額	△ 1,770,000	△ 9,936,000	0	0	△ 11,706,000	△ 11,500,681

〔事業概要〕

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき策定した「あきる野市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市の全ての施設（市の実施する全ての事務事業）を対象に、用紙購入、ガソリン消費、光熱水費等について管理し、温室効果ガスの排出抑制を推進した。

また、平成26年度に策定した「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、市民、事業者と協働で地球温暖化対策を推進するとともにその支援を行った。

さらに、夏季の省エネに効果が期待される緑のカーテンの普及拡大を継続した。

・温室効果ガス排出量の集計、分析
・グリーンカーテンの普及拡大
・うちエコ診断の実施

〔事業実績等〕

環境政策課環境政策係　4のとおり(P131)

市施設を含む地球温暖化対策の推進が図られた。

また、新たな取り組みとして、うちエコ診断を実施した。

節の内訳	金額
11 需用費	110,203
13 委託料	1,028,160
計	1,138,363

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	1,062,500
一般財源	75,863
次年度精算額	
計	1,138,363

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	05	01	公害対策に要する経費	生活環境課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	12,206,000				12,206,000	9,377,539
29年度	9,037,000				9,037,000	7,730,190
増減額	3,169,000	0	0	0	3,169,000	1,647,349

〔事業概要〕

自然環境や工場等の現況を把握し、環境保全に役立てるため、秋川・平井川や工場等における水質分析調査及び大気環境調査を実施した。また、騒音・振動・悪臭などの公害から市民の生活環境を確保するため、市内の自動車騒音調査及び市民からの苦情箇所についての現地調査、環境基準を満たしているかの確認、超過した場合の指導等を行った。

都内26市で組織する協議会に参画し、公害防止に関する調査や情報交換、他市との広域的な連携を継続して行う。

〔事業実績等〕

1 公害に関する苦情
苦情件数 130件
2 水質分析調査
秋川・平井川、工場、ゴルフ場等の水質調査(57か所 延べ12回)
3 大気環境調査
道路沿道、大気中ダイオキシン等の環境調査(45か所 延べ8回)
4 採石場・事業所関連環境調査
3事業所で水質及び大気調査

各種環境調査を行い、環境基準を満たしているか確認したところ、ほとんどの項目で基準を満たしていた。

また、公害の苦情に関しては、現地調査及び指導等を行うことにより、市民の生活環境の確保が図られた。

節の内訳	金額
09 旅費	23,990
11 需用費	911,228
12 役務費	50,140
13 委託料	8,372,381
14 使用料及び賃借料	2,000
19 負担金補助及び交付金	3,000
27 公課費	14,800
計	9,377,539

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	5,056,000
地方債	
その他	40,200
一般財源	4,281,339
次年度精算額	
計	9,377,539

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	01	05	05	清流保全事業経費	生活環境課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,039,000				1,039,000	958,644
29年度	1,094,000				1,094,000	996,386
増減額	△ 55,000	0	0	0	△ 55,000	△ 37,742

〔事業概要〕

河川の浄化及び河川環境を保全することにより、良好な水質及び水量が確保された流水と水辺環境の景観を守り残すことを目的とする事業であり、河川の保全に関し深い関心と熱意を持つ者24人以内を清流保全協力員として委嘱し、同協力員が、河川環境状況の調査、異常の通報、保全に係る提言及び啓発を行うとともに、河川における調査、研究、保全施策等に協力した。

河川の水質等をより詳細に調査し、河川の現状を把握した。

〔事業実績等〕

1 清流保全協力員活動
清流保全協力員 20人
2 湧水及び合流点の水質分析調査
生活環境課生活環境係　4(2)のとおり(P144)
調査地点 36か所 年1回実施
河川状況の把握及び水質の監視をし、良好な水質の保全に努めた。

節の内訳	金額
08 報償費	360,000
11 需用費	41,040
13 委託料	557,604
計	958,644

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	958,644
次年度精算額	
計	958,644

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	04	01	06	51	秋川流域斎場組合の運営に要する経費	生活環境課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	102,227,000				102,227,000	102,227,000
29年度	102,915,000				102,915,000	102,915,000
増減額	△ 688,000	0	0	0	△ 688,000	△ 688,000

〔事業概要〕
秋川流域斎場組合の運営に要する経費のうち、市町村が負担すべき経費について、関係市町村で分担することにより、適正な事業の運営を行った。
負担額は、均等割、人口割、利用割から算出され、本市では約6.4割を負担している。

〔事業実績等〕
生活環境課清掃・リサイクル係　8のとおり(P151)
秋川流域斎場組合により、適正な運営が行われた。

節の内訳	金　額
19 負担金補助及び交付金	102,227,000
計	102,227,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	28,600,000
地方債	
その他	
一般財源	73,627,000
次年度精算額	
計	102,227,000

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	04	01	07	01	阿伎留病院企業団の運営に要する経費	健康課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	834,079,000				834,079,000	834,043,000
29年度	856,127,000				856,127,000	856,127,000
増減額	△ 22,048,000	0	0	0	△ 22,048,000	△ 22,084,000

〔事業概要〕
公立阿伎留医療センターの運営に要する経費のうち、市町村が負担すべき経費について、関係市町村で分担することにより、地域医療の充実を図った。負担額は、均等割、人口割、利用割から算出され、本市では約75％を負担している。

〔事業実績等〕
地域医療の充実を図るため、公立阿伎留医療センターの運営に要する経費のうち、市が負担すべき経費について、負担金として、四半期ごとに支出した。

節の内訳	金　額
19 負担金補助及び交付金	834,043,000
計	834,043,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	233,600,000
地方債	
その他	
一般財源	600,443,000
次年度精算額	
計	834,043,000

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	04	02	02	01	ごみ収集に要する経費	生活環境課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	555,490,000				555,490,000	542,999,960
29年度	561,963,000			△ 139,000	561,824,000	549,321,589
増減額	△ 6,473,000	0	0	139,000	△ 6,334,000	△ 6,321,629

〔事業概要〕
ごみの収集、運搬並びに指定収集袋の製造、配送及び販売に係る経費であり、ごみの出し方等の周知・理解を得て、市内の一般廃棄物を適正に処理した。

〔事業実績等〕
生活環境課清掃・リサイクル係　1(1)のとおり(P148)
市民への分別の徹底を周知し、委託業者により、適正に収集された。

節の内訳	金　額
11 需用費	944,352
12 役務費	28,179,461
13 委託料	513,876,147
計	542,999,960

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	86,800,000
地方債	
その他	232,969,100
一般財源	223,230,860
次年度精算額	
計	542,999,960

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	02	02	02	西秋川衛生組合の運営に要する経費	生活環境課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	785,614,000	△ 58,678,000			726,936,000	726,936,000
29年度	857,933,000	△ 66,077,000			791,856,000	791,856,000
増減額	△ 72,319,000	7,399,000	0	0	△ 64,920,000	△ 64,920,000

〔事業概要〕
西秋川衛生組合の運営に要する経費のうち、市町村が負担すべき経費について、関係市町村で分担することにより、ごみ及びし尿の適正な処理を行った。
ごみ処理の負担額は、平等割、人口割、利用割から算出され、本市では約7割を負担している。し尿処理の負担額は、平等割、利用割から算出され、本市では約5.7割を負担している。

〔事業実績等〕
生活環境課清掃・リサイクル係　5のとおり(P150)
西秋川衛生組合により、適正な運営が行われた。
ごみ処理施設見学を実施した。

節の内訳	金額
19 負担金補助及び交付金	726,936,000
計	726,936,000

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	209,188,000
地方債	
その他	
一般財源	517,748,000
次年度精算額	
計	726,936,000

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	02	02	03	ごみ減量化・資源化対策に要する経費	生活環境課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	27,315,000				27,315,000	25,801,504
29年度	28,968,000	95,000			29,063,000	27,372,602
増減額	△ 1,653,000	△ 95,000	0	0	△ 1,748,000	△ 1,571,098

〔事業概要〕
廃棄物の減量化、資源化の啓発のため、環境問題啓発用ポスター展の実施、ごみ情報誌（へらすぞう）の発行などを行った。また、資源集団回収の奨励、生ごみ堆肥化講習会等を推奨することにより、ごみの減量・資源化を促進した。

〔事業実績等〕
生活環境課清掃・リサイクル係　6のとおり(P150)
ごみ情報誌「へらすぞう」　21,500部発行
イベント等で市民に廃棄物の減量化、資源化を呼びかけ、ごみの減量・資源化活動を行うことができた。

節の内訳	金額
08 報償費	24,972,706
11 需用費	827,990
12 役務費	808
計	25,801,504

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	25,801,504
次年度精算額	
計	25,801,504

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	02	03	01	し尿収集に要する経費	生活環境課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	42,740,000				42,740,000	42,104,429
29年度	42,740,000				42,740,000	42,606,644
増減額	0	0	0	0	0	△ 502,215

〔事業概要〕
し尿汲取り世帯と工事用の仮設トイレ等について、市の責務としてし尿を収集し、処理施設である西秋川衛生組合のし尿施設に搬入した。

〔事業実績等〕
生活環境課清掃・リサイクル係　2のとおり(P149)
委託業者により、処理施設へ適正に収集・運搬された。

節の内訳	金額
11 需用費	60,069
13 委託料	42,028,560
19 負担金補助及び交付金	15,800
計	42,104,429

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	10,200,000
地方債	
その他	5,637,400
一般財源	26,267,029
次年度精算額	
計	42,104,429

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	04	02	03	03	浄化槽清掃の助成に要する経費	生活環境課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	5,634,000				5,634,000	5,149,736
29年度	5,234,000			139,000	5,373,000	5,371,208
増減額	400,000	0	0	△ 139,000	261,000	△ 221,472

〔事業概要〕
し尿汲取り世帯との公平を保つため、浄化槽の清掃を行う設置者に対し、清掃料金軽減費を交付した。

〔事業実績等〕
生活環境課清掃・リサイクル係　3のとおり(P149)
浄化槽清掃料金軽減費の交付により、住民負担の軽減を図り、浄化槽法に義務付けられている浄化槽の適正管理を図ることができた。

節の内訳	金額
11 需用費	32,076
19 負担金補助及び交付金	5,117,660
計	5,149,736

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	5,149,736
次年度精算額	
計	5,149,736

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	01	03	01	農業振興に要する経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,289,000	3,489,000	△ 3,489,000		2,289,000	2,119,986
29年度	2,289,000				2,289,000	2,126,013
増減額	0	3,489,000	△ 3,489,000	0	0	△ 6,027

〔事業概要〕
農業者で構成する「あきる野市農業振興会」に各種事業の委託を行い、あきる野農業を推進するとともに、農業振興資金の利子補給金や関係市町村で構成する各種協議会の負担金を支出した。

〔事業実績等〕
農業振興事業事業委託
農林課農政係　12(1) のとおり(P156)
農業振興資金利子補給金
農林課農政係　2(1) のとおり(P153)
各種協議会負担金
西多摩農業改良普及事業協議会負担金　43,000円
東京都農業構造改善事業推進協議会負担金　5,000円
都市農地保全推進自治体協議会負担金　20,000円

節の内訳	金額
09 旅費	27,234
11 需用費	4,774
13 委託料	2,000,000
19 負担金補助及び交付金	87,978
計	2,119,986

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2,119,986
次年度精算額	
計	2,119,986

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	01	03	02	秋川ファーマーズセンター運営管理経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	9,399,000				9,399,000	8,237,080
29年度	6,381,000				6,381,000	6,363,071
増減額	3,018,000	0	0	0	3,018,000	1,874,009

〔事業概要〕
秋川ファーマーズセンターは、あきる野市の目指す地産地消型農業の拠点であり、市民等に新鮮で安全な農畜産物を供給することにより、農業経営の安定、農業従事者の確保、育成等の地域産業の総合的な振興を推進した。

〔事業実績等〕
農林課農政係　3のとおり(P153)
市民等に新鮮で安心な農畜産物を提供することにより、農業経営の安定、農業従事者の確保、育成等の地域産業の総合的な振興が図られた。

節の内訳	金額
11 需用費	248,486
12 役務費	123,308
13 委託料	824,970
14 使用料及び賃借料	5,564,590
15 工事請負費	1,475,726
計	8,237,080

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	1,189,000
地方債	
その他	
一般財源	7,048,080
次年度精算額	
計	8,237,080

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	01	03	03	市民農園に要する経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,806,000				1,806,000	1,594,586
29年度	1,827,000				1,827,000	1,659,125
増減額	△ 21,000	0	0	0	△ 21,000	△ 64,539

〔事業概要〕
市が管理運営する「あきる野市民農園」226区画を市民に貸し出し、技術指導員による土づくり、ナス・トマト等の野菜の植付けなどの現地講習会等を行い、自らの手で栽培した農作物の収穫の喜びと、農業への理解を深めてもらう機会を確保した。

〔事業実績等〕
農林課農政係　2(2) のとおり(P153)
現地講習会等を実施し、自らの手で栽培した農作物の収穫の喜びと、農業への理解を深めてもらうことができた。

節の内訳	金額
07 賃金	1,079,488
09 旅費	9,582
11 需用費	308,565
12 役務費	63,871
13 委託料	10,800
14 使用料及び賃借料	66,552
18 備品購入費	55,728
計	1,594,586

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	1,548,000
一般財源	46,586
次年度精算額	
計	1,594,586

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	01	03	04	新規就農者提案型支援事業経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,500,000				1,500,000	1,000,000
29年度	1,000,000				1,000,000	999,448
増減額	500,000	0	0	0	500,000	552

〔事業概要〕
新規就農者に対する就農支援として提案型による補助金を交付した。
あきる野市は、3つの直売所を中心に「地産地消型」事業を展開しているが、直売所の会員の高齢化による出荷量の減少が課題となっていることから、新たな担い手に魅力ある農業経営を支援することで、担い手不足と遊休農地の解消を推進した。

〔事業実績等〕
農林課農政係　16のとおり(P158)
新たな担い手に魅力ある農業経営を支援することにより、経営の安定及び拡大を図ることができた。あわせて、耕作放棄地を貸し付けることにより、遊休農地の解消にもつながった。

節の内訳	金額
19 負担金補助及び交付金	1,000,000
計	1,000,000

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,000,000
次年度精算額	
計	1,000,000

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	01	03	08	獣害防止対策に要する経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	14,019,000				14,019,000	13,492,823
29年度	14,174,000				14,174,000	12,874,642
増減額	△ 155,000	0	0	0	△ 155,000	618,181

〔事業概要〕
農作物の被害を防ぐため、野生鳥獣の捕獲を行うとともに、野生生物が畑に侵入することを防止するための電気柵の設置、サルの追い払い及びイノシシ等の捕獲の委託などを行うことで、安心して農業生産ができる環境を作り、遊休農地の防止、生産性の向上など、農業経営の安定を進めた。
平成30年度も、前年度に引き続き、野生獣による農作物への被害対策として設置する電気柵の再整備を行うための補助金を支出した。

〔事業実績等〕
農林課農政係　5のとおり(P154)
電気柵の設置、サルの追い払い及びイノシシ等の捕獲の委託などを行うことで、農作物の被害を防ぎ、遊休農地の防止、生産性の向上など、農業経営の安定を進めることができた。

節の内訳	金額
08 報償費	18,000
09 旅費	19,450
11 需用費	374,689
13 委託料	7,004,400
16 原材料費	3,982,564
19 負担金補助及び交付金	2,093,720
計	13,492,823

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	7,951,800
地方債	
その他	
一般財源	5,717,720
次年度精算額	△ 176,697
計	13,492,823

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	06	01	03	09	獣害防止対策共同研究事業経費	農林課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,675,000				4,675,000	4,568,960
29年度	2,496,000	2,592,000			5,088,000	4,733,926
増減額	2,179,000	△ 2,592,000	0	0	△ 413,000	△ 164,966

〔事業概要〕
中山間地域中心に里山の荒廃や、耕作放棄地の増加が進み、野生鳥獣の生息地が拡大し、農作物等への獣害が広がっている。獣害対策の更なる推進を図るため、平成28年9月に採択された農林水産省の補助事業（革新的技術開発・緊急展開事業）を活用して、共同研究機関を組織し、ドローン、赤外線サーモカメラ、軽量望遠分光カメラ及び画像分析を利用した野生鳥獣の生息状況把握を行う手法の開発並びに超音波センサーを利用した被害防止方策の実証研究を行った。

〔事業実績等〕
農林課農政係　15のとおり(P157)
農林水産省の研究開発支援事業である「革命的技術開発・緊急展開事業」として採択された「ドローンを活用した野生鳥獣の生息状況把握及び農作物被害防止方策に関する研究」の取組見に参画し、あきる野市内の西部山間地域の農作物被害を把握するため、農業者等へのアンケート、ドローンによる調査・実証研究を行なった。

節の内訳	金　額
01 報酬	3,961,800
04 共済費	587,112
09 旅費	20,048
計	4,568,960

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4,568,960
次年度精算額	
計	4,568,960

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	06	01	03	13	都市農業活性化支援事業経費	農林課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	22,725,000				22,725,000	18,960,000
29年度	48,170,000				48,170,000	45,541,000
増減額	△ 25,445,000	0	0	0	△ 25,445,000	△ 26,581,000

〔事業概要〕
意欲ある農業者に対して、都市の有利性を活かした農業経営を強化するため、施設及び農業機械の導入を支援し、地域農畜産物の生産性、品質向上、付加価値化を図った。また、市民等に新鮮で安全な農畜産物を1年を通して供給することで、地産地消型農業を推進した。

〔事業実績等〕
農林課農政係　19のとおり(P159)
市内の意欲ある認定農業者7人に対して、施設や農機具の導入を支援し、地域農畜産物の生産性、品質の向上、高付加価値化を実現した。また、市民等に年間を通じて新鮮で安全な農畜産物を供給することが可能となった。

節の内訳	金　額
19 負担金補助及び交付金	18,960,000
計	18,960,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	13,606,000
地方債	
その他	
一般財源	5,354,000
次年度精算額	
計	18,960,000

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	06	01	03	14	東京型次世代アグリシステム現地実証事業経費	農林課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	29,180,000				29,180,000	29,180,000
29年度	0				0	0
増減額	29,180,000	0	0	0	29,180,000	29,180,000

〔事業概要〕
東京都農林総合研究センターが開発した「東京型次世代アグリシステム」を普及拡大するため、生産技術の導入を目指す生産者との連携や現地の実証施設におけるシステム導入効果を検証した。

〔事業実績等〕
農林課農政係　21のとおり(P159)
東京都農林総合研究センターが開発した「東京型次世代アグリシステム」を普及拡大するため、生産技術の導入を目指す生産者との連携や現地の実証施設におけるシステム導入効果を検証した。

節の内訳	金　額
19 負担金補助及び交付金	29,180,000
計	29,180,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	26,260,000
地方債	
その他	
一般財源	2,920,000
次年度精算額	
計	29,180,000

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	01	04	01	畜産業振興に要する経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	404,000				404,000	402,376
29年度	404,000				404,000	403,564
増減額	0	0	0	0	0	△ 1,188

〔事業概要〕
都市農業の中で、衰退化が進んでいる畜産業を振興し、地域住民に理解を得られる事業を展開するため、畜産公害、環境問題に対処する薬剤購入費等の補助や巡回指導を行った。

〔事業実績等〕
農林課農政係　7のとおり(P155)
本事業を行うことにより、衰退化が進んでいる畜産業を振興し、畜産公害、環境問題にも対処することができ、地域住民の理解を得ることができた。

節の内訳	金額
11 需用費	2,376
19 負担金補助及び交付金	400,000
計	402,376

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	402,376
次年度精算額	
計	402,376

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	01	05	03	用排水路整備に要する経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	52,002,000				52,002,000	51,860,500
29年度	51,822,000			270,000	52,092,000	51,497,000
増減額	180,000	0	0	△ 270,000	△ 90,000	363,500

〔事業概要〕
農業用用排水路に堆積した土砂の除去を行い、安定した流量を確保するとともに、周辺農地等への氾濫を防止し、農業生産の向上と農地等を保全した。
また、平成29年度より4ヶ年にて、東郷前用水路の安定的な供給を図ることを目的として、雨間鳥居場会館の西側法面の改修工事を実施した。

〔事業実績等〕
農林課農政係　9(2)のとおり(P155)
雨間東郷前地区法面改修工事を実施した。

節の内訳	金額
11 需用費	28,700
13 委託料	2,359,800
15 工事請負費	49,000,000
19 負担金補助及び交付金	472,000
計	51,860,500

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	37,479,000
地方債	12,200,000
その他	
一般財源	2,181,500
次年度精算額	
計	51,860,500

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	01	05	04	遊休農地の活用による地産地消推進事業経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,600,000				1,600,000	663,120
29年度	1,610,000				1,610,000	1,343,911
増減額	△ 10,000	0	0	0	△ 10,000	△ 680,791

〔事業概要〕
農業者の高齢化や後継者不足により、荒廃した農地を利用できるように再生し、意欲ある農業者との貸借を推進することで、遊休農地の解消と農産物の生産拡大を進め、市内の直売所に安定的に供給することを目指す。
また、市民と農業者との交流を深めるため、農地の散策、収穫体験などを通じて、食料生産現場への信頼感を向上させ、直売所の来客者・売上の増加を目指す。

〔事業実績等〕
農業委員会　12のとおり(P156)
第9回あきる農を知り隊
実施日　平成30年11月24日
参加者　25人
内　容　農業への理解を深めることを目的に、参加者が農地の散策、農産物の収穫体験をすることにより、野菜への興味を増加させるとともにあきる野農業の可能性と食料生産現場への信頼感の向上に寄与し、農業者との交流を図った。

節の内訳	金額
08 報償費	66,960
13 委託料	596,160
計	663,120

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	663,120
次年度精算額	
計	663,120

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	01	05	05	田園景観保全事業経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	240,000				240,000	238,762
29年度	240,000				240,000	235,759
増減額	0	0	0	0	0	3,003

〔事業概要〕
川沿いなどに広がる水田にレンゲソウ畑を復活することにより、観光景観を創出するとともに、地力(田の生産能力)の向上を推進した。

〔事業実績等〕
農林課農政係　13のとおり(P157)

節の内訳	金額
11 需用費	238,762
計	238,762

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	238,762
次年度精算額	
計	238,762

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	01	06	01	地籍調査に要する経費	建設課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	36,999,000	△ 16,826,000			20,173,000	19,132,258
29年度	34,120,000	△ 10,000,000			24,120,000	23,232,587
増減額	2,879,000	△ 6,826,000	0	0	△ 3,947,000	△ 4,100,329

〔事業概要〕
土地の戸籍とも言われる地籍（所有者、地積、地目、境界等）を明確にするため、毎年度一定区域を設定し、土地一筆地ごとの調査・測量を行い、その成果を登記に反映させるとともに、現地復元能力のある地図（公図）の備え付けを行った。
本成果は、道路用地の買収、道路工事、上下水道工事等の公共事業や分筆等の登記、土地売買等に活用され、土地所有者が土地を管理する上でも大いに活用され、課税も適正化する。また、大規模災害が発生した場合には復旧・復興が迅速化する。

〔事業実績等〕
建設課地籍調査係　1のとおり(P292)

節の内訳	金額
09 旅費	35,040
11 需用費	217,708
12 役務費	25,070
13 委託料	17,474,400
14 使用料及び賃借料	1,315,440
19 負担金補助及び交付金	58,000
27 公課費	6,600
計	19,132,258

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	11,175,000
地方債	
その他	3,000
一般財源	7,954,258
次年度精算額	
計	19,132,258

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	01	08	02	担い手総合支援事業経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,807,000				4,807,000	4,791,324
29年度	7,455,000				7,455,000	4,785,619
増減額	△ 2,648,000	0	0	0	△ 2,648,000	5,705

〔事業概要〕
国内農業政策の緊急課題の1つである農業の担い手対策を推進するため、平成17年度に担い手育成総合支援協議会を設置した。引き続き協議会を活用し、認定農業者・新規就農者等担い手の育成・確保や経営改善、能力向上等について積極的に推進した。
また、国は、農業者の高齢化や後継者不足により、農業の担い手が不足しているため、青年(45歳未満)の就農意欲のある一定要件を満たした者を対象に、就農後の定着を図るために青年就農給付金を給付した。

〔事業実績等〕
農林課農政係　6(1)のとおり(P155)
協議会を2回開催し、認定農業者・新規就農者等担い手の育成及び確保や経営改善、能力向上を図ることができた。
農林課農政係　17のとおり(P158)
新規就農者2人に青年就農給付金を給付し、就農後の定着を図る手助けができた。

節の内訳	金額
01 報酬	1,506,240
04 共済費	217,584
08 報償費	67,500
19 負担金補助及び交付金	3,000,000
計	4,791,324

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	3,033,000
地方債	
その他	
一般財源	1,758,324
次年度精算額	
計	4,791,324

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	02	02	02	市有林管理育成に要する経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,964,000				4,964,000	4,952,304
29年度	4,959,000			△ 48,000	4,911,000	4,884,990
増減額	5,000	0	0	48,000	53,000	67,314

〔事業概要〕
市有林の保育・間伐等の実施、市有林管理のための境界確認、市有林の貸付業務（契約更新事務等）等を行い、市が所有する森林の公益的機能を発揮させ、森林環境の整備を図った。
平成30年度は、戸倉地内及び高尾地内の間伐、大刈、枝打ち等を施業した。
平成26年度より導入した森林計測管理システムにより、市有林管理境界確認済箇所をGPS等を使用し、詳細な図面化を行い、情報管理・計画策定の効率化を図った。
市有林の貸付業務（契約更新事務等）については、平成30年度における契約更新は、丙種林が0件、乙種林が5件であった。

〔事業実績等〕
農林課林務係　1のとおり(P160)
市有林境界調査は、森林調査員による森林計測管理システムの活用で管理図の作成を進めた。市直営林の管理育成は、戸倉地内市有林の間伐等を実施し、森林環境の整備を行った。

節の内訳	金額
01 報酬	1,375,470
11 需用費	49,831
12 役務費	206,543
13 委託料	3,320,460
計	4,952,304

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4,952,304
次年度精算額	
計	4,952,304

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	02	02	03	林道維持管理経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	5,128,000				5,128,000	5,119,240
29年度	5,128,000				5,128,000	5,118,520
増減額	0	0	0	0	0	720

〔事業概要〕
あきる野市が管理する林道及び作業道15路線、延長19kmの維持・補修工事施工により、林道を適切に維持・管理した。

〔事業実績等〕
農林課林務係　2のとおり(P160)
林道維持補修工事として、大沢線の路面補修と横沢・小机線の路肩補修を行い、通行者の安全を確保した。

節の内訳	金額
12 役務費	7,600
13 委託料	299,160
15 工事請負費	4,792,500
16 原材料費	19,980
計	5,119,240

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	5,119,240
次年度精算額	
計	5,119,240

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	06	02	02	07	森林再生事業経費	農林課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	37,600,000				37,600,000	37,378,364
29年度	30,233,000				30,233,000	29,793,603
増減額	7,367,000	0	0	0	7,367,000	7,584,761

〔事業概要〕
手入れが行われず、荒廃が進むスギ・ヒノキの人工林の間伐を行い、森林の公益的機能の回復を図った。
平成26年度からは、森林再生事業実施済森林を対象に2回目の間伐を希望者に対し行っている。
・平成30年度森林間伐作業予定面積52ha（新規間伐作業予定面積10ha、2回目間伐作業予定面積42ha）

〔事業実績等〕
農林課林務係　3のとおり(P160)
本事業は、東京都との契約に基づき実施しており、当市は高い実施面積と予算執行率を維持している。平成30年度は、施設近接地作業や風倒木処理等の付帯作業が増加したことにより、予定面積には達しなかったが、本事業の目的である森林の公益的機能の回復を図ることができた。

節の内訳	金額
03 職員手当等	325,487
07 賃金	710,315
09 旅費	49,694
11 需用費	505,602
13 委託料	35,471,042
18 備品購入費	316,224
計	37,378,364

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	37,378,364
一般財源	
次年度精算額	
計	37,378,364

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	06	02	02	10	枝打ち事業経費	農林課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	14,100,000				14,100,000	13,492,474
29年度	32,211,000				32,211,000	29,654,754
増減額	△ 18,111,000	0	0	0	△ 18,111,000	△ 16,162,280

〔事業概要〕
森林再生事業により間伐を実施した森林を対象に枝打ちを実施し、落とした枝により雨水を分散させ、かつ、土壌に緩やかに浸透させることで表土流出を防止し、弊害を解消する。
・平成30年度枝打ち作業予定面積8ha

〔事業実績等〕
農林課林務係　4のとおり(P160)
本事業は、東京都との契約に基づき実施しており、当市は高い実施面積と予算執行率を維持している。平成30年度も、概ね予定面積を実施することができ、本事業の目的である森林の表土流出の防止等を行った。

節の内訳	金　額
07 賃金	131,005
13 委託料	13,361,469
計	13,492,474

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	13,492,474
一般財源	
次年度精算額	
計	13,492,474

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	06	02	03	01	林道整備事業経費	農林課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	45,971,000	△ 4,890,000			41,081,000	41,071,783
29年度	89,797,000	△ 27,926,000			61,871,000	60,873,211
増減額	△ 43,826,000	23,036,000	0	0	△ 20,790,000	△ 19,801,428

〔事業概要〕
森林資源の高度利用を促進し、林業経営の安定及び適切な森林の維持管理を行うため、林道を開設した。また、林業の基盤整備を推進するため、林道の改良を行った。
＜開設事業＞
・鍾乳洞沢線　延長＝50m　幅員＝4m
＜改良事業＞
・南沢線　路面工　延長＝440m

〔事業実績等〕
農林課林務係　2のとおり(P160)
鍾乳洞沢線については、現地の状況に応じた工種を採用したこと等により、予算を減額補正し開設工事を行った。また、南沢線については、路面工による改良工事を行った。

節の内訳	金　額
07 賃金	201,990
11 需用費	260,193
13 委託料	426,600
15 工事請負費	40,183,000
計	41,071,783

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	34,564,000
地方債	6,000,000
その他	
一般財源	507,783
次年度精算額	
計	41,071,783

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	06	03	01	01	水産業振興経費	農林課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,230,000	1,250,000			2,480,000	2,461,540
29年度	1,500,000				1,500,000	1,496,340
増減額	△ 270,000	1,250,000	0	0	980,000	965,200

〔事業概要〕
秋川の堰にある魚道は、アユ等の魚が遡上を行うために需要な役割を果たしている。生態系の面から見た河川の連続性を確保し、良好な河川環境を保つため、魚道の管理を委託した。

【平成29年度　魚道維持管理経費から事業名称変更】

〔事業実績等〕
農林課農政係　19のとおり(P159)

節の内訳	金　額
11 需用費	29,920
13 委託料	1,183,140
19 負担金補助及び交付金	1,248,480
計	2,461,540

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	1,248,000
一般財源	1,213,540
次年度精算額	
計	2,461,540

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	07	01	02	01	商工振興経費	商工振興課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	89,656,000	△ 2,048,000			87,608,000	85,810,151
29年度	109,621,000				109,621,000	105,747,848
増減額	△ 19,965,000	△ 2,048,000	0	0	△ 22,013,000	△ 19,937,697

〔事業概要〕
商工会や商店会の事業等に対する補助のほか、産業祭、夏まつり等のイベントに対する補助を行った。また、中小企業者を対象とした資金融資事業、小規模事業者を対象とした小規模事業者経営改善資金利子補給事業を行い、市内商工業の振興を図った。

〔事業実績等〕
商工振興課商工振興係　1のとおり(P162)
イベントや補助事業など様々なことを行うことにより、市内の商工業の振興を図ることができた。

節の内訳	金額
09 旅費	123,711
11 需用費	43,327
14 使用料及び賃借料	517,095
19 負担金補助及び交付金	61,126,018
21 貸付金	24,000,000
計	85,810,151

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	4,767,000
地方債	
その他	24,000,208
一般財源	57,042,943
次年度精算額	
計	85,810,151

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	07	01	02	02	創業就労支援事業	商工振興課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	14,300,000				14,300,000	14,300,000
29年度	14,400,000				14,400,000	14,301,688
増減額	△ 100,000	0	0	0	△ 100,000	△ 1,688

〔事業概要〕
あきる野創業・就労・事業承継支援ステーション「Bi@Sta」をあきる野商工会及び、ハローワーク青梅と連携して運営し、市内創業希望者に対し、事業計画策定、金融・財務等に関する総合的なサポートを行う。また、既存事業者に事業承継のアドバイス、就労希望者に情報提供を行うことで地域経済の活性化を図った。

〔事業実績等〕
商工振興課商工振興係　1(1) ウのとおり(P162)
創業、就労、事業承継に係る相談事務を中心とした支援を実施したことにより、地域経済の活性化が図られた。

節の内訳	金額
19 負担金補助及び交付金	14,300,000
計	14,300,000

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	14,300,000
次年度精算額	
計	14,300,000

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	07	01	02	10	プレミアム付商品券事業経費	商工振興課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	0	448,000			448,000	352,558
29年度	0				0	0
増減額	0	448,000	0	0	448,000	352,558

〔事業概要〕
消費税率の引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、来年度、国の補助事業としてプレミアム付商品券事業を実施するに当たり、今年度中の準備のための事務を行った。

〔事業実績等〕
令和元年度に実施するプレミアム付商品券事業に係る準備事務を行った。

補正額の節別内訳

節の区分	金額
03 職員手当等	352,558
計	352,558

財源内訳	金額
国庫支出金	353,000
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	△ 442
計	352,558

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	07	01	03	01	消費者啓発経費	商工振興課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	9,236,000	△ 4,989,000			4,247,000	3,829,754
29年度	3,985,000				3,985,000	3,333,109
増減額	5,251,000	△ 4,989,000	0	0	262,000	496,645

〔事業概要〕
消費生活相談員を雇用し、週2日、消費者と事業者の間に取引に関して生じた苦情等に関する相談業務を実施する。また、消費生活講座の実施、消費者啓発パンフレットの作成及び配布、パネル展示等を行い、消費生活に関する知識を習得してもらうことにより、消費者被害の防止と消費生活の向上と安定を推進した。

〔事業実績等〕
商工振興課商工振興係　7のとおり(P165)
講座や展示等を通じた啓発により、消費者被害の未然防止及び相談窓口の利用促進を図ることができた。

節の内訳	金額
01 報酬	1,616,000
08 報償費	55,800
09 旅費	40,296
11 需用費	180,972
13 委託料	1,936,686
計	3,829,754

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	2,586,620
地方債	
その他	
一般財源	1,243,134
次年度精算額	
計	3,829,754

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	07	01	03	02	市民ローンに要する経費	商工振興課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	46,000				46,000	0
29年度	47,000				47,000	0
増減額	△ 1,000	0	0	0	△ 1,000	0

〔事業概要〕
市民への臨時的な資金（冠婚葬祭、教育、医療、出産資金、災害に伴う住宅資金等）を市内契約金融機関に対し融資斡旋を行い、市が保証機関への保証料を負担する。

〔事業実績等〕
商工振興課商工振興係　6のとおり(P165)
市民が生活の安定を図るために、臨時的に支出する資金について融資をあっせんする体制を整えたが、平成30年度の相談件数が3件あったものの、申請には至らず融資実行はなかった。

節の内訳	金額
計	0

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	0

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	07	01	03	04	放射性物質検査事業経費	商工振興課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,224,000				2,224,000	1,273,860
29年度	3,210,000				3,210,000	1,254,960
増減額	△ 986,000	0	0	0	△ 986,000	18,900

〔事業概要〕
食品等の安全・安心の確保のため、市内の小・中学校及び保育園・幼稚園等施設の給食食材や農産物直売所の食材を中心とした食品中の放射性物質検査を業者委託により実施した。

〔事業実績等〕
商工振興課商工振興係　12のとおり(P168)
食品中の放射性物質測定を実施し、その結果を公表することで、市民の職に対する安心・安全を確保することができた。

節の内訳	金額
13 委託料	1,273,860
計	1,273,860

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	1,338,120
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	△ 64,260
計	1,273,860

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	07	01	04	01	秋川渓谷観光推進事業経費	観光まちづくり推進課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	26,393,000				26,393,000	24,755,097
29年度	6,420,000				6,420,000	5,103,128
増減額	19,973,000	0	0	0	19,973,000	19,651,969

〔事業概要〕
観光協会や大多摩観光連盟との連携による秋川渓谷を活用した観光を推進するとともに、自然、歴史文化などの地域資源を活用した地域振興策を展開し、秋川渓谷のおもてなし体制の確立や定例的な観光宣伝を実施することで、観光客の誘致と地域の活性化を推進した。

〔事業実績等〕
観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係　1のとおり(P170)
商工振興課商工振興係　2のとおり(P164)
【観光まちづくり推進事業交付金交付団体実績】
各種団体によるプロモーション事業等により、地域のイメージアップ及び観光客誘致につながり、地域活性化の取組が進められた。また、ラグビーワールドカップ2019及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、おもてなしPR事業を行い、機運醸成が図られた。
・秋川駅北口地区産業活性化戦略委員会　5,046,266円
・五日市活性化戦略委員会　1,284,104円
・養沢活性化委員会　900,000円
・一般社団法人あきる野市観光協会　2,000,000円
・あきる野市観光推進協議会　799,151円

節の内訳	金　額
09 旅費	126,859
11 需用費	861,646
12 役務費	4,220
13 委託料	6,658,763
18 備品購入費	47,088
19 負担金補助及び交付金	17,056,521
計	24,755,097

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	7,441,800
地方債	
その他	1,170,550
一般財源	16,142,747
次年度精算額	
計	24,755,097

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	07	01	04	03	秋川渓谷観光プロモーション事業経費	観光まちづくり推進課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	11,287,000			△ 353,000	10,934,000	9,296,055
29年度	8,842,000				8,842,000	8,206,788
増減額	2,445,000	0	0	△ 353,000	2,092,000	1,089,267

〔事業概要〕
秋川渓谷のブランド化に向けた取組として、秋川渓谷のロゴを活かしたCIの継続的な実施、秋川渓谷への誘客及びファン層の拡大のため、観光事業者等と連携したプロモーションイベントの実施、フォトコンテストの開催、秋川渓谷四季リーフレットの作成及び秋川渓谷Wi-Fi・デジタルサイネージの運営を行い、効果的な観光プロモーションを展開した。

〔事業実績等〕
観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係　2のとおり(P173)

節の内訳	金　額
08 報償費	28,213
09 旅費	69,271
11 需用費	1,570,391
12 役務費	855,252
13 委託料	4,386,733
14 使用料及び賃借料	2,386,195
計	9,296,055

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	945,000
地方債	
その他	945,395
一般財源	7,405,660
次年度精算額	
計	9,296,055

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	07	01	04	04	観光トイレ維持管理経費	観光まちづくり推進課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	15,538,000			7,000	15,545,000	14,673,859
29年度	0				0	0
増減額	15,538,000	0	0	7,000	15,545,000	14,673,859

〔事業概要〕
観光客に快適に過ごしてもらうことや観光資源の継続的な保存を目的として、ハイキングコース上等に観光用トイレを整備し、維持管理を行った。

〔事業実績等〕
観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係　4のとおり(P177)

節の内訳	金　額
11 需用費	3,425,173
12 役務費	643,705
13 委託料	5,168,120
14 使用料及び賃借料	706,461
15 工事請負費	4,730,400
計	14,673,859

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	4,974,574
一般財源	9,699,285
次年度精算額	
計	14,673,859

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	07	01	04	10	秋川流域ジオパーク推進事業経費	観光まちづくり推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	5,078,000				5,078,000	4,234,699
29年度	4,967,000				4,967,000	4,007,372
増減額	111,000	0	0	0	111,000	227,327

〔事業概要〕
秋川流域ジオパーク構想は、狭い地域の中で様々な年代の地層が観察でき、多くの貴重な化石が発見されている秋川流域に息づく地質・地形、自然、文化など貴重な資源を活かし、地域の魅力を高め、観光や商業など、秋川流域の活性化を図ることを目的に、あきる野市、日の出町及び檜原村が共同で取り組むものである。
戸倉しろやまテラス内に開設した拠点の充実を図り、来訪者に対して秋川流域の地域資源の魅力をPRできるようにした。また、地形地質等をベースとして、この地域の魅力を外部に伝えるための人材育成活動及びツーリズム活動の継続と発展に取り組んだ。

〔事業実績等〕
観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係　5のとおり(P177)

節の内訳	金額
07 賃金	2,241,753
11 需用費	301,387
12 役務費	28,496
14 使用料及び賃借料	507,533
18 備品購入費	150,530
19 負担金補助及び交付金	1,000,000
27 公課費	5,000
計	4,234,699

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	1,185,830
地方債	
その他	
一般財源	3,314,272
次年度精算額	△ 265,403
計	4,234,699

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	07	01	04	15	秋川渓谷戸倉体験研修センター運営管理経費	観光まちづくり推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	24,158,000				24,158,000	24,051,855
29年度	24,158,000				24,158,000	24,031,393
増減額	0	0	0	0	0	20,462

〔事業概要〕
地域の自然、歴史、文化などの観光資源を最大限に生かした体験の場、企業・学校等の研修の場を提供することで、子ども達を中心に多様な人材の育成及び地域の活性化を推進し、滞在型観光の拠点とすることを目的とする秋川渓谷戸倉体験研修センターの管理運営を行った。

〔事業実績等〕
観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係　7のとおり(P181)

節の内訳	金額
11 需用費	911,970
12 役務費	26,488
13 委託料	21,990,000
14 使用料及び賃借料	1,123,397
計	24,051,855

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	24,051,855
次年度精算額	
計	24,051,855

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	07	01	04	23	ふるさと工房運営事業経費	観光まちづくり推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	12,909,000				12,909,000	12,737,607
29年度	12,882,000			274,000	13,156,000	12,869,388
増減額	27,000	0	0	△ 274,000	△ 247,000	△ 131,781

〔事業概要〕
都指定無形文化財である「軍道紙」の伝承と情報発信を行うとともに、市民に広く周知するために、市民向け講習会を開催した。また、運営に係る施設の維持管理を行った。

〔事業実績等〕
観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係　6のとおり(P180)

節の内訳	金額
11 需用費	1,726,769
12 役務費	602,283
13 委託料	9,524,464
14 使用料及び賃借料	684,021
16 原材料費	200,070
計	12,737,607

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	12,737,607
次年度精算額	
計	12,737,607

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	08	01	01	01	市道管理に要する経費	管理課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	18,014,000	1,638,000		309,000	19,961,000	19,755,826
29年度	22,231,000				22,231,000	20,245,469
増減額	△ 4,217,000	1,638,000	0	309,000	△ 2,270,000	△ 489,643

〔事業概要〕
市道利用者の安全と利便性を確保するため、道路の維持管理を行った。
道路の適正管理を行うため、道路パトロールの実施、道路境界確認立会、道路水路に対する苦情処理、道路台帳の整備等を行った。

〔事業実績等〕
1 道路パトロール
月に一回、都市整備部の職員により、秋川地区、五日市地区の道路パトロールを実施した。
2 道路等境界確認立会
管理課管理係　5(1)のとおり(P281)
申請により、年間50件の境界立会いを行った。
3 道水路に対する要望、苦情対応処理
管理課管理係　14のとおり(P282)
対応件数178件
法令等基づき、利用者の安全と利便性を確保するため、市道等の管理を適切に実施した。
4 作成委託
管理課管理係　3のとおり(P280)

節の内訳	金　額
01 報酬	3,516,000
04 共済費	518,040
09 旅費	74,362
11 需用費	559,388
12 役務費	778,220
13 委託料	12,183,760
19 負担金補助及び交付金	180,000
22 補償補填及び賠償金	1,946,056
計	19,755,826

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	19,755,826
次年度精算額	
計	19,755,826

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	08	01	01	02	用地事務経費	建設課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,668,000				1,668,000	814,893
29年度	1,668,000				1,668,000	904,384
増減額	0	0	0	0	0	△ 89,491

〔事業概要〕
公衆用道路敷地内に存在する個人名義の土地について、寄附扱い等の処理により取得し、未登記道路の解消を図った。

〔事業実績等〕
1　買収による取得
・市道多西520号線(瀬戸岡字柿ノ木)　面積10.39㎡　金額236,752円
2　寄附による取得
・市道Ⅰ-28号線（草花字草花前）　面積43.00㎡
・市道Ⅰ-10号線（五日市字川端）　面積32.00㎡
・市道255号線（養沢字養沢）　面積26.44㎡
・市道272号線（乙津字北ヶ谷）　面積26.00㎡
随時生ずる案件について処理を行う事業であり、着実に処理を行った。

節の内訳	金　額
09 旅費	2,833
11 需用費	7,988
13 委託料	567,320
17 公有財産購入費	236,752
計	814,893

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	814,893
次年度精算額	
計	814,893

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	08	01	01	07	屋外広告物に要する経費	管理課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	157,000				157,000	127,218
29年度	157,000				157,000	129,213
増減額	0	0	0	0	0	△ 1,995

〔事業概要〕
屋外広告物法、東京都屋外広告物条例に基づく許可事務を行った。また、適正な道路管理のため、違反広告物の撤去及び広告物掲示申請の受付を行った。

〔事業実績等〕
管理課管理係　6のとおり(P281)
道路パトロール等により違反広告物を撤去し、環境美化に努めた。

節の内訳	金　額
11 需用費	121,818
13 委託料	5,400
計	127,218

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	127,208
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	127,208

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	08	01	01	08	アダプト制度事業経費	管理課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	43,000				43,000	0
29年度	43,000				43,000	0
増減額	0	0	0	0	0	0

〔事業概要〕
市民との協働によるまちづくりの一環として、市が管理する道路、水路及び公園の公共施設において、市民等の自発的な緑化、美化、清掃等の活動を支援した。

〔事業実績等〕
管理課管理係　12のとおり(P282)
各団体とも、草刈りや清掃等環境美化に対する意識を持って活動を実施した。

節の内訳	金　額
計	0

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	0

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	08	02	02	01	道路橋梁の維持補修に要する経費	建設課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	27,000,000	8,000,000			35,000,000	34,988,760
29年度	27,000,000	8,000,000			35,000,000	34,944,480
増減額	0	0	0	0	0	44,280

〔事業概要〕
歩行者を含め交通の安全を確保するため、市道に植栽されている樹木の適正管理を行った。

〔事業実績等〕
建設課土木係　4(3)のとおり(P287)
市道内の街路樹、道路敷、法面等の樹木の剪定、伐採及び除草を実施することにより、歩行者を含め交通の安全を確保した。しかし、近年、管理面積の増加や市民からの要望も増加しており、全ての要望に対応はできていない。

節の内訳	金　額
13 委託料	34,988,760
計	34,988,760

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	34,988,760
次年度精算額	
計	34,988,760

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	08	02	02	50	道路維持事業経費	建設課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	97,907,000	79,003,000			176,910,000	176,784,854
29年度	235,400,000	111,000,000	△ 31,900,000	△ 1,907,000	312,593,000	302,933,376
増減額	△ 137,493,000	△ 31,997,000	31,900,000	1,907,000	△ 135,683,000	△ 126,148,522

〔事業概要〕
市道の利用者が安全で快適に使用できるよう維持補修等の管理を行った。
・近年の気象状況の大きな変化に伴い、緊急に維持補修を行う必要箇所が増加しているため、応急補修工事を迅速に行った。
・近年の気象状況の大きな変化によるゲリラ豪雨等の被害により、側溝等への土砂流入・堆積が非常に多く見られることから、雨水排水処理能力の低下に対処するため、道路側溝清掃を行った。

〔事業実績等〕
建設課土木係　4(4)のとおり(P287)
1 道路応急補修工事
本事業により、市が管理する道路、法面及び側溝等の維持補修工事を実施することにより、通行の安全や道路排水機能の維持につなげることができた。一方、年々老朽化すが進むインフラの維持には、多額の費用が必要となり、毎年、補正予算を組まなければならない状況である。
2 道路側溝等清掃委託
ゲリラ豪雨等により、側溝への堆積した土砂等の清掃を実施することにより、雨水排水処理能力の低下を防ぐことができた。

節の内訳	金　額
13 委託料	14,886,720
15 工事請負費	161,099,280
16 原材料費	798,854
計	176,784,854

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	153,150,000
地方債	
その他	
一般財源	23,634,854
次年度精算額	
計	176,784,854

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	02	03	50	道路新設改良事業経費	建設課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	42,500,000				42,500,000	41,069,444
29年度	51,800,000	△ 16,000,000			35,800,000	27,493,327
増減額	△ 9,300,000	16,000,000	0	0	6,700,000	13,576,117

〔事業概要〕
地域住民生活の利便向上のため、市が管理する幅員4m未満の狭あいな道路の整備を行い、安全で円滑な通行を確保した。
＜平成30年度の主な事業内容＞
（設計委託）秋川駅自由通路エレベーター詳細設計（債務負担行為）
（測量委託）秋川駅自由通路エレベーター用地測量
（工　　事）市道多西458号線道路改修舗装工事

〔事業実績等〕
建設課土木係　5(1)のとおり(P287)
1 道路改修舗装工事
工事を実施したことにより、安全で円滑な通行空間を確保した。
2 設計委託
秋川駅北口、南口エレベーター設置に伴う詳細設計委託を行った。

節の内訳	金額
09 旅費	67,003
11 需用費	507,877
13 委託料	20,286,720
14 使用料及び賃借料	529,164
15 工事請負費	19,678,680
計	41,069,444

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	12,175,000
地方債	25,000,000
その他	
一般財源	3,894,444
次年度精算額	
計	41,069,444

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	02	03	52	道路用地事業経費	建設課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	18,115,000	3,860,000	△ 5,230,000		16,745,000	8,013,763
29年度	34,947,000		△ 2,043,000		32,904,000	27,348,281
増減額	△ 16,832,000	3,860,000	△ 3,187,000	0	△ 16,159,000	△ 19,334,518

〔事業概要〕
地域住民生活の利便向上のため、生活道路の整備を行った。
＜平成30年度　対象路線＞
・多西293号線　　・五日市466・469号線
・多西458号線　　・秋川駅自由通路
・Ⅰ-5号線

〔事業実績等〕
建設課用地係　1のとおり(P290)
秋川駅自由通路を除き、予定通り事業を執行した。

節の内訳	金額
11 需用費	39,968
12 役務費	697,440
13 委託料	782,280
17 公有財産購入費	3,813,525
19 負担金補助及び交付金	12,000
22 補償補填及び賠償金	2,668,550
計	8,013,763

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	8,013,763
次年度精算額	
計	8,013,763

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	02	03	79	市道I-9号線道路拡幅整備事業経費（用地買収）	建設課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	8,500,000				8,500,000	3,324,866
29年度	16,700,000				16,700,000	13,006,942
増減額	△ 8,200,000	0	0	0	△ 8,200,000	△ 9,682,076

〔事業概要〕
五日市給食センターから市道Ⅱ-10号線までの延長約670mの区間で、4m以下の狭あい道路を解消し、五日市と入野地区の交通円滑化と安全を確保するため4工区に分けて整備を進めるための用地買収を行う。
＜平成30年度の主な事業内容＞
・買収用地鑑定　(2者)
・用地買収　約170㎡
・物件補償

〔事業実績等〕
建設課用地係　1のとおり(P290)
財務省所有地の用地取得の手続きや、相続未了地の解決に時間を要している。

節の内訳	金額
12 役務費	518,400
17 公有財産購入費	1,339,138
22 補償補填及び賠償金	1,467,328
計	3,324,866

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3,324,866
次年度精算額	
計	3,324,866

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	08	02	03	80	市道I-9線道路拡幅整備事業経費（整備）	建設課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	12,000,000				12,000,000	8,802,000
29年度	40,000,000			△ 16,000,000	24,000,000	20,280,240
増減額	△ 28,000,000	0	0	16,000,000	△ 12,000,000	△ 11,478,240

〔事業概要〕
地域住民の通勤・通学路等に利用されている道路であるが、狭あいであり通行に支障をきたしていることから、地域自治会からの要望もあり、道路の拡幅整備を行い、安全で円滑な通行を確保し、交通の利便性の向上を進める。
＜平成30年度の主な事業内容＞
・市道I-9号線道路改修舗装工事及び補償代行工事（整備延長47.7m、幅員7.5m）

〔事業実績等〕
建設課土木係　6のとおり(P288)
市道1－9号線道路改修舗装工事及び補償代行工事
狭あいな道路を拡幅したことにより、安全で円滑な通行空間を確保した。

節の内訳	金　額
15 工事請負費	8,802,000
計	8,802,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	4,545,000
地方債	4,000,000
その他	
一般財源	257,000
次年度精算額	
計	8,802,000

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	08	02	03	87	都道伊奈福生線道路整備事業経費（用地買収）	建設課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	236,570,000		0		236,570,000	16,166,405
29年度	216,177,000		△ 13,994,000		202,183,000	130,008,417
増減額	20,393,000	0	13,994,000	0	34,387,000	△ 113,842,012

〔事業概要〕
東京都からの受託事業として、一般都道伊奈福生線の既成整備済の引田地内西端から秋川消防署までの区間及び関連事業(影響区間)として、一般都道山田平井線の日の出町境から南へ250mの区間の道路整備に伴う用地買収を行う。
平成23年度から平成27年度の5ヵ年計画で行う計画であったが、未買収用地が残っていることから、受託期間を延長して行っている。
＜平成30年度の主な事業内容＞
・用地買収　宅地等約883㎡、畑等約62㎡
・物件補償　10件

〔事業実績等〕
建設課用地係　1のとおり(P290)
用地買収が市街地中心となり、建物が存在する土地が多く、1件当たりの補償費の算定に時間を要し、居住者がいる場合も多いことや、調整が容易でない案件もあり、用地買収の進捗が遅くなっている状況にある。

節の内訳	金　額
09 旅費	11,382
11 需用費	249,987
12 役務費	388,800
13 委託料	1,975,677
15 工事請負費	637,200
17 公有財産購入費	9,207,375
22 補償補填及び賠償金	3,695,984
計	16,166,405

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	16,166,405
次年度精算額	
計	16,166,405

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	08	02	03	89	秋３・５・１５二宮東西線整備事業経費	建設課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	15,572,000				15,572,000	3,550,127
29年度	57,287,000				57,287,000	29,117,514
増減額	△ 41,715,000	0	0	0	△ 41,715,000	△ 25,567,387

〔事業概要〕
東京都からの受託事業として、主要地方道第7号杉並あきる野線(二宮地内)の清水外科前交差点から西へ、市民体育館前交差点までの一般部を含む秋多都市計画道路3･5･15号線の拡幅整備に伴う用地買収を行う。
平成25年度から平成29年度の5ヵ年計画で行う計画であったが、未買収用地が残っていることから、受託期間を延長して行っている。
＜平成30年度の主な事業内容＞
・用地買収　宅地約36㎡、畑約204㎡
・物件補償　2件

〔事業実績等〕
建設課用地係　1のとおり(P290)
用地取得率は94%に達しており、比較的順調に進んでいるが、用地取得が容易でない案件が2件残っている。

節の内訳	金　額
11 需用費	49,987
12 役務費	269,200
15 工事請負費	237,600
17 公有財産購入費	2,354,000
22 補償補填及び賠償金	639,340
計	3,550,127

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	3,550,127
一般財源	
次年度精算額	
計	3,550,127

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	02	04	50	橋梁維持事業経費	建設課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	170,004,000	△ 56,563,000			113,441,000	98,548,080
29年度	100,004,000				100,004,000	76,060,673
増減額	70,000,000	△ 56,563,000	0	0	13,437,000	22,487,407

〔事業概要〕
市道に架かる橋梁を「あきる野市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき適正な管理を行うため、橋梁点検、橋梁補修設計、橋梁補修工事・改良工事を実施する。
＜平成30年度の主な事業内容＞
・橋梁点検　36橋（夫婦橋等）
・補修設計　1橋（天王橋）
・補修工事　2橋（小和田橋(債務負担行為)、新久保川原橋(債務負担行為)）
・改良工事　1橋（西沢橋）

〔事業実績等〕
建設課土木係　8のとおり(P288)
あきる野市が管理する橋梁を維持するため、小和田橋及び新久保川原橋の補修工事、天王橋の補修設計委託、36橋の橋梁点検を実施した。あきる野市が管理する橋梁は224橋あり、今後、橋梁を維持するための維持管理費を増やす必要がある。

節の内訳	金額
13 委託料	10,249,200
15 工事請負費	88,298,880
16 原材料費	0
計	98,548,080

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	59,417,000
地方債	38,200,000
その他	
一般財源	931,080
次年度精算額	
計	98,548,080

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	02	05	01	交通安全施設維持管理経費	管理課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	59,855,000	1,440,000			61,295,000	61,215,117
29年度	57,887,000				57,887,000	56,856,194
増減額	1,968,000	1,440,000	0	0	3,408,000	4,358,923

〔事業概要〕
市道利用者の安全を確保するため、道路照明の維持管理行った。

〔事業実績等〕
1 街路灯電気料金
2 LED街路灯借上（債務負担行為）
道路等の利用者の安全確保のため、照明の維持管理を適切に実施した。

節の内訳	金額
11 需用費	27,220,317
14 使用料及び賃借料	33,994,800
計	61,215,117

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	61,215,117
次年度精算額	
計	61,215,117

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	02	05	02	交通安全施設維持補修経費	建設課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,350,000				2,350,000	2,347,806
29年度	2,598,000				2,598,000	2,325,793
増減額	△ 248,000	0	0	0	△ 248,000	22,013

〔事業概要〕
道路に設置してある交通安全施設を、正常な状態で機能するよう維持管理を行うことで、交通事故防止等、市民の安全を確保した。

〔事業実績等〕
建設課土木係　7(2)のとおり(P288)
修繕料　499,818円
道路反射鏡補修委託　1,499,796円
道路反射鏡原材料費　348,192円
道路付属物である交通安全施設の維持管理のため、必要な修繕等を実施、交通事故防止等、市民の安全ん確保に寄与した。また、交通安全施設の経年劣化、市民要望の増大等により、今後、修繕費が増えることが予想される。

節の内訳	金額
11 需用費	499,818
13 委託料	1,499,796
16 原材料費	348,192
計	2,347,806

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2,347,806
次年度精算額	
計	2,347,806

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	02	05	50	交通安全施設整備経費	建設課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	17,419,000				17,419,000	17,360,428
29年度	17,419,000				17,419,000	17,317,696
増減額	0	0	0	0	0	42,732

〔事業概要〕
安全な通行が出来るように、市内道路の危険箇所に安全施設を設置する。
＜平成30年度の事業内容＞
道路照明設置工事
道路反射鏡設置工事
区画線設置工事
すべり止め舗装新設工事
防護柵新設工事
道路交差点鋲設置工事

〔事業実績等〕
建設課土木係　7(1)のとおり(P288)のとおり
安全施設設置工事は、市民、町内会、自治会及び交通管理者から毎年多くの要望が寄せられており、その要望に応じている。しかし、増え続ける要望に対し、今後、工事請負費が増えることが予想される。

節の内訳	金額
09 旅費	12,192
15 工事請負費	17,348,236
計	17,360,428

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	17,360,428
次年度精算額	
計	17,360,428

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	03	01	01	都市計画総務一般経費	都市計画課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	13,597,000				13,597,000	12,080,695
29年度	1,589,000				1,589,000	1,330,170
増減額	12,008,000	0	0	0	12,008,000	10,750,525

〔事業概要〕
将来的な都市像を見据えた都市の健全な発展を実現するため、その基本施策となる計画的な土地利用の推進及び都市環境の整備を図る。
平成30年度は、平成23年3月に策定した「あきる野市都市計画マスタープラン」が平成32年度をもって計画期間が終了するため、次期計画の策定に向けた基礎データの収集や市民アンケートなどの調査業務委託を行った。

〔事業実績等〕
平成23年3月に策定した「あきる野市都市計画マスタープラン」について、社会情勢の変化などに対応するため、平成32年の改定に向け、必要となる基礎調査を実施した。
委託件名：あきる野市都市計画マスタープラン改定基礎調査業務委託
委託金額：5,940,000円
委託業者：㈱日建設計総合研究所

節の内訳	金額
01 報酬	172,000
09 旅費	177,450
11 需用費	628,962
12 役務費	51,710
13 委託料	10,041,300
14 使用料及び賃借料	244,273
18 備品購入費	745,000
27 公課費	20,000
計	12,080,695

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	1,635,120
地方債	
その他	41,750
一般財源	10,403,825
次年度精算額	
計	12,080,695

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	03	01	52	住宅耐震助成事業経費	都市計画課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,300,000				2,300,000	0
29年度	2,300,000				2,300,000	600,000
増減額	0	0	0	0	0	△ 600,000

〔事業概要〕
昭和56年以前に建築された木造2階建ての戸建て住宅で自己用住宅に対し、災害から市民の生命と財産を守るため住宅耐震診断及び改修の費用を一部助成する。
・耐震診断助成については、限度額25,000円
・耐震改修助成については、耐震診断の結果、倒壊する可能性があると診断された住宅が対象。改修助成額は、改修費用の3分の1で、限度額30万円

〔事業実績等〕
1 耐震診断助成
助成件数　0件
2 耐震改修助成
助成件数　0件

節の内訳	金額
計	0

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	0

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	03	01	53	特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業経費	都市計画課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	9,560,000				9,560,000	0
29年度	9,560,000				9,560,000	0
増減額	0	0	0	0	0	0

〔事業概要〕
東京都が指定する特定緊急輸送道路に係る沿道建築物の倒壊による道路の閉塞を防ぎ、広域的な避難路及び輸送路を確保するため、沿道建築物の耐震診断等に係る費用を補助するものである。
・補強設計については、東京都で定めた単価（1,000㎡以内は単価5,000円／㎡）で事業費を算定。
・耐震改修については、東京都で定めた単価（非木造の建築物は単価50,300円／㎡）で事業費を算定。
算定した事業費に対し、国費6分の1、都費6分の1を補助金額とする。

〔事業実績等〕
補強設計　　0件（対象建築物2件）
耐震改修　　0件（対象建築物2件）

節の内訳	金額
計	0

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	0

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	03	01	62	初雁地区市街地整備推進事業経費	都市計画課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,426,000				2,426,000	2,397,600
29年度	0				0	0
増減額	2,426,000	0	0	0	2,426,000	2,397,600

〔事業概要〕
初雁地区における産業系土地利用を推進するため、市街地整備環境の改善を図った。

〔事業実績等〕
都市計画課計画係　8のとおり(P273)

節の内訳	金額
13 委託料	491,400
15 工事請負費	1,906,200
計	2,397,600

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	1,906,200
一般財源	491,400
次年度精算額	
計	2,397,600

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	03	06	01	都市公園維持管理経費	管理課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	42,284,000	6,459,000			48,743,000	48,151,536
29年度	41,995,000			180,000	42,175,000	41,831,034
増減額	289,000	6,459,000	0	△ 180,000	6,568,000	6,320,502

〔事業概要〕
都市公園（32か所）利用者の安全と利便性を確保するため、施設（樹木、遊具、設備）の維持管理を行った。

〔事業実績等〕
管理課管理係　8、9のとおり(P281)
1 公園修繕関係
小峰台公園外30件
2 公園管理委託関係
清掃及びパトロール等を実施
除草及び樹木の剪定等を実施
利用者の安全と利便性を確保するため、公園管理を適切に実施した。

節の内訳	金額
07 賃金	225,394
08 報償費	120,000
11 需用費	7,188,236
12 役務費	10,521
13 委託料	40,550,397
16 原材料費	56,988
計	48,151,536

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	335,733
一般財源	47,815,803
次年度精算額	
計	48,151,536

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	03	06	02	水辺公園維持管理経費	管理課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,070,000				1,070,000	1,007,241
29年度	1,070,000				1,070,000	1,035,583
増減額	0	0	0	0	0	△ 28,342

〔事業概要〕
水辺公園利用者の安全と利便性を確保するため、施設(トイレ、樹木等)の維持管理を行った。

〔事業実績等〕
管理課管理係　8のとおり(P281)
1 トイレ修繕関係
修繕件数1件
2 公園管理委託関係
清掃及び剪定を実施
利用者の安全と利便性を確保するため、公園管理を適切に実施した。

節の内訳	金額
11 需用費	147,975
13 委託料	840,960
16 原材料費	18,306
計	1,007,241

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,007,241
次年度精算額	
計	1,007,241

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	03	06	04	都市公園以外の公園維持管理経費	管理課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,635,000				4,635,000	4,575,192
29年度	4,562,000				4,562,000	4,196,368
増減額	73,000	0	0	0	73,000	378,824

〔事業概要〕
都市公園以外の公園（34か所）利用者の安全と利便性を確保するため、施設（樹木、遊具、設備）の維持管理を行った。

〔事業実績等〕
管理課管理係　8、9のとおり(P281)
1 公園修繕関係
小峰台公園外2件
2 公園管理委託関係
清掃及びパトロール等を実施
除草及び樹木の剪定等を実施
利用者の安全と利便性を確保するため、公園管理を適切に実施した。

節の内訳	金額
11 需用費	402,903
12 役務費	27,790
13 委託料	4,096,979
16 原材料費	47,520
計	4,575,192

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4,575,192
次年度精算額	
計	4,575,192

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	08	04	01	01	市営住宅維持管理経費	都市計画課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	20,525,000				20,525,000	19,730,462
29年度	20,266,000				20,266,000	17,013,254
増減額	259,000	0	0	0	259,000	2,717,208

〔事業概要〕
健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを生活に困窮する低所得者に対し、低廉な家賃で貸出しを行う事業として、入退去事務、家賃等管理、施設管理などを行った。
秋留野ハイツ　55戸
雨間ハイツ　21戸
伊奈ハイツ　15戸
山田ハイツ　21戸
草花公園タウン　99戸

〔事業実績等〕
都市計画課住宅係　4のとおり(P275)

節の内訳	金額
09 旅費	13,796
11 需用費	10,800,265
12 役務費	501,603
13 委託料	6,860,030
14 使用料及び賃借料	1,499,472
19 負担金補助及び交付金	55,296
計	19,730,462

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	17,930,462
一般財源	1,800,000
次年度精算額	
計	19,730,462

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	09	01	01	01	消防事務委託関係経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	888,879,000				888,879,000	888,601,000
29年度	893,515,000	△ 4,636,000			888,879,000	888,879,000
増減額	△ 4,636,000	4,636,000	0	0	0	△ 278,000

〔事業概要〕
常備消防については十分な機能が発揮されなければならないことから、人員、装備面等において高度な機能を有する東京消防庁に業務委託することにより、市域における発災から市民の生命と財産を守る。

〔事業実績等〕
1 東京消防庁事務委託金　888,596,000円
2 三多摩地区消防運営協議会負担金　5,000円

節の内訳	金額
13 委託料	888,596,000
19 負担金補助及び交付金	5,000
計	888,601,000

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	248,879,000
地方債	
その他	
一般財源	639,722,000
次年度精算額	
計	888,601,000

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	09	01	02	03	消防団運営経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	55,199,000				55,199,000	52,357,712
29年度	55,836,000				55,836,000	50,509,845
増減額	△ 637,000	0	0	0	△ 637,000	1,847,867

〔事業概要〕
市民の生命財産を守るために組織する消防団を運営するため、団員報酬の支給、分団運営に対する補助等を行った。
組織　団本部及び7個分団23部体制
定員　506人
団員数　平成29年4月1日現在　417人（うち機能別団員55人）
平成29年12月1日現在　419人（うち機能別団員55人）

〔事業実績等〕
1 団員数　平成30年4月1日現在　417人（うち機能別団員54人）
平成31年3月1日現在　417人（うち機能別団員54人）
2 平成30年度中に在籍している団員に対し、団員報酬を支給した。
3 団本部及び7個分団の23部に対し、運営費補助を行った。

節の内訳	金額
01 報酬	28,775,751
08 報償費	15,000
09 旅費	47,122
10 交際費	45,000
12 役務費	1,141,746
13 委託料	290,034
14 使用料及び賃借料	201,816
19 負担金補助及び交付金	21,841,243
計	52,357,712

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	52,357,712
次年度精算額	
計	52,357,712

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	09	01	02	04	消防団活動経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	38,711,000	△ 3,776,000			34,935,000	31,351,290
29年度	39,881,000				39,881,000	37,318,742
増減額	△ 1,170,000	△ 3,776,000	0	0	△ 4,946,000	△ 5,967,452

〔事業概要〕
災害対応や防災活動における行動を組織的に行うに当たり、統一されたユニフォーム及び専用の装備が不可欠であることから、消防団員として活動するための被服・装備を整備するとともに、出動に対する費用の弁償等を行った。

〔事業実績等〕
1 新入団員27人（改選に伴う新入団員を含む）に、消防団員として活動するための制服、活動服等の被服、ヘルメット及び編上げ靴等の装備を購入した。
2 市町村用防火衣整備費補助金（都補助金）を活用し、防火衣一式を96着購入した。
3 出動手当の支給
火災（452人）、訓練（3,684人）、水防警戒（446人）、
礼式（264人）、警戒（1,820人）、その他（1,106人）

節の内訳	金額
08 報償費	943,957
09 旅費	17,098,400
11 需用費	13,161,593
12 役務費	51,840
14 使用料及び賃借料	95,500
計	31,351,290

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	9,373,000
地方債	
その他	
一般財源	21,978,290
次年度精算額	
計	31,351,290

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	09	01	03	50	消防施設整備経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	9,850,000				9,850,000	9,468,556
29年度	9,618,000			299,000	9,917,000	9,715,946
増減額	232,000	0	0	△ 299,000	△ 67,000	△ 247,390

〔事業概要〕
災害時において、地域の防災拠点としての役割を持つ消防施設（詰所・器具置場）の整備及び維持管理を行うことにより、消防団の円滑な初動と災害対応力を確保した。

〔事業実績等〕
1 消防施設の光熱水費、電話料及び建物総合損害共済保険料
光熱水費　3,243,962円
電話料　850,184円
保険料　66,930円
2 第７分団詰所（乙津）の浄化槽維持管理委託料及び法定検査手数料
浄化槽維持管理委託料　98,280円
浄化槽法定検査手数料　5,500円
3 消防施設の土地借上げ料　216件　4,513,816円

節の内訳	金額
11 需用費	3,933,846
12 役務費	922,614
13 委託料	98,280
14 使用料及び賃借料	4,513,816
計	9,468,556

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	9,468,556
次年度精算額	
計	9,468,556

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	09	01	03	51	消防機械整備経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,944,000				4,944,000	4,394,172
29年度	5,149,000	820,000		△ 299,000	5,670,000	4,988,449
増減額	△ 205,000	△ 820,000	0	299,000	△ 726,000	△ 594,277

〔事業概要〕
消防団活動は、火災のみならず、近年多発している大型の台風やゲリラ豪雨等による水害など多岐に渡っている。これら災害等に迅速に対応するためには、平時における訓練はもとより、消防車両等の機械器具使用が不可欠であることから、消防車両等の機械器具の整備及び維持管理を行った。

〔事業実績等〕
1 ポンプ車6台、積載車6台、指令車1台の車検を実施した。
2 消防車両、小型動力ポンプ等の機械修繕を実施した。
3 火災時に、迅速かつ正確な指揮を行うため東京消防庁デジタル無線波受令機を購入した。

節の内訳	金額
11 需用費	3,356,894
12 役務費	114,434
18 備品購入費	528,444
27 公課費	394,400
計	4,394,172

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	528,000
地方債	
その他	
一般財源	3,866,172
次年度精算額	
計	4,394,172

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	09	01	03	52	消防水利整備経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	21,761,000	6,400,000			28,161,000	21,165,876
29年度	62,748,000				62,748,000	26,003,596
増減額	△ 40,987,000	6,400,000	0	0	△ 34,587,000	△ 4,837,720

〔事業概要〕
火災発生時においては、水利の確保が最も重要であることから、延焼火災を防ぎ、被害の拡大を防止するため、平時から消火栓及び防火水槽等の整備及び維持管理を行い、火災等の災害に迅速に対応できる環境を整備した。

〔事業実績等〕
1 防火水槽撤去工事
あきる野市高尾地内　1基
あきる野市引田地内　1基
あきる野市小川地内　1基
2 消火栓格納箱の購入　8箱
3 防火水槽修繕
4 消火栓移設（負担金）
東京都水道局が施工した工事に係る負担金

節の内訳	金額
11 需用費	1,830,848
15 工事請負費	6,670,080
18 備品購入費	319,680
19 負担金補助及び交付金	12,345,268
計	21,165,876

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	12,286,000
地方債	
その他	
一般財源	8,879,876
次年度精算額	
計	21,165,876

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	09	01	04	04	地震・台風等災害対策経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	38,694,000	362,000			39,056,000	36,393,537
29年度	30,052,000				30,052,000	27,352,990
増減額	8,642,000	362,000	0	0	9,004,000	9,040,547

〔事業概要〕

地震、台風などの災害に対応するため、非常用食糧や防災備品の整備を進めるとともに、近年多発するゲリラ豪雨等への対応として設置した雨量計や情報通信機器等の活用に取り組んだ。

平成30年度の主な取組は以下のとおり。

・合同風水害対策訓練
・ソーラー外灯の設置
・ハザードマップ更新
・避難行動要支援者名簿作成

〔事業実績等〕

・戸倉しろやまテラス及び特別養護老人ホーム福楽園において、訓練を実施した。地域住民、要配慮者利用施設の風水害に対する認識が深められた。
・市内小学校、戸倉しろやまテラス及び小宮ふるさと自然体験学校の計12か所に非常電源付きのソーラー外灯を設置した。避難所の生活環境向上が期待できる。
・多摩川の浸水想定の見直しや災害の種類ごとに避難所を指定することになったことから、これらを反映させたハザードマップを作製し、全戸配布した。
・要介護度3以上の方や障がい者手帳1・2級の方など一定の基準に該当した方を抽出し、消防署や警察署等の関連機関に名簿情報を事前提供することの同意確認を行った。

節の内訳	金額
01 報酬	76,000
09 旅費	73,940
11 需用費	10,692,230
12 役務費	4,262,763
13 委託料	4,785,868
14 使用料及び賃借料	149,688
15 工事請負費	13,824,000
16 原材料費	49,248
18 備品購入費	2,058,660
19 負担金補助及び交付金	60,000
22 補償補填及び賠償金	361,140
計	36,393,537

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	2,200,000
地方債	13,800,000
その他	15,369,244
一般財源	5,024,293
次年度精算額	
計	36,393,537

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	09	01	04	05	防災行政無線維持管理経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	341,685,000				341,685,000	300,081,654
29年度	27,056,000	△ 1,512,000			25,544,000	20,252,356
増減額	314,629,000	1,512,000	0	0	316,141,000	279,829,298

〔事業概要〕

防災行政無線を活用した災害・防犯情報、行政上の情報発信における円滑な通信を確保するため、無線局の機能を常に最良の状態に保つための維持管理を行った。

現在使用しているアナログ式防災行政無線（固定系・移動系）が、無線通信規則、関係省令の改正に伴い令和4年12月1日以降使用できなくなるため、使用期限までに新システムを構築できるよう、固定系及び移動系の防災行政無線のデジタル化を行う。

平成30年度は、固定系の親局等についてデジタル化工事を実施した。

〔事業実績等〕

地域防災課防災係　2(13)のとおり(P79)

節の内訳	金額
09 旅費	13,822
11 需用費	585,431
12 役務費	511,951
13 委託料	14,158,800
14 使用料及び賃借料	166,850
15 工事請負費	284,644,800
計	300,081,654

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	293,000,000
その他	
一般財源	7,081,654
次年度精算額	
計	300,081,654

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	09	01	04	07	防災・安心まちづくり地域活動支援事業経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,774,000				4,774,000	4,467,620
29年度	4,727,000				4,727,000	4,426,432
増減額	47,000	0	0	0	47,000	41,188

〔事業概要〕

地域力及び防災力の向上のため、防災・安心地域委員会の活動に対する支援を行った。また、災害発生時等に、各地域で迅速かつ適切な災害対応が行われるよう、専門的な技術及び知識を有する地域防災リーダーの育成を行った。
・防災・安全地域委員会活動事業交付金　3,500千円
・地域防災リーダー認定者数　726人（平成30年度末）

〔事業実績等〕
地域防災課防災係　2(7)、(8)のとおり(P75、76)

節の内訳	金額
11 需用費	744,800
12 役務費	121,320
14 使用料及び賃借料	101,500
19 負担金補助及び交付金	3,500,000
計	4,467,620

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4,467,620
次年度精算額	
計	4,467,620

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	09	01	04	08	ブロック塀等防災対策促進事業経費	地域防災課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度		5,000,000			5,000,000	2,554,700
29年度					0	0
増減額	0	5,000,000	0	0	5,000,000	2,554,700

〔事業概要〕

地震発生時等におけるブロック塀等の倒壊による被害の防止を図り、災害に強いまちづくりを推進するため、危険ブロック塀等を撤去し、撤去後に安全な塀等を設置する者に対し、その撤去及び設置に要する経費の一部を補助した。

〔事業実績等〕
地域防災課防災係　2(15)のとおり(P79)

補正額の節別内訳

節の区分	金額
19 負担金補助及び交付金	2,554,700
計	2,554,700

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	31,000
地方債	
その他	1,960,000
一般財源	563,700
次年度精算額	
計	2,554,700

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	01	03	教育委員会だより発行経費	教育総務課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,019,000				1,019,000	831,482
29年度	1,002,000				1,002,000	863,050
増減額	17,000	0	0	0	17,000	△ 31,568

〔事業概要〕

市民が必要な教育活動に参加し、充実した人生を積み重ねていくことができるように、教育全般に関する情報を広く提供するため、教育広報紙を年度内に3回発行するとともに、ホームページを活用した広報活動を行った。

〔事業実績等〕
教育総務課教育総務係　4のとおり(P300)

節の内訳	金額
11 需用費	486,000
12 役務費	345,482
計	831,482

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	831,482
次年度精算額	
計	831,482

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	02	07	小規模学校対策事業経費	教育総務課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	6,815,000	36,000			6,851,000	6,434,273
29年度	8,004,000				8,004,000	7,647,087
増減額	△ 1,189,000	36,000	0	0	△ 1,153,000	△ 1,212,814

〔事業概要〕
児童数の減少により小宮小学校及び戸倉小学校が五日市小学校に統合した。統合後、小宮地区の児童はスクールバスにより通学している。また、戸倉地区の児童は、路線バスを利用して通学している。路線バス通学児童の保護者に、通学定期券購入費を補助することにより負担軽減を図った。

〔事業実績等〕
1 戸倉地区の児童が路線バス通学する際の通学指導員の添乗（1学期のみ）
76日間(4月18日間、5月20日間、6月21日間、7月17日間)
2 戸倉地区から路線バスで五日市小学校に通う児童の保護者に対する遠距離通学費補助金支
給実績（児童数、支給者数及び補助額）
教育総務課学務係　2のとおり(P305)
3 小宮地区からスクールバスで五日市小学校に通う児童数
対象児童数10人
遠距離から路線バス及びスクールバスで五日市小学校に通う児童の通学上の安全を確保することができた。

節の内訳	金額
07 賃金	975,465
12 役務費	34,320
13 委託料	4,708,800
19 負担金補助及び交付金	715,688
計	6,434,273

財源内訳	金額
国庫支出金	706,000
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	5,728,273
次年度精算額	
計	6,434,273

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	02	10	学校防災備蓄整備事業経費	教育総務課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	442,000				442,000	426,837
29年度	1,789,000				1,789,000	1,782,518
増減額	△ 1,347,000	0	0	0	△ 1,347,000	△ 1,355,681

〔事業概要〕
東京都帰宅困難者対策条例及び学校防災マニュアルに基づき、災害時に学校に留め置く児童・生徒及び安全管理等を行う教職員の食糧等を備蓄する。

〔事業実績等〕
災害発生時の初動対応として、児童・生徒を学校へ留め置くことを想定し児童・生徒及び教職員の3割が、発災時1日を過ごすことができるよう、毎年度、アルファ化米及び飲料水を購入し備蓄している。平成30年度についても、アルファ化米及び飲料水を購入した。
購入数 アルファ化米 21箱（1箱50食）
飲料水79箱（2ℓペットボトル、1箱6本）

節の内訳	金額
11 需用費	426,837
計	426,837

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	426,837
次年度精算額	
計	426,837

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	03	01	教育指導一般経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	19,222,000				19,222,000	16,920,745
29年度	16,149,000	△ 806,000		△ 23,000	15,320,000	13,370,018
増減額	3,073,000	806,000	0	23,000	3,902,000	3,550,727

〔事業概要〕
外国人児童・生徒への日本語指導講師の謝礼、水泳指導監視補助員等の報償や教科書、指導書、副読本の購入・印刷製本及び各種協議会等への負担金、補助金などの教育指導に関する経費を計上する。
また、小学校3年生、5年生及び中学1年生を対象にした児童・生徒心理テスト調査委託料を計上し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等に活用する。

〔事業実績等〕
1 水泳指導監視補助員
小学校10校　中学校2校　延べ58人
2 小中学校副読本、地図
小学校社会副読本　1,545冊　地図（あきる野市、東京都）　2,310枚
中学校社会科、体育副読本　各730冊
3 児童・生徒心理テスト調査委託料
小学校3年・5年、中学校1年　計2,037部
小学校3年生、5年生及び中学校1年生を対象にした児童・生徒心理テストを実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等に活用した。

節の内訳	金額
01 報酬	152,000
07 賃金	917,595
08 報償費	734,981
09 旅費	174,951
11 需用費	9,024,533
12 役務費	96,448
13 委託料	2,792,185
14 使用料及び賃借料	79,060
19 負担金補助及び交付金	2,948,992
計	16,920,745

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	16,920,745
次年度精算額	
計	16,920,745

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	03	02	教職員研修関係経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,611,000				3,611,000	3,144,721
29年度	4,520,000				4,520,000	3,672,005
増減額	△ 909,000	0	0	0	△ 909,000	△ 527,284

〔事業概要〕
市立小中学校の教職員に対し、職層や経験年数等による悉皆研修や独自研修を実施するとともに、各学校の課題や所属職員の状況に即した校内研修等を行うことで、教職員の資質向上を図り、多種多様化した教育課題に対応し得る人材を育成する。
平成29年度まで西多摩3市2町1村と島しょ部で開催していた「初任者教員宿泊研修」は、平成30年度から、会場を大学セミナーハウス（八王子市）から戸倉しろやまテラスに変更し、日の出町、檜原村と共催で開催した。
また、新規採用教員の配置が増加していることから、教職員研修センターの指導員が新規採用から4年次までの若手教員および指導経験の浅い産育休代替教員の授業観察を行い、学習指導法や学級経営について指導・助言を行うとともに教員からの相談に応じることで、若手教員の資質向上を図っている。

〔事業実績等〕
指導室教職員係　3のとおり(P309)

節の内訳	金額
01 報酬	2,404,080
08 報償費	551,800
09 旅費	52,800
11 需用費	45,307
12 役務費	415
14 使用料及び賃借料	90,319
計	3,144,721

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	616,601
地方債	
その他	2,528,120
一般財源	
次年度精算額	
計	3,144,721

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	03	08	せせらぎ教室管理経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	9,941,000				9,941,000	9,021,325
29年度	7,752,000			△ 115,000	7,637,000	7,019,797
増減額	2,189,000	0	0	115,000	2,304,000	2,001,528

〔事業概要〕
心理的要因により、学校生活に不適応感を抱いている児童・生徒及び不登校児童・生徒に対し、適応指導教室「せせらぎ教室」において、適切な指導・助言を行い、改善及び在籍校への復帰を目指す。

〔事業実績等〕
指導室指導係　5(2)のとおり(P310)

節の内訳	金額
01 報酬	8,859,600
11 需用費	41,972
12 役務費	42,048
14 使用料及び賃借料	77,705
計	9,021,325

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	9,021,325
次年度精算額	
計	9,021,325

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	03	11	都費教育指導経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	175,000				175,000	166,692
29年度	170,000				170,000	101,584
増減額	5,000	0	0	0	5,000	65,108

〔事業概要〕
6月中旬から7月上旬まで、庁舎別館の教科書展示会場において教科書展示会を実施しており、その監視員に要する経費である。
特別展示会10日、法定展示会14日、準備・片付け各1日の26日分を計上している。

〔事業実績等〕
指導室指導係　8のとおり(P311)

節の内訳	金額
07 賃金	166,692
計	166,692

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	166,692
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	166,692

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	03	12	特別支援教育推進事業経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	7,117,000	6,000,000			13,117,000	11,355,391
29年度	7,512,000			23,000	7,535,000	7,193,498
増減額	△ 395,000	6,000,000	0	△ 23,000	5,582,000	4,161,893

〔事業概要〕
通常の学級等に在籍し、特別な支援を要する児童・生徒へ適切な支援を行うため、臨床心理士による巡回相談を実施するとともに、特別支援学級に在籍する児童・生徒への関わり方について検討するために、専門医の学校訪問指導を実施した。
さらに、特別な支援を要すると思われる児童・生徒への適切な就学先を提供するため、就学相談を実施した。
また、平成28年度から段階的に導入された特別支援教室への入室が適当かを判断する特別支援教室入室判定委員会を開催した。

〔事業実績等〕
指導室指導係　4のとおり(P309)

節の内訳	金額
01 報酬	6,084,000
08 報償費	937,500
09 旅費	34,760
15 工事請負費	2,991,600
18 備品購入費	1,307,531
計	11,355,391

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	4,299,000
地方債	
その他	
一般財源	7,056,391
次年度精算額	
計	11,355,391

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	03	14	市立小中学校教育情報ネットワーク事業経費	教育総務課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	10,732,000				10,732,000	10,672,583
29年度	8,156,000				8,156,000	7,720,321
増減額	2,576,000	0	0	0	2,576,000	2,952,262

〔事業概要〕
小・中学校16校、教育相談所、せせらぎ教室等の教育関係施設をネットワーク化し、事務作業の効率化を図るため、教育情報ネットワークサーバの借上を行う。また、コンピュータウィルス対策を行う。

〔事業実績等〕
ウィルス対策ソフトウェアの更新及び教育情報機器に関する消耗品等の購入を行った。コンピュータの機能、性能の向上により、教職員の事務効率及びセキュリティ対策能力の向上を図った。

節の内訳	金額
11 需用費	204,944
12 役務費	823,521
13 委託料	3,078,000
14 使用料及び賃借料	6,566,118
計	10,672,583

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	10,672,583
次年度精算額	
計	10,672,583

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	03	21	部活動等振興事業経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	20,510,000				20,510,000	17,391,835
29年度	19,770,000				19,770,000	16,689,086
増減額	740,000	0	0	0	740,000	702,749

〔事業概要〕
小・中学校の文化活動及び対外活動に参加するために必要な経費や、大会参加の経費を支援した。また、中学校における部活動の充実及び円滑な推進を図るために配置している、部活動外部指導補助員に対する支援も行った。

〔事業実績等〕
指導室指導係　6(2)のとおり(P310)

節の内訳	金額
08 報償費	12,775,545
12 役務費	18,880
14 使用料及び賃借料	1,895,810
19 負担金補助及び交付金	2,701,600
計	17,391,835

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	17,391,835
次年度精算額	
計	17,391,835

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	01	03	23	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業経費	教育総務課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	574,000				574,000	573,297
29年度	809,000				809,000	805,497
増減額	△ 235,000	0	0	0	△ 235,000	△ 232,200

〔事業概要〕
地域と連携した学校安全活動の推進及び充実に向け、学校安全推進会議、学校安全講習会等を実施した。また、警察官OBであるスクールガードリーダーの定期的な巡回を実施した。

〔事業実績等〕
1 学校安全推進会議（2回実施）
2 学校安全講習会（2回実施）
実施日、出席者数、内容及び講師　教育総務課学務係　6のとおり(P307)
学校安全推進会議及び学校安全講習会を通じて、学校安全に関する情報や各地域の取組等について情報交換を行うとともに、学校安全対策の現状と課題等について共通理解を図った。

節の内訳	金　額
08 報償費	492,000
12 役務費	81,297
計	573,297

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	382,000
地方債	
その他	
一般財源	191,297
次年度精算額	
計	573,297

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	01	03	29	周年記念事業経費	教育総務課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	200,000				200,000	200,000
29年度	300,000				300,000	300,000
増減額	△ 100,000	0	0	0	△ 100,000	△ 100,000

〔事業概要〕
小中学校の周年記念事業に要する経費の一部として補助金の交付を行う。
なお、平成30年度は、創立60周年記念校として秋多中学校、創立40周年記念校として西中学校が対象であった。

〔事業実績等〕
あきる野市立小中学校周年記念事業補助金　2件　200,000円

節の内訳	金　額
19 負担金補助及び交付金	200,000
計	200,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	200,000
次年度精算額	
計	200,000

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	01	03	32	教育相談所管理経費	指導室

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	13,961,000				13,961,000	13,707,432
29年度	12,526,000				12,526,000	12,440,999
増減額	1,435,000	0	0	0	1,435,000	1,266,433

〔事業概要〕
子どもやその保護者の家庭、学校での教育に関する悩みや相談事について、秋川教育相談所及び五日市教育相談所において、臨床心理士や専任相談員が相談に応じ、助言や必要な情報の提供を行うとともに、教職員を対象とした相談を行った。

〔事業実績等〕
指導室指導係　5(1)のとおり(P310)

節の内訳	金　額
01 報酬	12,246,880
04 共済費	1,375,886
11 需用費	84,666
計	13,707,432

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	13,707,432
次年度精算額	
計	13,707,432

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	03	33	中学生東京駅伝大会事業経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	156,000				156,000	138,876
29年度	126,000	1,402,000			1,528,000	1,074,393
増減額	30,000	△ 1,402,000	0	0	△ 1,372,000	△ 935,517

〔事業概要〕
中学生の健康増進や持久力を始めとする体力向上、スポーツの振興及び生徒の競技力の向上を目的として東京都が実施する区市町村対抗の中学生「東京駅伝」大会に参加するための経費を計上する。なお、大会には中学2年生の男女各1チーム21人ずつ計42人が参加した。

〔事業実績等〕
指導室指導係　14のとおり(P312)

節の内訳	金額
11 需用費	137,896
14 使用料及び賃借料	980
計	138,876

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	138,876
次年度精算額	
計	138,876

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	03	34	学校と家庭の連携推進事業経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	399,000	399,000			798,000	798,000
29年度	399,000	399,000			798,000	756,000
増減額	0	0	0	0	0	42,000

〔事業概要〕
いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待などの生活指導上の課題に対し、地域全体で取り組む教育体制及び地域や学校の実態に即した効果的な実現を図っている。そのために、学校と家庭の連絡推進会議を設置し、家庭と子供の支援員及びスーパーバイザーを配置した。
実施指定校　南秋留小学校　増戸中学校

〔事業実績等〕
指導室指導係　2(1)のとおり(P308)

節の内訳	金額
01 報酬	798,000
計	798,000

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	665,000
地方債	
その他	
一般財源	133,000
次年度精算額	
計	798,000

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	01	03	38	プログラミング教育推進校事業経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度		500,000			500,000	487,637
29年度		0			0	0
増減額	0	500,000	0	0	500,000	487,637

〔事業概要〕
小学校におけるプログラミング教育の必修化に向け、プログラミング教育推進校で、企業等と小学校との効果的な連携を推進するための実践研究を行うにあたり、取組に伴う必要経費を計上する。
対象校　南秋留小学校

〔事業実績等〕
指導室指導係　2(1)のとおり(P308)

補正額の節別内訳

節の区分	金額
08 報償費	40,000
11 需用費	100,309
18 備品購入費	347,328
計	487,637

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	487,637
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	487,637

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	01	03	42	学力ジャンプアップ事業経費	指導室

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	16,400,000				16,400,000	15,850,093
29年度	16,000,000				16,000,000	15,804,155
増減額	400,000	0	0	0	400,000	45,938

〔事業概要〕
市内全小・中学校に外部人材の派遣を行い、小・中学校の教員の指導力向上及び児童・生徒の基礎学力の向上を図った。
また、平成32年からの小学校での英語の教科化の本格実施に向け、市では段階的に小学校での英語指導を開始することから、英語教育アドバイザーを活用し、小学校教員を中心に英語の指導力向上を図った。

〔事業実績等〕
指導室指導係　3(3)のとおり(P309)

節の内訳	金　額
08 報償費	15,850,093
計	15,850,093

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	8,200,000
地方債	
その他	
一般財源	7,650,093
次年度精算額	
計	15,850,093

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	01	03	46	スーパーアクティブスクール事業経費	指導室

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	300,000				300,000	299,900
29年度	300,000				300,000	299,594
増減額	0	0	0	0	0	306

〔事業概要〕
東京都の中学生の体力は全国の最低水準にあり、喫緊の課題である。このため、令和2年度までに全国平均値以上を目指し、すべての中学校が自校の目標や取組内容を定めた計画を基に取組を強化するとともに、優れた実践を研究開発する中学校を指定し、全中学校に発信していくことにより、体力向上をより一層推進していくことが必要である。
このことから、体力向上に先進的に取り組む中学校を指定し、具体的に取組を研究開発するとともに、成果を広く発信することを通して中学生の体力向上を具現化する。
指定校：秋多中学校

〔事業実績等〕
指導室指導係　2(1)のとおり(P308)

節の内訳	金　額
08 報償費	200,000
11 需用費	99,900
計	299,900

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	299,900
地方債	
その他	
一般財源	
次年度精算額	
計	299,900

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	01	03	49	スクールソーシャルワーカー活用事業経費	指導室

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,700,000				2,700,000	2,625,000
29年度	500,000	300,000		115,000	915,000	915,000
増減額	2,200,000	△ 300,000	0	△ 115,000	1,785,000	1,710,000

〔事業概要〕
いじめや不登校等、児童・生徒の問題行動等の未然防止、改善及び解決を図るため、関係機関等と連携を図り、福祉面から児童・生徒等の支援を行うことができるようにするため、スクールソーシャルワーカーを配置した。

〔事業実績等〕
指導室指導係　17のとおり(P312)

節の内訳	金　額
01 報酬	2,625,000
計	2,625,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	1,312,500
地方債	
その他	
一般財源	1,312,500
次年度精算額	
計	2,625,000

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	01	04	01	幼児教育振興経費	保育課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	213,742,000	4,411,000			218,153,000	164,067,432
29年度	248,303,000	△ 10,339,000			237,964,000	219,490,321
増減額	△ 34,561,000	14,750,000	0	0	△ 19,811,000	△ 55,422,889

〔事業概要〕
＜私立幼稚園等園児保護者負担軽減費補助事業＞
　私立幼稚園等に在籍する子どもの保護者に対し、保育料等の一部を補助することで、経済的負担の軽減を図った。
＜私立幼稚園就園奨励費補助事業＞
　私立幼稚園に在籍する子どもの保護者に対し、入園料及び保育料の一部を補助することで、幼稚園教育の一層の普及・充実を図った。
＜幼稚園型一時預かり事業＞
　多様化する子育て支援ニーズの拡大や女性の社会進出の増加などに伴い、通常の教育（保育）時間以外の時間において、預かり保育を実施した。
＜私立幼稚園教育振興費補助事業＞
　市内の私立幼稚園等における教育の振興と充実を図るため、教育活動に要する経費の一部を補助した。
＜対象施設＞
　市内　7施設
　市民が通園する市外の幼稚園

〔事業実績等〕
　保育課保育係　18、19のとおり(P261、263)
　市内の私立幼稚園等の教育活動に要する経費の一部を補助をすることで、教育の振興と充実を図ることができた。また、保護者に対する補助や預かり保育の委託事業を実施することで、保護者の経済的負担の軽減や多様化する子育てニーズに対応することができた。

節の内訳	金　額
09 旅費	14,746
11 需用費	54,344
13 委託料	30,025,942
19 負担金補助及び交付金	129,561,400
23 返還金	4,411,000
計	164,067,432

財源内訳	金　額
国庫支出金	27,516,124
都支出金	50,808,330
地方債	
その他	
一般財源	85,742,978
次年度精算額	
計	164,067,432

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	02	01	01	小学校維持管理経費	教育総務課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	95,926,000	1,489,000			97,415,000	95,125,030
29年度	99,896,000	2,793,000			102,689,000	98,597,591
増減額	△ 3,970,000	△ 1,304,000	0	0	△ 5,274,000	△ 3,472,561

〔事業概要〕
　学校事務員の雇用、用務員業務、通学案内等業務、備品の購入・点検・修繕等、学校運営に必要な環境整備及び通学時の安全推進事業を実施した。また、児童の登下校の安全確保と見守り活動の補完を目的に設置する通学路の防犯カメラについて、機器の保守点検を行った。

〔事業実績等〕
1 学校の電話料及びエアコンの熱源であるガス料金を支出した。
2 児童用机・椅子をはじめ学校の運営に必要な消耗品及び備品を購入した。
3 シルバー人材センターへの業務委託
(1)学校施設維持管理業務
　実施校10校（全小学校）
(2)登下校時の通学案内業務
　実施校10校（全小学校）、実施箇所32箇所
4 通学路への防犯カメラの設置
　登下校時の見守り活動を補完するために設置している通学路の防犯カメラの保守点検を行った。

節の内訳	金　額
04 共済費	1,886,104
07 賃金	12,545,835
10 交際費	75,000
11 需用費	26,288,237
12 役務費	5,387,829
13 委託料	42,355,645
14 使用料及び賃借料	4,589,427
18 備品購入費	1,996,953
計	95,125,030

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	95,125,030
次年度精算額	
計	95,125,030

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	02	01	27	小学校特別支援事業経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	21,999,000			△ 80,000	21,919,000	19,581,402
29年度	15,475,000	3,939,000			19,414,000	18,069,832
増減額	6,524,000	△ 3,939,000	0	△ 80,000	2,505,000	1,511,570

〔事業概要〕
特別支援教育を推進する上で必要となる介助員を雇用する。
また、修学旅行及び宿泊訓練を実施することにより、普段とは異なる環境の中で、個々の課題に応じた、様々な体験を通じた学習をすることで、学習の充実を図るとともに社会性を向上させる。

〔事業実績等〕
指導室指導係　4(1)アのとおり(P309)

節の内訳	金額
07 賃金	17,891,605
08 報償費	830,833
09 旅費	18,744
11 需用費	180,374
14 使用料及び賃借料	648,680
19 負担金補助及び交付金	11,166
計	19,581,402

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	19,581,402
次年度精算額	
計	19,581,402

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	02	02	01	小学校教育振興経費	教育総務課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	73,185,000	△ 2,837,000			70,348,000	66,608,524
29年度	73,293,000	3,503,000			76,796,000	70,447,181
増減額	△ 108,000	△ 6,340,000	0	0	△ 6,448,000	△ 3,838,657

〔事業概要〕
教育活動を円滑に進めるため、学習活動に使用する消耗品・備品及び卒業記念品等を購入した。このほか、支給要綱に基づき、経済的理由により就学困難な児童の保護者に就学援助費を支給した。また、特別支援を必要とする児童の保護者に、特別支援教育就学奨励費を支給した。

〔事業実績等〕
1 学習活動に必要な消耗品・備品及び理科教育に必要な備品の購入を行った。
2 就学援助費支給実績（認定世帯数、対象児童数及び支給額）
教育総務課学務係　3のとおり(P305)
3 特別支援教育就学奨励費支給実績（認定世帯数、対象児童数及び支給額）
教育総務課学務係　4のとおり(P306)
学習活動に必要な消耗品・備品の購入を行った。また、就学援助費及び特別支援教育就学奨励費を支給し、経済的に困難な保護者の負担軽減を図った。

節の内訳	金額
08 報償費	707,594
11 需用費	26,232,205
12 役務費	201,069
18 備品購入費	4,602,420
20 扶助費	34,865,236
計	66,608,524

財源内訳	金額
国庫支出金	1,737,000
都支出金	18,200,000
地方債	
その他	
一般財源	46,671,524
次年度精算額	
計	66,608,524

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	02	02	14	小学校コンピュータ教育経費	教育総務課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	46,553,000				46,553,000	46,446,379
29年度	49,825,000				49,825,000	47,926,953
増減額	△ 3,272,000	0	0	0	△ 3,272,000	△ 1,480,574

〔事業概要〕
コンピュータ教育を推進するため、各校のコンピュータ教室に設置するパソコンのリース及び保守管理を行う。

〔事業実績等〕
南秋留小学校のコンピュータ教室に設置する教育用パソコンのリース期間が終了したため、平成30年10月から令和4年9月まで、長期継続契約により機器借上契約を締結し、タブレット型パソコンを設置した。
コンピュータ教室用パソコン整備状況
教育総務課学務係　7(1)のとおり(P307)

節の内訳	金額
11 需用費	2,002,207
14 使用料及び賃借料	44,319,324
18 備品購入費	124,848
計	46,446,379

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	46,446,379
次年度精算額	
計	46,446,379

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	02	02	16	小学校国際理解教育経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	6,472,000				6,472,000	6,025,752
29年度	4,727,000				4,727,000	4,679,999
増減額	1,745,000	0	0	0	1,745,000	1,345,753

〔事業概要〕
各小学校に外国人講師を配置し、英語を中心とする英語圏の文化に触れ親しみ、国際理解を深める。
全市立小学校10校で、合計2,602時間配置する。
官公庁での実績のある英語指導助手が教員の補助を行うことで、教員も児童も学校が始業して早い時期に意思疎通が図れ、より充実した外国語活動を推進していく。

〔事業実績等〕
指導室指導係　3(2)アのとおり(P309)

節の内訳	金額
13 委託料	6,025,752
計	6,025,752

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	3,236,000
地方債	
その他	
一般財源	2,789,752
次年度精算額	
計	6,025,752

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	02	02	19	小学校図書館活用推進事業経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,832,000			55,000	3,887,000	3,886,695
29年度	3,728,000			56,000	3,784,000	3,783,265
増減額	104,000	0	0	△ 1,000	103,000	103,430

〔事業概要〕
小学校に図書館補助員を配置し、学校図書館の充実を行う。

〔事業実績等〕
指導室指導係　3(1)イ(ア)のとおり(P309)

節の内訳	金額
07 賃金	3,886,695
計	3,886,695

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3,886,695
次年度精算額	
計	3,886,695

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	02	02	21	小学校総合的学習経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	5,213,000				5,213,000	3,914,874
29年度	3,263,000				3,263,000	2,952,272
増減額	1,950,000	0	0	0	1,950,000	962,602

〔事業概要〕
地域の人々の暮らしや伝統と文化など、地域や学校の特色に応じた日本の伝統文化理解教育、人権教育など幅広い範囲で学習を行っている。
なお、平成24年度から導入した小宮地区体験学習事業も総合的学習事業経費に計上している。

〔事業実績等〕
地域の人々の暮らしや伝統と文化など、地域や学校の特色に応じた日本の伝統文化理解教育、人間教育、農業体験など幅広い範囲で学習を行った。

節の内訳	金額
08 報償費	607,500
11 需用費	468,132
12 役務費	59,468
14 使用料及び賃借料	2,589,774
19 負担金補助及び交付金	190,000
計	3,914,874

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3,914,874
次年度精算額	
計	3,914,874

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	02	02	22	小学校食育推進活動経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,056,000				1,056,000	945,463
29年度	0				0	0
増減額	1,056,000	0	0	0	1,056,000	945,463

〔事業概要〕
市内小学校で実施している農業体験や、生産された農作物を餅つきやみそ造り、郷土食として調理して口に入るまでを体験する食農教育を実施した。

〔事業実績等〕
農業体験や、そこで採れた農作物を調理する学習などを通じて、食糧生産の過程を学び、食と農の理解を深めた。

節の内訳	金額
08 報償費	405,000
11 需用費	540,463
計	945,463

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	472,000
地方債	
その他	
一般財源	473,463
次年度精算額	
計	945,463

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	02	02	33	小学校教員補助員配置事業経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	11,549,000			△ 55,000	11,494,000	10,979,110
29年度	11,244,000			△ 56,000	11,188,000	11,005,440
増減額	305,000	0	0	1,000	306,000	△ 26,330

〔事業概要〕
確かな学力の定着を目指すため、また、普通学級の中でも特別に支援を要する児童がいるために教員補助員を配置し授業の充実を図っている。
しかし、担当教員による一斉指導や少人数指導時においても理解度に個人差が見られ、学習状況に応じた個別指導が必要な児童及び落ち着きがないなど特別な支援を必要とする児童が増加する傾向があり、各校における補助員の配置時間数が不足している状況である。そこで、児童一人一人の特性や学習状況に応じた教育を充実させるため補助員を配置し、教育環境の整備をしていく。

〔事業実績等〕
指導室指導係　3(1)ア(ア)のとおり(P309)

節の内訳	金額
07 賃金	10,979,110
計	10,979,110

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	10,979,110
次年度精算額	
計	10,979,110

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	02	03	01	小学校保健衛生経費	教育総務課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	31,361,000				31,361,000	30,450,387
29年度	31,715,000				31,715,000	31,014,649
増減額	△ 354,000	0	0	0	△ 354,000	△ 564,262

〔事業概要〕
学校医（内科医・歯科医）及び学校薬剤師の委嘱、学校保健安全法に基づく健康診断を実施するとともに、保健室等で使用する消耗品、医薬材料及び備品等を購入した。また、学校管理下で発生した児童のケガ等に対して治療費（見舞金）を支給し、保護者の負担軽減を図った。

〔事業実績等〕
1 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱した。また、児童の健康診断を実施した。
児童の健康診断（検査項目、対象学年、受診者数及び支出額）
教育総務課学務係　5(1)のとおり(P306)
2 歯科及び耳鼻科検診に使用する検診器材の滅菌を業者委託により実施した。
3 健康診断補助員の配置　補助員数10人（全校配置）
4 学校管理下でケガ等をした児童保護者への災害共済給付金の支払
件数 160件、給付額 1,214,066円
児童が健康で学校生活を送ることができるよう、健康診断を実施するとともに、学校管理下で発生したケガ等の治療費として、災害共済給付金を支給した。

節の内訳	金額
01 報酬	14,136,000
07 賃金	569,198
08 報償費	130,720
11 需用費	3,938,863
12 役務費	313,652
13 委託料	6,722,971
18 備品購入費	518,798
19 負担金補助及び交付金	4,120,185
計	30,450,387

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	4,600,000
地方債	
その他	
一般財源	25,850,387
次年度精算額	
計	30,450,387

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	02	03	14	小学校移動教室関係経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	523,000				523,000	458,794
29年度	746,000				746,000	382,896
増減額	△ 223,000	0	0	0	△ 223,000	75,898

〔事業概要〕
移動教室に随行する付添い看護師に要する経費を計上した。

〔事業実績等〕
小学校6校で看護師が移動教室等に同行した。

節の内訳	金額
08 報償費	458,794
計	458,794

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	458,794
次年度精算額	
計	458,794

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	02	04	01	小学校整備事業経費	教育総務課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	64,367,000	2,901,000			67,268,000	65,534,873
29年度	137,665,000	△ 11,911,000			125,754,000	124,929,088
増減額	△ 73,298,000	14,812,000	0	0	△ 58,486,000	△ 59,394,215

〔事業概要〕
小学校において、法律等に適合し、安全で衛生的かつ利便性のある施設環境に改善するための事業(老朽等で現状回復が困難となった施設・設備の改善を含む。)。
平成30年度は、防火設備改修工事設計委託（屋城小学校）、高圧気中開閉器・ケーブル取替工事（前田小学校）、教室改修工事（西秋留小学校）、体育館トイレ洋式化工事、校舎窓ガラス飛散防止フィルム張替・外壁補修工事及び監理委託（一の谷小学校）等を行った。

〔事業実績等〕
教育総務課教育施設係　4のとおり(P302)
児童、学校関係者の安全及び良好な教育環境を確保するため、施設・設備の整備を計画どおり実施することができた。

節の内訳	金額
13 委託料	4,376,160
15 工事請負費	61,158,713
計	65,534,873

財源内訳	金額
国庫支出金	11,615,000
都支出金	12,665,000
地方債	16,500,000
その他	
一般財源	24,754,873
次年度精算額	
計	65,534,873

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	03	01	15	中学校特別支援事業経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	10,291,000				10,291,000	8,456,616
29年度	7,633,000				7,633,000	7,332,832
増減額	2,658,000	0	0	0	2,658,000	1,123,784

〔事業概要〕
中学校特別支援学級で修学旅行及び宿泊訓練を実施することにより、普段とは異なる環境の中で、個々の課題に応じた、様々な体験を通じ、学習の充実を図るとともに社会性を向上させる。

〔事業実績等〕
指導室指導係　4(1)イのとおり(P310)

節の内訳	金額
07 賃金	7,539,601
08 報償費	673,772
09 旅費	37,529
11 需用費	202,445
19 負担金補助及び交付金	3,269
計	8,456,616

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	8,456,616
次年度精算額	
計	8,456,616

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	03	02	01	中学校教育振興経費	教育総務課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	68,312,000	△ 3,687,000			64,625,000	59,072,515
29年度	69,480,000	5,284,000			74,764,000	67,529,858
増減額	△ 1,168,000	△ 8,971,000	0	0	△ 10,139,000	△ 8,457,343

〔事業概要〕
教育活動を円滑に進めるため、学習活動に使用する消耗品・備品及び卒業記念品の購入等を行った。このほか、支給要綱に基づき、経済的理由により就学困難な生徒の保護者に就学援助費を支給した。また、特別支援を必要とする生徒の保護者に、特別支援教育就学奨励費を支給した。さらに、小宮地区から路線バスを利用して五日市中学校に通学する生徒の保護者に遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担軽減を図った。

〔事業実績等〕
1 学習活動に必要な消耗品・備品及び理科教育に必要な備品の購入を行った。
2 就学援助費支給実績（認定世帯数、対象生徒数及び支給額）
教育総務課学務係　3のとおり(P305)
3 特別支援教育就学奨励費支給実績（認定世帯数、対象生徒数及び支給額）
教育総務課学務係　4のとおり(P306)
4 遠距離通学費補助金支給実績（生徒数、支給者数及び補助額）
教育総務課学務係　2のとおり(P305)
学習活動に必要な消耗品・備品の購入を行った。また、就学援助費及び特別支援教育就学奨励費を支給し、経済的に困難な保護者の負担軽減を図った。

節の内訳	金額
08 報償費	465,603
11 需用費	21,616,339
12 役務費	208,197
18 備品購入費	5,403,096
19 負担金補助及び交付金	803,620
20 扶助費	30,575,660
計	59,072,515

財源内訳	金額
国庫支出金	1,587,000
都支出金	16,100,000
地方債	
その他	
一般財源	41,385,515
次年度精算額	
計	59,072,515

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	03	02	08	中学校コンピュータ教育経費	教育総務課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	27,209,000				27,209,000	27,032,794
29年度	27,820,000				27,820,000	27,816,515
増減額	△ 611,000	0	0	0	△ 611,000	△ 783,721

〔事業概要〕
コンピュータ教育を推進するため、各校のコンピュータ教室に設置するパソコンのリース及び保守管理を行う。

〔事業実績等〕
教育総務課学務係　7(1)のとおり(P307)
東中学校及び増戸中学校のコンピュータ教室に設置する教育用パソコンのリース期間が終了したため、平成30年10月から令和4年9月まで、長期継続契約により機器借上契約を締結し、タブレット型パソコンを設置した。
コンピュータ教室用パソコン整備状況

節の内訳	金額
11 需用費	1,174,180
14 使用料及び賃借料	25,234,806
18 備品購入費	623,808
計	27,032,794

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	27,032,794
次年度精算額	
計	27,032,794

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	03	02	09	中学校進路指導経費	指導室

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,013,000				1,013,000	985,147
29年度	1,166,000				1,166,000	1,145,225
増減額	△ 153,000	0	0	0	△ 153,000	△ 160,078

〔事業概要〕
中学3年生を対象に生徒の進路指導の充実を行う。

〔事業実績等〕
中学3年生を対象に生徒の進路指導の充実を行った。

節の内訳	金額
11 需用費	584,367
12 役務費	400,780
計	985,147

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	985,147
次年度精算額	
計	985,147

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	03	02	16	中学校国際理解教育経費	指導室

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,850,000				3,850,000	3,721,790
29年度	3,593,000				3,593,000	3,550,101
増減額	257,000	0	0	0	257,000	171,689

〔事業概要〕
各中学校に外国人講師を配置し、英語を中心とする英語圏の文化に触れ親しみ、国際理解を深める。
各中学校に合計228日配置する。
官公庁での実績のある英語指導助手が教員の補助を行うことで、教員も生徒も学校が始業して早い時期に意思疎通が図れ、より充実した外国語授業を推進していく。

〔事業実績等〕
指導室指導係　3(2)イのとおり(P309)

節の内訳	金　額
13 委託料	3,721,790
計	3,721,790

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	1,925,000
地方債	
その他	
一般財源	1,796,790
次年度精算額	
計	3,721,790

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	03	02	20	中学校図書館活用推進事業経費	指導室

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,300,000				2,300,000	2,194,307
29年度	2,237,000			33,000	2,270,000	2,269,366
増減額	63,000	0	0	△ 33,000	30,000	△ 75,059

〔事業概要〕
中学校に図書補助員を配置し、学校図書館の充実を行う。

〔事業実績等〕
指導室指導係　3(1)イ(イ)のとおり(P309)

節の内訳	金　額
07 賃金	2,194,307
計	2,194,307

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2,194,307
次年度精算額	
計	2,194,307

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	03	02	21	中学校総合的学習経費	指導室

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	760,000				760,000	674,506
29年度	760,000				760,000	639,350
増減額	0	0	0	0	0	35,156

〔事業概要〕
学校の特色に応じて、日本の伝統・文化理解教育、道徳授業地区公開講座、職場体験など幅広い範囲で学習を行う。

〔事業実績等〕
学校の特色に応じて、日本の伝統・文化理解教育、道徳授業地区公開講座、職場体験など幅広い範囲で学習を行った。

節の内訳	金　額
08 報償費	174,000
11 需用費	379,586
12 役務費	54,500
14 使用料及び賃借料	66,420
計	674,506

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	674,506
次年度精算額	
計	674,506

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	03	02	31	中学校教員補助員配置事業経費	指導室

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,568,000				4,568,000	4,225,996
29年度	4,447,000			△ 33,000	4,414,000	4,308,480
増減額	121,000	0	0	33,000	154,000	△ 82,484

〔事業概要〕
確かな学力の定着を目指し、生徒一人一人の特性や、学習状況に応じた教育を充実させるため教員補助員を配置し、授業の充実を図り、教育環境を整備する。

〔事業実績等〕
指導室指導係　3(1)ア(イ)のとおり(P309)

節の内訳	金　額
07 賃金	4,225,996
計	4,225,996

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4,225,996
次年度精算額	
計	4,225,996

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	03	03	01	中学校保健衛生経費	教育総務課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	20,100,000	△ 1,380,000			18,720,000	18,490,583
29年度	19,976,000				19,976,000	18,986,567
増減額	124,000	△ 1,380,000	0	0	△ 1,256,000	△ 495,984

〔事業概要〕
学校医（内科医・歯科医）及び学校薬剤師の委嘱、学校保健安全法に基づく健康診断を実施するとともに、保健室等で使用する消耗品、医薬材料及び備品等を購入した。また、学校管理下で発生した生徒のケガ等に対して治療費（見舞金）を支給し、保護者の負担軽減を図った。

〔事業実績等〕
1 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱した。また、生徒の健康診断を実施した。
生徒の健康診断（検査項目、対象学年、受診者数及び支出額）
教育総務課学務係　5(1)のとおり(P306)
2 歯科及び耳鼻科検診に使用する検診器材の滅菌を業者委託により実施した。
3 健康診断補助員の配置　補助員数 6人（全校配置）
4 学校管理下でケガ等をした児童保護者への災害共済給付金の支払
件数 68件、給付額 1,309,083円
生徒が健康で学校生活を送ることができるよう、健康診断を実施するとともに、学校管理下で発生したケガ等の治療費として、災害共済給付金を支給した。

節の内訳	金　額
01 報酬	8,986,800
07 賃金	323,137
08 報償費	77,400
11 需用費	1,871,095
12 役務費	181,271
13 委託料	4,933,546
18 備品購入費	131,139
19 負担金補助及び交付金	1,986,195
計	18,490,583

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	2,700,000
地方債	
その他	
一般財源	15,790,583
次年度精算額	
計	18,490,583

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	03	03	08	中学校移動教室等関係経費	指導室

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,040,000				1,040,000	866,918
29年度	1,040,000				1,040,000	1,005,317
増減額	0	0	0	0	0	△ 138,399

〔事業概要〕
修学旅行及び移動教室等に随行する付添い看護師に要する経費を計上する。

〔事業実績等〕
中学校6校で看護師が修学旅行等に同行した。

節の内訳	金　額
08 報償費	866,918
計	866,918

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	866,918
次年度精算額	
計	866,918

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	03	04	01	中学校整備事業経費	教育総務課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	95,469,000	10,448,000		3,078,000	108,995,000	106,181,484
29年度	69,553,000	△ 1,816,000			67,737,000	62,362,163
増減額	25,916,000	12,264,000	0	3,078,000	41,258,000	43,819,321

〔事業概要〕
中学校において、法律等に適合し、安全で衛生的かつ利便性のある施設環境に改善するための事業(老朽等で原状回復が困難となった施設・設備の改善を含む。)。
平成30年度は、非構造部材耐震化工事設計委託（御堂中学校）、校舎増築工事及び監理委託（御堂中学校）、高圧気中開閉器・ケーブル取替工事（西中学校、増戸中学校）、体育館トイレ洋式化工事等を行った。

〔事業実績等〕
教育総務課教育施設係　4のとおり(P302)
生徒、学校関係者の安全及び良好な教育環境を確保するため、施設・設備の整備を計画どおり実施することができた。

節の内訳	金　額
13 委託料	3,987,360
15 工事請負費	102,194,124
計	106,181,484

財源内訳	金　額
国庫支出金	23,979,000
都支出金	14,498,000
地方債	40,000,000
その他	
一般財源	27,704,484
次年度精算額	
計	106,181,484

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	04	01	03	成人式経費	生涯学習推進課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	808,000				808,000	696,990
29年度	818,000				818,000	699,421
増減額	△ 10,000	0	0	0	△ 10,000	△ 2,431

〔事業概要〕
成人となる市民を対象に、成人を祝い自覚を促すことを目的に成人式を開催した。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　2のとおり(P327)
厳粛な成人式式典と「おしゃべり広場」を開催し、仲間や恩師との再会・交流を通して、成人としての自覚と責任を意識させ、市政への参画を促す場を提供した。

節の内訳	金　額
08 報償費	45,000
11 需用費	69,190
12 役務費	63,164
13 委託料	340,036
14 使用料及び賃借料	179,600
計	696,990

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	696,990
次年度精算額	
計	696,990

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	04	01	10	アートスタジオ五日市運営経費	生涯学習推進課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,327,000			1,587,000	4,914,000	4,739,662
29年度	3,320,000				3,320,000	3,192,628
増減額	7,000	0	0	1,587,000	1,594,000	1,547,034

〔事業概要〕
若手芸術家の発掘･育成を図るとともに、芸術や異文化についての相互の理解を深め友好親善を図るため、若手版画家（日本人2人、外国人1人）を戸倉にあるアートスタジオ五日市に3か月間招へいし、共同生活をしながら創作活動を行えるよう支援した。招へいアーティストや寄贈作品の選考などを、美術大学教授などで組織する運営委員会に委託して行った。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　4のとおり(P327)
若手芸術家の創作活動のほか、五日市児童館、多西小放課後子ども教室でのワークショップや五日市小学校での図工の授業への参加、戸倉しろやまテラスでの版画展の開催などを通じて地域との交流を行い、芸術文化交流に加え、異文化理解の推進にも寄与することができた。

節の内訳	金　額
11 需用費	2,249,199
12 役務費	111,138
13 委託料	2,364,780
14 使用料及び賃借料	14,545
計	4,739,662

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	4,739,662
次年度精算額	
計	4,739,662

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	01	11	生涯学習推進事業経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	745,000				745,000	651,168
29年度	815,000				815,000	668,848
増減額	△ 70,000	0	0	0	△ 70,000	△ 17,680

〔事業概要〕
市民の生涯にわたる学習活動の支援と豊かな生涯学習社会を実現するため、市民解説員養成事業、市民解説員活動事業、ITボランティア活動事業等の各種事業を実施した。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課公民館係　1(6)～(12)のとおり(P351～356)
生涯学習活動の支援を通して、「知の循環型社会」の推進に寄与することができた。

節の内訳	金額
08 報償費	366,300
09 旅費	11,914
11 需用費	155,234
12 役務費	117,720
14 使用料及び賃借料	0
計	651,168

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	69,000
一般財源	582,168
次年度精算額	
計	651,168

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	01	12	中学生主張大会経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	220,000				220,000	209,048
29年度	220,000				220,000	197,520
増減額	0	0	0	0	0	11,528

〔事業概要〕
「あきる野市教育の日」の取組として、中学生による主張大会を実施した。
中学生が日常生活を通じて考えていること、願い、希望などを発表することにより、少年少女たちの自立心の育成や非行防止の機会とするとともに、広く一般市民が少年少女たちの意識等に対する理解を深めるなど、青少年の健全育成を推進した。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　15(3)のとおり(P333)
市内の公立6中学校と私立1中学校の代表者が、身近な家族や部活のこと、人権や差別問題等について、自身の考えを発表するとともに、中学生ボランティアによる会場運営などにより、中学生の自立心を育成した。また、一般市民の理解を深める場を提供することができた。

節の内訳	金額
08 報償費	71,659
11 需用費	38,889
12 役務費	12,300
13 委託料	35,000
14 使用料及び賃借料	51,200
計	209,048

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	209,048
次年度精算額	
計	209,048

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	01	22	生涯学習推進体制整備・理解啓発事業経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	151,000				151,000	150,953
29年度	151,000				151,000	150,942
増減額	0	0	0	0	0	11

〔事業概要〕
市民団体との協働により生涯学習シンポジウムを開催し、市民が主体的に生涯学習活動を行っていくことの重要性を啓発するととに、学習活動の成果を活かす機会を提供した。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　8のとおり(P329)
あきる野市生涯学習コーディネーターの会との協働により、地域で活躍している団体の代表者を基調講演の講師やパネリストに迎え、活躍している様子を紹介するとともに、市民が主体的に生涯学習活動を行っていくことの重要性を発信することができた。

節の内訳	金額
11 需用費	8,953
13 委託料	142,000
計	150,953

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	150,953
次年度精算額	
計	150,953

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	04	01	26	生涯学習人材バンク事業経費	生涯学習推進課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	525,000				525,000	513,939
29年度	518,000				518,000	506,999
増減額	7,000	0	0	0	7,000	6,940

〔事業概要〕
市民の生涯に渡る学習活動、児童･生徒の学校活動を支援するため、文化・芸術、スポーツ及びレクリエーション活動等、学校の部活動分野で専門的知識･技能、経験及び意欲を持つ市民に生涯学習支援者として名簿に登録してもらい、青少年体験活動等活動支援センターを通して、地域や学校、団体･サークル等の行う行事の支援を行った。
また、指導や支援内容等具体的な情報が提供できるよう市民に啓発を行った。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　5～7のとおり(P328～329)
生涯学習人材バンクを活用し、各種団体の事業や行事等を支援することにより、「知の循環型社会」づくりの取組を進めることができた。

節の内訳	金　額
07 賃金	249,150
11 需用費	9,989
12 役務費	4,800
13 委託料	250,000
計	513,939

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	513,939
次年度精算額	
計	513,939

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	04	01	27	放課後子ども教室推進事業経費	生涯学習推進課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	9,333,000				9,333,000	7,231,011
29年度	9,492,000				9,492,000	7,421,147
増減額	△ 159,000	0	0	0	△ 159,000	△ 190,136

〔事業概要〕
放課後等に子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、小学校の体育館や校庭等を利用し、地域の方などの参画を得て、放課後子ども教室を実施した。また、事業の推進や円滑な実施のため、運営委員会と各校に実行委員会を設置した。
平成30年度は、東秋留小学校、多西小学校、草花小学校、五日市小学校、西秋留小学校の5校で実施した。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　11のとおり(P329)
市内小学校5校において、子どもたちに安全で健やかな活動場所を提供することができた。また、スタッフ研修会や他市で行われている放課後子ども教室の運営方法等の視察を行い、スタッフ間の情報共有や放課後子ども教室の安全性の向上に繋がる取組を進めることができた。

節の内訳	金　額
01 報酬	1,554,000
04 共済費	299,078
08 報償費	4,593,111
11 需用費	332,482
12 役務費	452,340
計	7,231,011

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	3,571,000
地方債	
その他	
一般財源	3,660,011
次年度精算額	
計	7,231,011

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	10	04	01	28	学校支援地域本部事業経費	生涯学習推進課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,700,000				3,700,000	3,485,000
29年度	3,700,000				3,700,000	3,140,000
増減額	0	0	0	0	0	345,000

〔事業概要〕
地域全体で学校を支援する体制づくりを推進するため、学校支援地域本部を小学校区に設置した。その中で、学習支援、環境整備、見守り活動などの学校支援の事業を実施し、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の拡大や、住民等の学習成果の活用機会の拡充、地域の教育力の活性化を図った。
平成30年度は、一の谷小学校、増戸小学校、南秋留小学校、前田小学校、多西小学校、西秋留小学校の6校で実施する。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　13のとおり(P330)
学校支援地域本部の6校で、学校を支援する体制づくりを推進することができた。また、地域全体で学校環境の整備や見守り活動などの学校支援により、地域の教育力の活性化に繋がっている。

節の内訳	金　額
08 報償費	65,000
13 委託料	3,420,000
計	3,485,000

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	2,343,000
地方債	
その他	
一般財源	1,142,000
次年度精算額	
計	3,485,000

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	01	30	明治１５０年記念事業経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,142,000				1,142,000	955,558
29年度	0				0	0
増減額	1,142,000	0	0	0	1,142,000	955,558

〔事業概要〕
平成30年に明治150年を迎えることから、その機運醸成を図るため、生涯学習推進課及び図書館において、各種記念事業を実施した。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　21のとおり(P339)
生涯学習推進課文化財係　2(3)、(9)アのとおり(P343、344)
生涯学習推進課公民館係　1(2)エのとおり(P349)
図書館中央図書館係＜中央図書館＞　10のとおり(P381)
図書館中央図書館係＜中央図書館増戸分室＞11のとおり(P384)
図書館東部図書館エル係　6(10)のとおり(P388)
図書館五日市図書館係　6(10)のとおり(P393)
関係各課での連携を図りながら、明治150年記念しおりの配布、特別歴史講座、特別展及び企画展等の事業を展開し、機運の醸成を図ることができた。

節の内訳	金額
08 報償費	345,000
11 需用費	287,958
14 使用料及び賃借料	25,600
18 備品購入費	297,000
計	955,558

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	955,558
次年度精算額	
計	955,558

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	02	01	文化財保護一般経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,029,000	156,000			3,185,000	3,000,445
29年度	3,275,000				3,275,000	3,114,151
増減額	△ 246,000	156,000	0	0	△ 90,000	△ 113,706

〔事業概要〕
市内に残る貴重な文化財を保存継承するため、文化財保護審議会を開催して審議を行い、その答申を受けて文化財の指定を行う。
市が所有する国指定史跡「西秋留石器時代住居跡」や都指定史跡「瀬戸岡古墳群」を保存・管理して公開を行うとともに、市内に残る伝統芸能の保存活動を支援するため、保存団体への補助金の交付及び助言･指導を行い、その保存継承を推進した。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課文化財係
1(1)～(6)、(7)ア～ウ、オ・カ、(8)のとおり(P340～342)
天然記念物の倒壊に伴い、文化財指定を解除するとともに、指定文化財の所有者への適正な指導・助言を行い、保存・管理への意識を高めた。また、市内に残る伝統芸能保存活動支援のための指導・助言を行うことにより、保存団体への保存継承の意識を高めた。さらに、市内に残る文化財の調査や埋蔵文化財の適正な指導を行い、市内の文化財保護を進めた。

節の内訳	金額
01 報酬	133,000
08 報償費	420,000
09 旅費	34,572
11 需用費	219,341
12 役務費	4,976
13 委託料	166,556
19 負担金補助及び交付金	2,022,000
計	3,000,445

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3,000,445
次年度精算額	
計	3,000,445

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	02	10	埋蔵文化財緊急発掘調査経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,410,000				1,410,000	848,464
29年度	1,410,000				1,410,000	1,407,704
増減額	0	0	0	0	0	△ 559,240

〔事業概要〕
文化財保護法に基づく発掘届が提出された開発事業に対して、必要に応じて当該地の試掘調査(発掘調査)を実施して、その事業が埋蔵文化財の保存に影響を及ぼすか否かを判断する。
試掘調査は、東京都に登録された民間会社に委託して実施した。

＜作業内容＞当該地の掘削、計測・図面作成、写真撮影及び報告書の作成を行った。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課文化財係　1(7)エのとおり(P341)
緊急発掘調査を5件行うことにより遺跡の分布密度のデータを得ることができた。

節の内訳	金額
11 需用費	14,704
13 委託料	833,760
計	848,464

財源内訳	金額
国庫支出金	373,000
都支出金	186,000
地方債	
その他	
一般財源	289,464
次年度精算額	
計	848,464

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	03	01	青少年健全育成経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,735,000				3,735,000	3,627,836
29年度	3,735,000				3,735,000	3,647,411
増減額	0	0	0	0	0	△ 19,575

〔事業概要〕

次代を担う青少年の健全育成と健やかな成長を地域全体で見守り、育てていく取組を進めるための体制整備を図った。また、地域や学校との協働により、青少年が率先して参画できるような事業を実施し、地域リーダーとしての能力の養成を図った。

あきる野市青少年問題協議会の開催を始め、その下部組織である青少年健全育成地区委員会及び中学校区健全育成推進会議への補助金の交付、また、国際交流等を通じて青少年健全育成活動を推進する国際化推進青年の会、善行青少年の奨励と顕彰を行う青少年顕彰ふるさと委員会に対して補助金を交付した。

〔事業実績等〕

生涯学習推進課生涯学習係　14のとおり(P330～331)

各小学校区青少年健全育成地区委員会、各中学校区健全育成推進会議によるパトロールや各種事業の開催により、地域全体で見守る青少年の健全育成を推進することができた。

節の内訳	金額
01 報酬	180,500
08 報償費	29,743
09 旅費	16,480
11 需用費	38,428
12 役務費	20,685
14 使用料及び賃借料	12,000
19 負担金補助及び交付金	3,330,000
計	3,627,836

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	3,627,836
次年度精算額	
計	3,627,836

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	03	05	青少年委員経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,650,000				1,650,000	1,645,322
29年度	1,650,000				1,650,000	1,648,154
増減額	0	0	0	0	0	△ 2,832

〔事業概要〕

青少年教育の振興のため、青少年の健全育成に実績のある市民16人を青少年委員に委嘱し、余暇活動の指導や青少年団体の連絡調整を行うとともに、あいさつ標語カルタ大会、中学生の主張大会等の青少年健全育成事業を実施した。

〔事業実績等〕

生涯学習推進課生涯学習係　15のとおり(P331)

青少年委員との協働で、あいさつ標語カルタ大会、中学生の主張大会、少年少女ドッジボール大会等を実施し、青少年健全育成事業を推進することができた。

節の内訳	金額
01 報酬	1,567,500
09 旅費	5,022
12 役務費	29,600
19 負担金補助及び交付金	43,200
計	1,645,322

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,645,322
次年度精算額	
計	1,645,322

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	03	06	家庭の日推進事業経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	306,000				306,000	279,844
29年度	311,000				311,000	288,641
増減額	△ 5,000	0	0	0	△ 5,000	△ 8,797

〔事業概要〕

青少年の健全育成にとって、家庭が果たす役割は最も重要であることから、毎月第2日曜日を「家庭の日」として、明るい家庭づくりを推進した。

その方策として、幼児・小学生及び中学生を対象に「家庭の日」に関する絵画・作文・ポスターを募集し、優秀作品を称揚したほか、家庭での団らんの機会を増やす一助として、家族共通の話題づくりのために、秋川キララホールの指定管理者との共催により親子鑑賞会を実施した。

〔事業実績等〕

生涯学習推進課生涯学習係　17のとおり(P333)

「家庭の日」推進事業の実施を通じて、家庭の役割の再認識や家族団らんのきっかけを提供し、明るい家庭づくりを推進した。

節の内訳	金額
08 報償費	267,852
11 需用費	11,992
計	279,844

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	279,844
次年度精算額	
計	279,844

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	03	07	大島子ども体験塾事業経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	185,000				185,000	175,000
29年度	4,378,000				4,378,000	4,261,830
増減額	△ 4,193,000	0	0	0	△ 4,193,000	△ 4,086,830

〔事業概要〕
地域間･異年齢間の交流や大自然を舞台とした様々な活動及び体験を通じて、心身を鍛え自らの力で積極的に社会貢献できる人材を育成することを目的として、大島子ども体験塾を、羽村市との共催により、実行委員会形式で実施した。
当事業については、東京都市長会からの助成金を活用して実施しているが、助成対象額となる歳入、歳出については、幹事市で予算計上することとなっている。
また、幹事市は隔年で務めることとなり、平成30年度は、羽村市が幹事市であったため、前年度と比較し減額となった。
・助成率　8/10

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　15(3) のとおり(P333)
平成30年度は、台風の影響で現地活動は行えなかったが、事前活動を通して、地域間･異年齢間の交流を図り、心身を鍛え、自らの力で積極的に活動する体験をさせることができた。

節の内訳	金額
19 負担金補助及び交付金	175,000
計	175,000

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	175,000
次年度精算額	
計	175,000

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	04	01	公民館事業経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	12,942,000				12,942,000	12,346,691
29年度	10,875,000				10,875,000	10,057,008
増減額	2,067,000	0	0	0	2,067,000	2,289,683

〔事業概要〕
広く市民を対象とした市民大学、子どもを持つ親を対象とした家庭教育学級、高齢者を対象とした寿大学（秋川校、五日市校）、次代を担う青少年を対象とした青少年教室等の実施及び社会教育関係団体等の活動の支援を行った。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課公民館係　1(1)、(2)のとおり(P347、348)
各種講座を実施することにより、市民に生涯学習機会の提供を行うことができた。
また、社会教育関係団体等の活動支援を行い、市民文化の振興に寄与した。

節の内訳	金額
01 報酬	5,525,160
04 共済費	624,090
08 報償費	841,500
09 旅費	27,460
11 需用費	454,919
12 役務費	91,000
13 委託料	2,157,362
14 使用料及び賃借料	825,200
19 負担金補助及び交付金	1,800,000
計	12,346,691

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	3,822,000
地方債	
その他	2,101,127
一般財源	6,423,564
次年度精算額	
計	12,346,691

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	04	04	市民文化祭運営事業経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,414,000				1,414,000	1,387,212
29年度	1,403,000	156,000			1,559,000	1,450,720
増減額	11,000	△ 156,000	0	0	△ 145,000	△ 63,508

〔事業概要〕
市民まつりの一環として、公募による市民団体やサークルなど約120団体で市民文化祭運営委員会を組織し、中央公民館・秋川体育館・五日市地域交流センター・五日市会館・秋川キララホール・秋川ふれあいセンターにおいて、9月から11月に市民文化祭(展示・催物)を行った。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課公民館係　1(4)のとおり(P351)
参加団体との協働で運営委員会の組織づくりを行うなどの取組により、市民文化祭の意義についての理解を深めるとともに、活動成果の発表を通じて、市民文化の振興に寄与した。

節の内訳	金額
13 委託料	592,812
14 使用料及び賃借料	434,400
19 負担金補助及び交付金	360,000
計	1,387,212

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	1,387,212
次年度精算額	
計	1,387,212

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	05	03	東部図書館運営管理経費	図書館

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	23,515,000			△ 177,000	23,338,000	21,915,689
29年度	26,893,000				26,893,000	25,503,506
増減額	△ 3,378,000	0	0	△ 177,000	△ 3,555,000	△ 3,587,817

〔事業概要〕
市民の求める生活に必要な知識や知的要求に対し、常に資料や情報などを提供できるよう、図書館資料の収集・整理・保存や情報発信等の事業を実施した。
さらに、市民が活字文化に親しみ、誰でも図書館資料が活用でき、求める情報が得られるよう各種支援事業を実施することにより、いつでもどこでも誰もが学ぶことができる施設として生涯学習の推進を図った。
特に、市域東部地区の情報拠点として資料・情報提供の充実を図るとともに、安心・安全に利用できるよう施設、設備の適正な整備を推進した。また、司書有資格者の専門性をいかし、地域に密着した課題の解決支援を推進した。

〔事業実績等〕
図書館東部図書館エル係　1～10のとおり(P385～389)
2階エレベータ前のタイルカーペットの補修及び学習室のエアコンスイッチパネル交換修繕を実施した。

節の内訳	金額
01 報酬	4,536,000
07 賃金	4,775,418
09 旅費	5,908
11 需用費	5,556,832
12 役務費	176,222
13 委託料	6,608,225
14 使用料及び賃借料	219,500
18 備品購入費	37,584
計	21,915,689

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	358,594
一般財源	21,557,095
次年度精算額	
計	21,915,689

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	05	04	五日市図書館運営管理経費	図書館

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	12,173,000			177,000	12,350,000	11,589,846
29年度	14,880,000			643,000	15,523,000	14,532,762
増減額	△ 2,707,000	0	0	△ 466,000	△ 3,173,000	△ 2,942,916

〔事業概要〕
市民の求める生活に必要な知識や知的要求に対し、常に資料や情報などを提供できるよう、図書館資料の収集・整理・保存、提供や情報発信等の事業を実施した。
さらに、市民が活字文化に親しみ、誰でも図書館資料が活用でき、求める情報が得られるよう各種支援事業を実施することにより、いつでも、どこでも、誰もが学ぶことができる施設として生涯学習の推進を図った。
また、市民が安心・安全に利用できるよう、施設･設備の適正な維持管理を行った。
平成30年度においては、平成28年度から開始した視聴覚資料（CD）のセキュリティケース化を完成した。

〔事業実績等〕
図書館五日市図書館係　1～10のとおり(P390～394)
平成28年度より実施している視聴覚資料（CD）のセキュリティケース化が完了した。
老朽化により点灯しない1階天井蛍光灯の一部を交換した。

節の内訳	金額
01 報酬	2,268,000
07 賃金	3,324,722
09 旅費	10,060
11 需用費	4,156,920
12 役務費	170,421
13 委託料	1,409,929
14 使用料及び賃借料	243,194
27 公課費	6,600
計	11,589,846

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	14,210
一般財源	11,575,636
次年度精算額	
計	11,589,846

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	05	05	中央図書館増戸分室運営管理経費	図書館

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	14,904,000				14,904,000	14,847,829
29年度	15,003,000				15,003,000	14,867,434
増減額	△ 99,000	0	0	0	△ 99,000	△ 19,605

〔事業概要〕
市民の求める生活に必要な知識や知的要求に対し、常に資料や情報などを提供できるよう、図書館資料の収集・整理・保存、提供や情報発信等の事業を実施した。
さらに、市民が活字文化に親しみ、誰でも図書館資料が活用でき、求める情報が得られるよう各種支援事業を実施することにより、いつでも、どこでも、誰もが学ぶことができる施設として生涯学習の推進を図った。
業務委託による柔軟で効率的な図書館運営と、安定したサービスが提供できるよう、適切な指導・管理を行った。

〔事業実績等〕
図書館中央図書館係＜中央図書館増戸分室＞　1～10のとおり(P382～384)

節の内訳	金額
11 需用費	948,765
12 役務費	127,112
13 委託料	13,726,592
14 使用料及び賃借料	45,360
計	14,847,829

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	250
一般財源	14,847,579
次年度精算額	
計	14,847,829

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	05	06	中央図書館運営管理経費	図書館

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	90,747,000				90,747,000	89,445,054
29年度	90,114,000				90,114,000	89,607,637
増減額	633,000	0	0	0	633,000	△ 162,583

〔事業概要〕

市民の求める生活に必要な知識や知的要求に対し、常に資料や情報などを提供できるよう、図書館資料の収集・整理・保存、提供や情報発信等の事業を実施した。

さらに、市民が活字文化に親しみ、誰でも図書館資料が活用でき、求める情報が得られるよう各種支援事業を実施することにより、いつでも、どこでも、誰もが学ぶことができる施設として生涯学習の推進を図った。

図書館4館の中央館として、全館の資料・サービスを統括するとともに、自動貸出機や図書館HPの運用などにより、利用者サービスの向上に努めた。

読書活動推進の取組として「読書アルバム」事業を継続して実施した。小学校高学年・中高校生の読書離れを減少させることを目的とし、子ども読書活動の推進と連携して事業を展開した。

〔事業実績等〕

図書館中央図書館係＜中央図書館＞

1～6(1)～(12)、6(15)～9のとおり(P371～378、P380～381)

障がい者サービスのボランティア研修を実施

新年号対応システム改修

節の内訳	金額
01 報酬	18,522,000
04 共済費	3,844,254
07 賃金	12,928,217
08 報償費	38,000
09 旅費	33,291
11 需用費	4,867,570
12 役務費	1,152,908
13 委託料	5,627,110
14 使用料及び賃借料	13,453,612
18 備品購入費	28,971,492
27 公課費	6,600
計	89,445,054

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	147,589
一般財源	89,297,465
次年度精算額	
計	89,445,054

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	05	10	子ども読書活動推進事業経費	図書館

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	686,000				686,000	654,069
29年度	686,000				686,000	685,372
増減額	0	0	0	0	0	△ 31,303

〔事業概要〕

第三次あきる野市子ども読書活動推進計画に基づき、ブックスタート事業を実施した。

当事業は、赤ちゃんと保護者が絵本を介して向き合い、ふれあいの時間を持つことを応援するもので、地域に生まれた全ての赤ちゃんの健やかな成長と地域の子育て支援環境の充実を図ることを目的に、健康課と協力し実施した。

また、子どもの読書活動推進の環境整備に関係する健康課、子ども政策課、子ども家庭支援センター、保育園、幼稚園、学校、児童館などの部署と連携し、各種事業を行った。

〔事業実績等〕

図書館中央図書館係＜中央図書館＞　6(5)のとおり(P375)

節の内訳	金額
11 需用費	654,069
計	654,069

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	654,069
次年度精算額	
計	654,069

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	05	24	地域資料デジタル化推進活用事業経費	図書館

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	2,913,000				2,913,000	2,667,933
29年度	2,913,000				2,913,000	2,852,702
増減額	0	0	0	0	0	△ 184,769

〔事業概要〕

資料を後世に残すため、五日市憲法草案等の調査と整理を行うとともに、修復と燻蒸による適正な保存を進めた。また、「明治150年」記念事業を実施した。

市民がいつでも気軽に利用できるよう、五日市憲法草案関連資料をはじめとする地域資料のデジタル化を進めるとともに、あきる野市デジタルアーカイブのコンテンツを追加掲載し、地域資料･情報を発信した。

〔事業実績等〕

図書館中央図書館係＜中央図書館＞

6(13)、(14)、10のとおり(P378、379、381)

1　一般の市民を対象に「五日市憲法草案」の現物公開を実施した。

2　ギャラリー展示「五日市憲法草案」平成30年4月28日～5月6日

3　特別展「24枚の和紙につづられた夢～五日市憲法草案とふたりの青年」
　平成30年10月27日～11月18日　来場者延べ464人

4　展示解説平成30年11月3日、4日全4回　参加者延べ47人

5　記念品として軍道紙しおり作成3,000枚（配布2,000枚）
　※生涯学習推進課予算から支出

節の内訳	金額
01 報酬	1,554,000
11 需用費	63,489
12 役務費	15,400
13 委託料	763,856
14 使用料及び賃借料	271,188
計	2,667,933

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2,667,933
次年度精算額	
計	2,667,933

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	06	03	五日市郷土館運営管理経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	13,620,000	0	0	△ 295,000	13,325,000	12,731,527
29年度	13,318,000	363,000		△ 6,000	13,675,000	12,832,560
増減額	302,000	△ 363,000	0	△ 289,000	△ 350,000	△ 101,033

〔事業概要〕

民具、古文書等の各種文化財関係資料を収集し、清掃、修理、登録等を行い、収蔵して適正に保管するとともに、展示して公開した。また、収蔵している未調査、未整理の資料の調査・整理を行って、その内容、特質を明らかにすることに努めた。古文書は、マイクロフィルム化を進め、保存・活用を図った。さらに、収蔵図書の公開･活用のために目録づくりを進めた。

市民の郷土学習を支援するため、収蔵資料等を活用した企画展、写真展、各種講座、体験教室等を開催した。「郷土あれこれ」等の文化財関係資料を編集・発行した。

〔事業実績等〕

生涯学習推進課文化財係　2のとおり(P342)

民具、古文書等の各種文化財関係資料を収集、保存、展示公開して保護活用に努めた。また、収蔵している未調査、未整理の資料の調査・整理を行い、その内容、特質を明らかにするとともに、古文書のマイクロフィルム化を進め資料の保存・活用に努めた。さらに、写真展や旧市倉家住宅を活用した体験教室等を開催したり、明治150年記念号の「郷土あれこれ」を発行することにより、郷土学習への関心を高めるとともに、郷土の歴史に興味をもってもらうことができた。

節の内訳	金額
01 報酬	1,023,840
07 賃金	4,944,432
08 報償費	110,000
11 需用費	2,004,933
12 役務費	133,714
13 委託料	2,309,004
14 使用料及び賃借料	2,174,004
19 負担金補助及び交付金	25,000
27 公課費	6,600
計	12,731,527

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	236,790
一般財源	12,494,737
次年度精算額	
計	12,731,527

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	06	04	二宮考古館運営管理経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	6,359,000	1,071,000		295,000	7,725,000	7,495,636
29年度	5,951,000			6,000	5,957,000	5,819,823
増減額	408,000	1,071,000	0	289,000	1,768,000	1,675,813

〔事業概要〕

収蔵している未整理の考古遺物の洗浄、注記、登録等を行い、適正に保存するとともに展示公開して活用した。また、収蔵図書の整理、カード作成、登録を行い、収蔵図書の公開のためのデータ整理を行った。市民の郷土学習を支援するため、収蔵資料等を活用した企画展、写真展や体験教室等を開催した。

また、施設利用者の利便性の向上を図るため、トイレの洋式化工事を進めた。

〔事業実績等〕

生涯学習推進課文化財係　3のとおり(P345)

収蔵資料の整理・保存を進めた。また、明治150年記念の特別展示、郷土にゆかりのある塩野半十郎が製作した土器の展示及び講演会、体験教室などを通じて、郷土学習への関心を高めるとともに、郷土の歴史に興味をもってもらうことができた。

【補正予算】

・トイレのバリアフリー化等の仕様変更に伴う増

【トイレ改修工事】

・ユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業補助を活用

・補助割合　2/3

節の内訳	金額
07 賃金	2,985,054
11 需用費	1,229,483
12 役務費	65,436
13 委託料	287,237
14 使用料及び賃借料	1,448,826
15 工事請負費	1,479,600
計	7,495,636

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	5,600
一般財源	7,490,036
次年度精算額	
計	7,495,636

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	07	02	秋川キララホール運営管理経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	74,118,000	2,753,000		△ 1,587,000	75,284,000	74,317,762
29年度	85,340,000	△ 2,197,000			83,143,000	83,003,586
増減額	△ 11,222,000	4,950,000	0	△ 1,587,000	△ 7,859,000	△ 8,685,824

〔事業概要〕
民間の力を活用し、住民サービスの更なる向上と、経費の削減等を図るため、平成25年度から指定管理者制度を導入し、指定管理者の管理運営による、主催事業・自主事業・共催事業を実施し、市民文化の向上に努めた。
また、施設利用者の利便性の向上を図るため、トイレの洋式化工事を行った。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　20のとおり(P335)
指定管理者の自主事業・市民参画事業のアウトリーチとして、まほろばホールでの五日市寄席や、多摩川幼稚園でのコンサートの実施など、市民の音楽文化の向上に寄与している。
【補正予算】
・トイレのバリアフリー化等の仕様変更に伴う増
【トイレ改修工事】
・ユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業補助を活用
・補助割合　2/3

節の内訳	金額
09 旅費	8,230
12 役務費	112,428
13 委託料	67,049,000
15 工事請負費	7,105,104
19 負担金補助及び交付金	43,000
計	74,317,762

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	51,336,000
地方債	
その他	
一般財源	22,981,762
次年度精算額	
計	74,317,762

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	04	08	01	あきる野ルピア運営管理経費	生涯学習推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	42,094,000				42,094,000	42,092,105
29年度	42,271,000				42,271,000	42,248,446
増減額	△ 177,000	0	0	0	△ 177,000	△ 156,341

〔事業概要〕
市民の生涯にわたる学習活動の振興を図るとともに、市民相互の交流を深め、豊かな地域社会の形成と住民福祉に寄与するため、指定管理者制度を導入して施設の管理運営を行った。
また、あきる野ルピア管理組合負担金として、51.508%を負担した。

〔事業実績等〕
生涯学習推進課生涯学習係　18、19のとおり(P333、334)
自主事業のコンサートや幅広い年代を対象とした各種講座の実施、さらにホール・会議室等の貸出により、市民の生涯にわたる学習活動の振興に寄与している。

節の内訳	金額
12 役務費	48,281
13 委託料	9,454,822
19 負担金補助及び交付金	32,589,002
計	42,092,105

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	25,400,000
地方債	
その他	
一般財源	16,692,105
次年度精算額	
計	42,092,105

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	05	01	02	スポーツ推進委員関係経費	スポーツ推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	3,342,000			△ 93,000	3,249,000	2,873,388
29年度	3,430,000				3,430,000	2,863,706
増減額	△ 88,000	0	0	△ 93,000	△ 181,000	9,682

〔事業概要〕
スポーツの振興を図るため、スポーツ推進委員を委嘱し、市民へのスポーツに関する指導及び助言を行う。
・委員数　18人

〔事業実績等〕
スポーツ推進課スポーツ推進係　3のとおり(P358)
講習会の実施や派遣指導等により、スポーツ事業スタッフ及び参加者に指導・助言を行い、広く市民に対しスポーツの推進を図った。

節の内訳	金額
01 報酬	2,574,500
08 報償費	30,000
09 旅費	43,324
11 需用費	119,964
12 役務費	29,600
19 負担金補助及び交付金	76,000
計	2,873,388

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	2,873,388
次年度精算額	
計	2,873,388

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	05	01	03	社会体育振興経費	スポーツ推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	14,318,000	450,000			14,768,000	14,718,227
29年度	14,421,000			1,000,000	15,421,000	15,334,952
増減額	△ 103,000	450,000	0	△ 1,000,000	△ 653,000	△ 616,725

〔事業概要〕
市民が、スポーツの場を通じ練習成果を競い合い、技術と体力向上となるように、綱引き競技大会や子どもすもう大会などのスポーツ大会を開催した。また、体育協会加盟団体への助成を行い、総合スポーツ祭の開催やジュニア育成など、市民がスポーツに参加する機会を増やしたことで、スポーツの振興を図った。

〔事業実績等〕
スポーツ推進課スポーツ推進係　1(1)、2(1)、(2)のとおり(P357～358)
市民が自由に参加できるスポーツ大会を実施したことにより、市民の運動機会の増加と体力の向上を図ることができた。また、体育協会及びスポーツ少年団を支援することにより、技術力の向上やジュニア世代の育成等を図ることができた。

節の内訳	金額
08 報償費	324,820
09 旅費	22,770
11 需用費	319,644
12 役務費	251,684
13 委託料	2,628,880
19 負担金補助及び交付金	11,170,429
計	14,718,227

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	1,551,000
地方債	
その他	4,088,829
一般財源	9,078,398
次年度精算額	
計	14,718,227

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	05	01	08	多摩・島しょスポーツ振興事業経費	スポーツ推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	1,500,000				1,500,000	1,490,303
29年度	1,300,000				1,300,000	1,294,813
増減額	200,000	0	0	0	200,000	195,490

〔事業概要〕
小中学生を対象に、競技力及び技術力の向上を目的とした、トップアスリートによる教室を実施することで、次世代アスリートを育成する。
また、障がい者スポーツやニュースポーツの振興及び理解促進を図ることを目的とした教室を実施する。

〔事業実績等〕
スポーツ推進課スポーツ推進係　1(1)のとおり(P357)
1 小中学生バレーボール教室（参加者　市内小中学生60人）
講師　斎藤真由美
2 障がい者スポーツ教室（参加者　456人）
講師・指導協力　総合型地域スポーツクラブ(アスポルト)、
あきる野市スポーツ推進委員　他

節の内訳	金額
19 負担金補助及び交付金	1,490,303
計	1,490,303

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	1,490,303
一般財源	
次年度精算額	
計	1,490,303

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	05	02	02	五日市ファインプラザ運営管理経費	スポーツ推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	100,041,000			1,375,000	101,416,000	101,413,148
29年度	100,240,000			886,000	101,126,000	101,124,119
増減額	△ 199,000	0	0	489,000	290,000	289,029

〔事業概要〕
体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため、施設を設置し運営する。
利用者のニーズに対応した、よりきめ細やかなサービスを行うため、指定管理者制度により運営する。

〔事業実績等〕
スポーツ推進課スポーツ推進係　6(2)のとおり(P362)
利用者のニーズにあった教室などを開催し、多くの市民がスポーツに触れることのできる機会の増加を図った。また、市民ふれあい交流としてファインフェスティバルを実施するなど、広く市民にスポーツ及びレクリエーションの普及、振興を図ることができた。

節の内訳	金額
11 需用費	1,374,192
12 役務費	166,342
13 委託料	99,687,286
14 使用料及び賃借料	185,328
計	101,413,148

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	28,400,000
地方債	
その他	
一般財源	73,013,148
次年度精算額	
計	101,413,148

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	05	02	03	市民プール運営管理経費	スポーツ推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	64,314,000			526,000	64,840,000	64,837,869
29年度	70,983,000			662,000	71,645,000	71,585,577
増減額	△ 6,669,000	0	0	△ 136,000	△ 6,805,000	△ 6,747,708

〔事業概要〕
体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため、施設を設置し運営する。
利用者のニーズに対応した、よりきめ細やかなサービスを行うため、指定管理者制度により運営する。

〔事業実績等〕
スポーツ推進課スポーツ推進係　6(3)のとおり(P365)
利用者のニーズにあった教室などを開催し、多くの市民がスポーツに触れることのできる機会の増加を図った。また、夏季期間は屋外プールに多くの市民が賑わうなど、子どもから高齢者までの幅広い年代に、スポーツ及びレクリエーションの普及、振興を図ることができた。

節の内訳	金額
11 需用費	525,658
12 役務費	64,715
13 委託料	58,830,216
14 使用料及び賃借料	5,417,280
計	64,837,869

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	
一般財源	64,837,869
次年度精算額	
計	64,837,869

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	05	02	06	秋川体育館・中央公民館運営管理経費	スポーツ推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	50,412,000			△ 48,000	50,364,000	50,264,048
29年度	45,860,000				45,860,000	45,859,005
増減額	4,552,000	0	0	△ 48,000	4,504,000	4,405,043

〔事業概要〕
体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため、施設を設置し運営する。
利用者のニーズに対応した、よりきめ細やかなサービスを行うため、指定管理者制度により運営する。

〔事業実績等〕
スポーツ推進課スポーツ推進係　6(1)のとおり(P360)
利用者のニーズにあった教室などを開催し、多くの市民がスポーツに触れることのできる機会の増加を図った。また、市主催イベントに積極的に協力するなど、広く市民にスポーツ及びレクリエーションの普及、振興を図ることができた。

節の内訳	金額
12 役務費	48,415
13 委託料	47,861,233
15 工事請負費	1,242,000
18 備品購入費	1,112,400
計	50,264,048

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	1,112,000
一般財源	49,152,048
次年度精算額	
計	50,264,048

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	05	02	07	いきいきセンター運営管理経費	スポーツ推進課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	28,709,000			△ 393,000	28,316,000	27,997,298
29年度	27,945,000			1,307,000	29,252,000	29,139,059
増減額	764,000	0	0	△ 1,700,000	△ 936,000	△ 1,141,761

〔事業概要〕
体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため、施設を設置し運営する。
なお、12月から翌年2月までの3か月間は水着リフレッシュゾーン運営を休止する。

〔事業実績等〕
スポーツ推進課スポーツ推進係　6(4)のとおり(P366)
水着リフレッシュゾーン（プール、サウナ、トレーニング室、小浴場）は高齢者の利用が多く見られるが、夏季期間中は親子連れや小学生など子ども達のプール利用も見られた。また、集会室は健康運動などにも利用されており、子どもから高齢者までの幅広い年代に、スポーツ及びレクリエーションの普及、振興を図ることができた。

節の内訳	金額
07 賃金	1,001,390
08 報償費	70,000
11 需用費	11,315,888
12 役務費	99,869
13 委託料	15,163,092
14 使用料及び賃借料	68,959
18 備品購入費	278,100
計	27,997,298

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	1,919,185
一般財源	26,078,113
次年度精算額	
計	27,997,298

（単位：円）

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	06	02	01	学校給食事業経費（秋川）	学校給食課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	324,859,000	△ 1,695,000			323,164,000	321,377,060
29年度	324,868,000	2,446,000			327,314,000	326,692,702
増減額	△ 9,000	△ 4,141,000	0	0	△ 4,150,000	△ 5,315,642

〔事業概要〕
円滑かつ効果的な学校給食の調理・配送作業等を行い、児童・生徒に提供することを目的に、JA秋川及び秋川ファーマーズセンターと連携し、地元農家に対し給食用の野菜の作付けを依頼するなど、地場産物の利用拡大を図り、旬の食材を利用した給食の献立及び作成を行った。

〔事業実績等〕
学校給食課秋川学校給食センター係　7(5)のとおり(P317)
地場産野菜は、一般市場では規格外の大きさのものもあったが、給食で使用できるよう調理員が手作業により小さく切り、機械に入るよう工夫して、多くの地場産物を利用･提供することができた。

節の内訳	金額
11 需用費	302,795,996
12 役務費	744
13 委託料	18,580,320
計	321,377,060

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	254,859,574
一般財源	66,517,486
次年度精算額	
計	321,377,060

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	10	06	02	02	学校給食事業経費（五日市）	学校給食課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	103,533,000	636,000			104,169,000	103,664,915
29年度	103,983,000	498,000			104,481,000	104,152,868
増減額	△ 450,000	138,000	0	0	△ 312,000	△ 487,953

〔事業概要〕
円滑かつ効果的な学校給食の調理・配送作業等を行い、児童・生徒に提供することを目的に、JA秋川及び五日市ファーマーズセンターと連携し、地元農家に対し給食用の野菜の作付けを依頼するなど、地場産物の利用拡大を図り、旬の食材を利用した給食の献立及び作成を行った。

〔事業実績等〕
学校給食課五日市学校給食センター係　3(3)のとおり(P321)
地場産野菜は、一般市場では規格外の大きさのものもあったが、給食で使用できるよう調理員が手作業により小さく切り、機械に入るよう工夫して、多くの地場産物を利用･提供することができた。

節の内訳	金額
11 需用費	93,125,708
13 委託料	10,539,207
計	103,664,915

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	
地方債	
その他	82,256,265
一般財源	21,408,650
次年度精算額	
計	103,664,915

科目	款	項	目	事業	事業名	主管課
	11	01	01	50	道路災害復旧事業経費	建設課

区分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	4,025,000	5,490,000			9,515,000	5,210,000
29年度	25,000	5,600,000			5,625,000	5,461,560
増減額	4,000,000	△ 110,000	0	0	3,890,000	△ 251,560

〔事業概要〕
災害により発生した被害について、安全を確保するため、復旧整備を図る。
平成30年度は、平成29年10月に発生した台風21、22号により被害を受けた留原地内の市道Ⅰ-10号線の詳細設計業務委託を行った。

〔事業実績等〕
建設課土木係　10のとおり(P289)
昨年度実施した、現況調査や地質調査を基に詳細設計及び災害復旧工事を施工した。

節の内訳	金額
13 委託料	3,510,000
15 工事請負費	1,700,000
16 原材料費	
計	5,210,000

財源内訳	金額
国庫支出金	
都支出金	1,124,000
地方債	4,000,000
その他	
一般財源	86,000
次年度精算額	
計	5,210,000

（単位：円）

科　目	款	項	目	事業	事　業　名	主　管　課
	11	01	02	50	河川災害復旧事業経費	建設課

区　分	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計（予算現額）	支出済額
30年度	25,000,000	△ 1,131,000			23,869,000	20,200,320
29年度	0	1,600,000			1,600,000	1,479,600
増減額	25,000,000	△ 2,731,000	0	0	22,269,000	18,720,720

〔事業概要〕

災害により発生した被害について、安全を確保するため、復旧整備を図る。

平成30年度は、平成29年10月に発生した台風21、22号により被害を受けた三内地内の坂下橋下流護岸の詳細設計業務委託及び復旧工事を行った。

〔事業実績等〕

建設課土木係　11のとおり(P289)

昨年度実施した、現況測量を基に詳細設計及び災害復旧工事を施工した。

節の内訳	金　額
13 委託料	1,868,400
15 工事請負費	18,331,920
計	20,200,320

財源内訳	金　額
国庫支出金	
都支出金	4,835,000
地方債	15,000,000
その他	
一般財源	365,320
次年度精算額	
計	20,200,320